

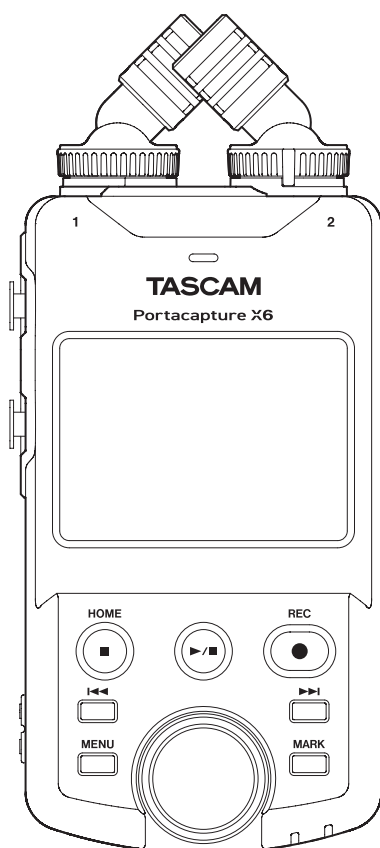
TASCAM

D01405001E

Portacapture X6

Linear PCM Recorder

リファレンスマニュアル
V2.00



目次

1-1 本機の特徴	4	ノイズゲートの設定 (ノイズゲート)	19
1-2 本書の表記	4	リミッターの設定 (リミッター / コンプ)	19
1-3 商標および著作権に関して	4	イコライザーの設定 (EQ)	19
1-4 microSD カードについて	5	入力の位相を反転させる (位相反転)	19
取り扱い上の注意	5	入力ゲインを調節する (GAIN)	20
フォーマットについて	5	入力ゲインを切り換える (入力ゲイン)	20
1-5 別売品	5	5-3 入力にリバーブをかける (リバーブ)	20
USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について	5	5-4 ファンタム電源の電圧値の設定	20
AC アダプター (PS-P520U) について	5	5-5 プラグインパワーを設定する	20
Bluetooth アダプター AK-BT1 について	5	第 6 章 録音アプリ	21
第 2 章 各部の名称と働き	6	6-1 録音アプリについて	21
2-1 トップパネル	6	録音待機機能	21
2-2 ボトムパネル	6	録音動作の流れ	21
2-3 左サイドパネル	7	6-2 録音中の各ボタンの動作	22
2-4 右サイドパネル	7	6-3 ASMR アプリで録音する	23
2-5 リアパネル	7	画面の説明	23
2-6 ホイールの操作	8	SHORTCUT MENU	23
2-7 タッチディスプレイの操作	8	入力レベルの設定	23
画面の基本操作	8	6-4 MANUAL アプリで録音する	24
2-8 アプリについて	8	録音ガイド機能 (MANUAL アプリのみ)	24
LAUNCHER 画面	8	設定手順	24
録音アプリの信号の流れ	9	画面の説明	24
録音アプリの出力ファイル	10	SHORTCUT MENU	24
プロジェクトステータスバー	11	ホイール操作	25
SHORTCUT MENU	11	入力レベルの設定	25
文字入力	11	ミキサーの設定	25
第 3 章 準備	12	6-5 MUSIC アプリで録音する	26
3-1 microSD カードを入れる / 取り出す	12	画面の説明	26
microSD カードを入れる	12	SHORTCUT MENU	26
microSD カードを取り出す	12	録りたい楽器を選ぶ	26
3-2 電源の準備	12	入力レベルの設定	26
電源について	12	入力にリバーブをかける (リバーブ)	26
単 3 形電池で使用する	12	6-6 VOICE アプリで録音する	27
AC アダプターで使用する (別売)	13	画面の説明	27
USB バスパワーを使用する	13	SHORTCUT MENU	27
3-3 電源をオンにする / オフにする	14	入力の設定をする	27
電源をオンにする	14	入力レベルの設定	27
電源をオフ (スタンバイ状態) にする	14	6-7 FIELD アプリで録音する	28
リジューム機能	14	画面の説明	28
言語と日時を設定する	14	SHORTCUT MENU	28
microSD カードをフォーマット (初期化) する	14	入力の設定をする	28
第 4 章 接続	15	録る対象を選ぶ	28
4-1 接続例	15	入力レベルの設定	28
MANUAL アプリを使う場合	15	フィルターを設定する (低域カット)	28
PODCAST アプリを使う場合	15	6-8 PODCAST アプリで録音する	29
4-2 内蔵マイクを設定する	15	画面の説明	29
4-3 外部マイク / 外部機器を接続する	16	SHORTCUT MENU	29
外部マイクを接続する	16	ホイール操作	29
MS マイクを接続する	16	入力レベルの設定	29
外部機器を接続する	16	ミキサーの設定	29
4-4 カメラと接続する	16	SOUND PAD の設定をする	29
カメラ用に出力を設定する	16	録音中に効果音を鳴らす	30
4-5 モニター用機器を接続する	17	マイクミュート	30
4-6 内蔵スピーカーを使用する	17	再生する	30
4-7 再生の音量を調節する	17	第 7 章 録音設定	31
4-8 パソコンやスマートフォンと接続する	17	7-1 各入力のモニターをする (ソロモニター機能)	31
第 5 章 入出力設定	18	7-2 録音ファイルのフォーマットを変更する	31
5-1 入力選択機能を使う	18	7-3 モノラル録音をする	31
5-2 各入力を入力設定する	18	7-4 録音中に一時停止する (レックポーズ機能)	31
ステレオリンク (ステレオリンク)	18	7-5 録音を自動的に始める (オートレック機能)	31
録音する入力ソースの設定 (入力)	18	7-6 同時に 2 つの設定で録音する (デュアルレック機能)	31
ファンタム電源を使う (ファンタム電圧)	18	7-7 録音開始の少し前から録音する (プリレック機能)	32
入力レベルを自動調節する (オートゲイン)	18	7-8 入力レベルを自動で調整する (オートレベル機能)	32
ローカットフィルターの設定 (低域カット)	19	7-9 録音ファイルの名前について	32
		7-10 録音フォルダーを指定する	32

7-11 録音を続けたままファイルを切り換える (ファイルインクリメント機能).....	32
自動.....	32
手動.....	32
7-12 オーバーダブ / パンチ I/O (MANUAL アプリのみ).....	32
オーバーダブを実行する.....	32
パンチ I/O を実行する.....	33
オーバダブ / パンチ I/O 操作を取り消す (取り消し).....	33
取り消し操作を取り消す (やり直し).....	33
7-13 録音時間.....	34
第 8 章 再生.....	35
8-1 再生画面を開く.....	35
画面の説明.....	35
再生 / 一時停止.....	35
停止する.....	35
再生位置を移動する.....	35
再生するファイルの選択.....	35
早戻し / 早送りする.....	35
各トラックのミックスバランスの調整.....	35
第 9 章 ファイル操作.....	36
9-1 ファイル名について.....	36
ファイル名の付け方を変更する.....	38
ファイル番号をリセットする.....	38
9-2 ファイル・プロジェクト構造について.....	38
フォルダー.....	38
録音データ.....	38
9-3 フォルダーツリーの例.....	38
9-4 プロジェクトについて.....	39
9-5 ファイルブラウズ画面の使い方.....	39
9-6 フォルダーの操作.....	39
画面の説明.....	39
フォルダーメニュー.....	39
フォルダーの作成 (新規作成).....	39
フォルダーの名前変更 (名前編集).....	39
フォルダー内のファイル全削除 (全ファイル消去).....	40
フォルダーの削除 (フォルダー消去).....	40
9-7 ファイル・プロジェクトの操作.....	40
ファイルメニュー.....	40
選択.....	40
マスターファイルを再生する (再生).....	40
ファイル情報 (インフォメーション).....	41
ファイル、プロジェクトを削除する (ファイル消去).....	41
プロジェクト内のトラックを削除する (トラック消去).....	41
プロテクト設定、解除 (プロテクト変更).....	41
名前変更 (名前編集).....	41
マーカー一覧を見る (マーカー).....	42
ファイルを分割する (ファイル分割).....	42
ノーマライズする (ノーマライズ).....	42
9-8 録音ファイルの保存先を指定する.....	42
第 10 章 マーク機能.....	43
10-1 マークの種類.....	43
10-2 マークをつける.....	43
手動でマークをつける.....	43
自動でマークをつける (自動マーク).....	43
ピークレベル時にマークをつける (ピークマーク).....	43
10-3 マークを消去する.....	43
マークの一括削除.....	43
10-4 設定したマークへジャンプする (マークスキップ).....	43
10-5 全てのマークでファイルを分割する.....	43
10-6 マークのリスト表示.....	43
第 11 章 カメラ機能.....	44
11-1 カメラ用に出力を設定する.....	44
11-2 オートスレートトーン機能を使う (オートトーン).....	44
オートトーン機能を設定する.....	44
トーンの音量調節機能.....	44
第 12 章 USB 接続.....	45
12-1 パソコンと接続する.....	45
12-2 iOS デバイスと接続する.....	45
12-3 パソコンから microSD カードにアクセスする.....	45
パソコンとファイルをやり取りする.....	45
12-4 ASIO ドライバを使用する.....	45
12-5 オーディオインターフェースとして使用する.....	45
Portacapture X6 USB オーディオのチャンネルアサイン.....	45
12-6 USB マイクとして使う.....	46
本機の入力をパソコンへの入力音声として使う場合.....	46
パソコンの出力を本機への入力音声として使う場合.....	46
第 13 章 その他機能・アプリ.....	47
13-1 ミックスダウン機能.....	47
13-2 MS デコード機能を使う.....	47
接続設定.....	47
MID と SIDE のレベル調節.....	47
第 14 章 専用コントロールアプリ.....	48
14-1 専用コントロールアプリをインストールする.....	48
14-2 本機と Bluetooth 接続する.....	48
14-3 専用スマートフォンアプリで操作する.....	48
第 15 章 各種設定.....	49
15-1 内蔵マイクのゲイン差を調節する (マイクトリム機能).....	49
15-2 XRI 機能について.....	49
15-3 各種情報を表示する.....	49
15-4 日時の再設定.....	49
15-5 言語の再設定.....	49
15-6 出荷時の設定に初期化する.....	49
15-7 microSD カードをフォーマットする.....	49
15-8 オートパワーセーブ機能を使う.....	49
15-9 電源の選択.....	49
15-10 単 3 形電池の種類を設定する (電池タイプ).....	49
15-11 パワーセーブ (省電力) モードについて.....	50
15-12 ディスプレーのコントラスト調節 (コントラスト).....	50
15-13 MENU.....	51
一般設定.....	51
入力設定.....	52
ミキサー.....	53
ブラウザー.....	53
入力選択.....	53
LAUNCHER.....	53
第 16 章 FW バージョンアップによる変更内容.....	54
ファームウェア V1.10 の新機能.....	54
ファームウェア V2.00 の新機能.....	58
第 17 章 メッセージ.....	65
第 18 章 トラブルシューティング.....	66
第 19 章 仕様.....	67
19-1 仕様 / 定格.....	67
レコーダー部仕様.....	67
アナログオーディオ入力定格.....	67
アナログオーディオ出力定格.....	67
USB.....	67
USB オーディオ.....	67
Bluetooth 機器接続端子.....	67
オーディオ性能.....	67
録音時間.....	67
OS/ 動作条件.....	68
一般.....	68
19-2 寸法図.....	69
19-3 ブロックダイヤグラム.....	70

第1章 はじめに

1-1 本機の特徴

- 2.4 インチのカラータッチスクリーンを採用し、高い視認性と簡単に直観的な操作を実現
- ベーシックなマルチトラック録音に加え、ポッドキャスト、音楽、インタビュー、フィールド、ASMR など様々な収録シーンに対応するアプリケーションを搭載
- 2系統の XLR ロック付き入力端子を装備し、複数のマイク / ライン入力を使用する収録にも対応。各系統別にファンタム電源 (24V/48V) に対応
- 高品質コンデンサーマイクを採用したマイクユニット
- マイクユニットを回転させることで、X-Y 方式と A-B 方式の切り換えが可能
- 6トラック (4トラック +2 ミックス) のマルチトラック録音が可能
- 最大 96kHz/32-bit float (浮動小数点演算) の録音に対応。録音データの音質を損なうことなく、DAW ソフトでの音声編集が可能
- 各入力トラックに対して異なるフォーマットでのデュアル録音が可能
- 6-in/2-out の USB オーディオインターフェース機能を搭載
- 別売 Bluetooth アダプター AK-BT1 を取り付けることで、スマートフォンやタブレットからのワイヤレスリモートコントロールが可能。
- ローカット、コンプレッサー、リミッター、オートゲインコントロール、ノイズゲートなど多彩な機能を搭載
- CAMERA, MIC/EXT IN 端子を装備。カメラ本体の収録音の出力、ワイヤレスマイクの出力やプラグインパワーマイクからの音声入力などに対応
- アッテネート機能を備えた CAMERA/LINE 出力端子を装備し、カメラなどの外部機器に音声を出力可能
- ヘッドホン出力、内蔵スピーカーのいずれかによる音声モニタリングが可能
- microSD/microSDHC/microSDXC (最大 512GB) の記録メディアに対応
- USB Type-C 端子を装備。USB パスパワー駆動にも対応
- 多彩なマーク機能やオートスレートトーン機能を搭載

1-2 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 「microSD/microSDHC/microSDXC メモリーカード」のことを「microSD カード」と表記します。
- 本機と Bluetooth で接続するスマートフォンやタブレットなどを「Bluetooth 機器」と表記します。
- 1 回の録音時に作成されるファイルをまとめて「プロジェクト」と表記します。
- 現在選択中のプロジェクトのことを「カレントプロジェクト」と表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 本書の「iOS」の表記には、「iOS」および「iPadOS」を含んで表記しています。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

1-3 商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iOS、iPad、iPadOS および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Lightning は、Apple Inc. の商標です。
- IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android、Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.



- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。したがって、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

1-4 microSD カードについて

本機で録音、再生を行うために microSD カードが必要です。別途ご用意ください。

使用できる microSD カードは、Class10 以上の microSD / microSDHC / microSDXC 規格に対応した microSD カードです。

本機にて動作が確認された microSD カードのリストが、TASCAM のウェブサイト (https://tascam.jp/int/product/portacapture_x6/docs) に掲載されています。もしくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

取り扱い上の注意

microSD カードは、精密にできています。

microSD カードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点にご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

フォーマットについて

本機でフォーマットされた microSD カードは、録音時の性能向上のために最適化されています。そのため、本機で使用する microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。パソコンなどでフォーマットされた microSD カードは、本機での録音時にエラーになる可能性があります。

- ご使用になったカセットテープ、CD、SD カード、USB フラッシュメモリー等の記録媒体（以下「媒体」といいます）が原因で本機が故障した場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。
※長年ご使用になっていない、または、すでに長時間使用された媒体、カビ・汚れ・ベタつき・折れ・捻じれなどが見られる媒体のご使用は、避けてください。
- 媒体に起因して生じた製品または媒体の破損、テープの巻き込み、データの喪失等につきましても、弊社では一切の責任を負いかねます。また、その他の逸失利益、間接的・派生的な損害、その他特殊な事情から生じた損害につきましても、同様です。
※万が一の場合に備えて、あらかじめデータのバックアップの作成等、お客様にてデータの保存や保護措置を講じられることをお勧めいたします。

1-5 別売品

本製品には、以下の部品は含まれておりません。

ご使用の用途に合わせて、必要なものを別途お買い求めください。

USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について

本機とパソコン (Windows/Mac) やスマートフォンを接続する場合、別途 USB ケーブルを用意する必要があります。

本機は USB Type-C 端子を装備しています。

お使いのパソコンやスマートフォンの USB 端子に合った USB ケーブルをご用意ください。

- 充電用 USB ケーブルは使用できません。

Lightning 端子を搭載する iOS デバイスと接続する

Apple 純正 Lightning - USB カメラアダプタと市販の Type-A - Type-C ケーブルが必要です。

USB Type-C 端子を搭載するパソコンやスマートフォンと接続する

市販の Type-C - Type-C ケーブルが必要です。

USB micro-B 端子を搭載するスマートフォンと接続する

市販の micro-B - Type-C ケーブルが必要です。

USB Type-A 端子を搭載するパソコンと接続する

市販の Type-A - Type-C ケーブルが必要です。

AC アダプター (PS-P520U) について

本機を AC 電源で動作させるために必要です。

×モ

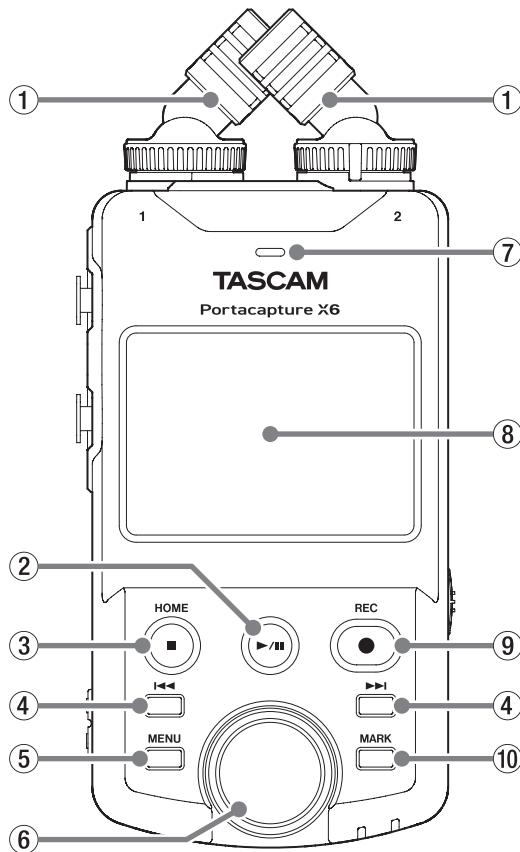
本機には、AC アダプターを使用して充電電池を充電する機能はありません。

Bluetooth アダプター AK-BT1 について

Bluetooth 接続を用いて、本製品をスマートフォンやタブレットから操作するために必要です。

第2章 各部の名称と働き

2-1 トップパネル



① 内蔵マイク (入力 1/2)

エレクトレットコンデンサステレオマイクです。X-Y方式とA-B方式に切り換えが可能です。(→15ページ「内蔵マイクを設定する」)

② ▶/|| ボタン

停止中に押すと、再生を始めます。
再生中に押すと、一時停止します。
ブラウズ画面でファイルを選択した状態で押すとそのファイルを再生します。

③ HOME[■] ボタン

再生中に押すと、再生を停止し、再生位置はそのファイルの先頭に戻ります。
録音待機中または録音中に押すと録音を停止し、ホーム画面に戻ります。
一般設定画面表示中に押すと、LAUNCHER画面に戻ります。

④ ◀◀/▶▶ ボタン

⑤ ショートカットメニュー [MENU] ボタン

停止中のホーム画面でショートカットメニューを表示します。

⑥ ホイール

ミキサのフェーダーや入力レベル設定の微調整に使用します。

⑦ 内蔵スピーカー (モノラル)

モニター用の内蔵スピーカーです。
以下の状態では、スピーカーから音は出力されません。
● 一般設定画面 > 入出力設定ページ > スピーカー出力項目がオフ
● 再生中以外
● ヘッドホン接続時
● オーバーダブ/パンチ I/O モード中

⑧ タッチディスプレイ

各種情報を表示します。
タップ、スワイプをして、本機の設定や操作をします。(→8ページ「タッチディスプレイの操作」)

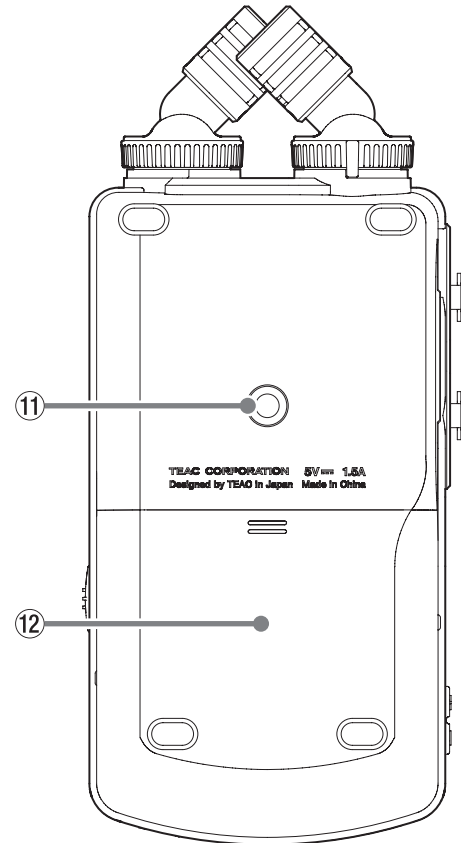
⑨ REC[●] ボタン

停止中に押すと録音を開始します。
録音中に押すと、録音待機状態になります。
録音ガイド機能と録音待機機能の設定によって動作が変わります。詳しくは、21ページの「録音動作の流れ」を参照してください。

⑩ MARK ボタン

録音中または再生中に押すと、手動でマークを付けることができます。

2-2 ボトムパネル



⑪ 三脚取り付け用穴 (1 / 4 インチ)

本体に三脚を取り付けることができます。

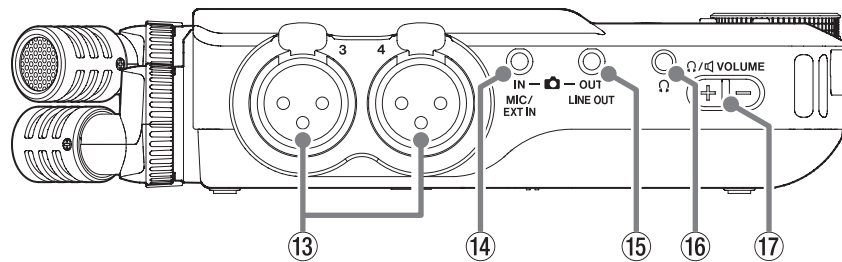
注意

- 本体の落下を防ぐため、三脚またはマイクスタンド各部のネジを確実に締めてください。
- 三脚またはマイクスタンドに本体を取り付けて使用する場合は、三脚を水平な場所に置いてください。
- 三脚によってはネジの規格の違いにより、直接取り付けられない場合があります。その場合は、市販の変換アダプターをご使用ください。
- 長さ 4.5mm を超えるネジは取り付けできません。

⑫ 電池ケース (単 3 形電池)

本機の電源になる電池 (単 3 形電池、4 本) を収納するケースです。

2-3 左サイドパネル



⑬ 入力端子 3/4 (入力 3/4)

XLR バランスタイプのアナログ入力端子です。
XLR (1: GND, 2: HOT, 3: COLD)

⑭ MIC/EXT IN 端子

ステレオミニジャックケーブルを使用してオーディオ機器などのライン出力端子やプラグインパワー対応外部マイク (3.5mm TRS) を接続することができます。

メモ

MIC/EXT IN はデュアル ADC 非搭載となります。したがって、MIC/EXT IN を使用する場合には適切なゲイン調整が必要です。
アナログ回路でオーバーロードした際に本体画面のレベルメーター全体が赤く点灯します。この時にレベルメーターが赤く点灯しないようにゲイン下げてください。

⑮ LINE OUT 端子

ステレオミニジャックケーブルを使用して外部機器のライン入力端子と接続します。

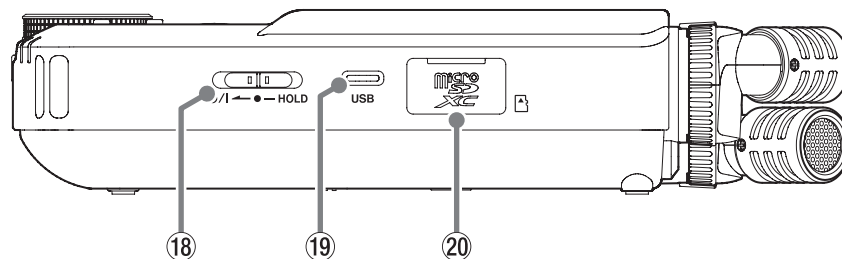
⑯ Ω (ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを接続する端子です。

⑰ Ω/□ (ヘッドホン/スピーカー) ボリューム

内蔵スピーカーまたは Ω (ヘッドホン) 端子から出力される音量を調節します。

2-4 右サイドパネル



⑱ ON/OFF/HOLD スイッチ

このボタンを ON/OFF マーク方向にスライドさせて、電源のオン/オフ (スタンバイ状態) の切り換えを行います。「HOLD」側にセットするとホールド機能が働きます。ホールド中は、全てのタッチディスプレイ及び、ボタンの操作を受け付けません。
ホールド中もリモートアプリ (Portacapture Control) からは操作が可能です。

⚠ 注意

電源を入れる前に、接続機器の音量を最小にしてください。
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

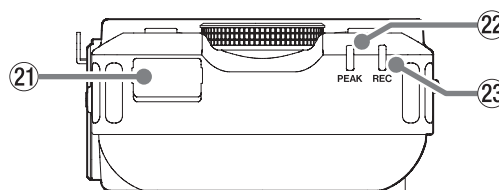
⑲ USB Type-C 端子

Type-C の USB ポートです。
市販の USB ケーブルを使って、パソコンやスマートフォンと接続することができます。(→ 17 ページ「パソコンやスマートフォンと接続する」)
AC アダプターを使用するときはこの端子に接続します。(→ 13 ページ「AC アダプターで使用する (別売)」)

⑳ microSD カードスロット

microSD カードを挿入するカードスロットです。

2-5 リアパネル



⑳ Bluetooth 機器接続端子

別売りの専用 Bluetooth アダプター (AK-BT1) を接続します。

㉑ PEAK インジケータ

入力レベルがピークレベルを超えると点灯します。

㉒ REC インジケータ

録音待機状態になると点滅し、録音状態になると点灯します。

2.各部の名称と働き

2-6 ホイールの操作

タッチディスプレイに表示された、フェーダーやつまみをタップ後、ホイールを左右に回すことで設定を微調整することができます。スライド操作でだまかな値を決め、その後に微調整する際に便利です。

2-7 タッチディスプレイの操作

画面の基本操作

本機では、画面をタップ/スワイプ/スライドすることで設定/調節したい機能を操作することができます。

初回起動時は、言語と日時の設定を終えると LAUNCHER 画面が表示されます。

LAUNCHER 画面では、様々な録音アプリや設定画面を起動できます。

録音アプリの起動方法

下図のように画面中央でスライドして、起動するアプリを選択し、アイコンをタップしてアプリを起動します。

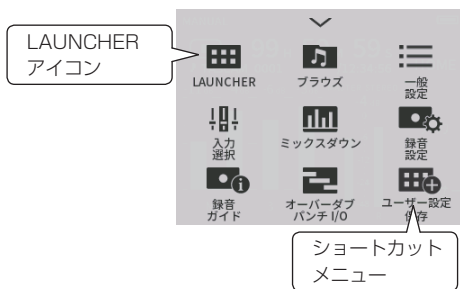


LAUNCHER 画面への戻り方

1. 本体左下のショートカットメニューボタンを押す。



2. ショートカットメニューの LAUNCHER アイコンをタップする。



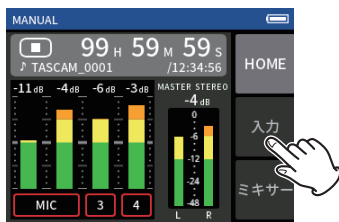
LAUNCHER 画面へ戻ります。

メモ

各アプリ画面で停止中に HOME ボタンを長押しすると LAUNCHER 画面に戻ります。

画面の移動

画面右に表示される画面名をタップして画面を移動します。



2-8 アプリについて

LAUNCHER 画面

録音アプリの起動と一般設定画面の起動ができます。



録音アプリ

代表的な録音アプリとして、以下のようなものがあります。

ASMR	入力音声に応じて画面エフェクトが変化する録音アプリです。(2ch 録音アプリ)
VOICE	インタビューや VLOG 用の音声収録に適した録音アプリです。(2ch 録音アプリ)
MUSIC	楽器演奏や歌唱の簡易収録に適した録音アプリです。(2ch 録音アプリ)
MANUAL	本機の基本となるアプリです。最大 4 チャンネルのマルチトラック録音が可能です。
FIELD	屋外での収録に適した録音アプリです。(2ch 録音アプリ)
PODCAST	最大 2 人までのポッドキャスト収録に適したアプリです。

その他のアプリ

SD カードリーダー	本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、USB ストレージとして使用することができます。
ブラウザ	フォルダーまたはファイルを選択し、再生や消去などを行うことができます。

メモ

ファームウェアのアップデートで、アプリなどのデザインや機能が変わる場合があります。

一般設定画面

本機の詳細な設定ができます。

LAUNCHER 画面右下の一般設定アイコンをタップして表示します。



LAUNCHER 画面

一般設定画面

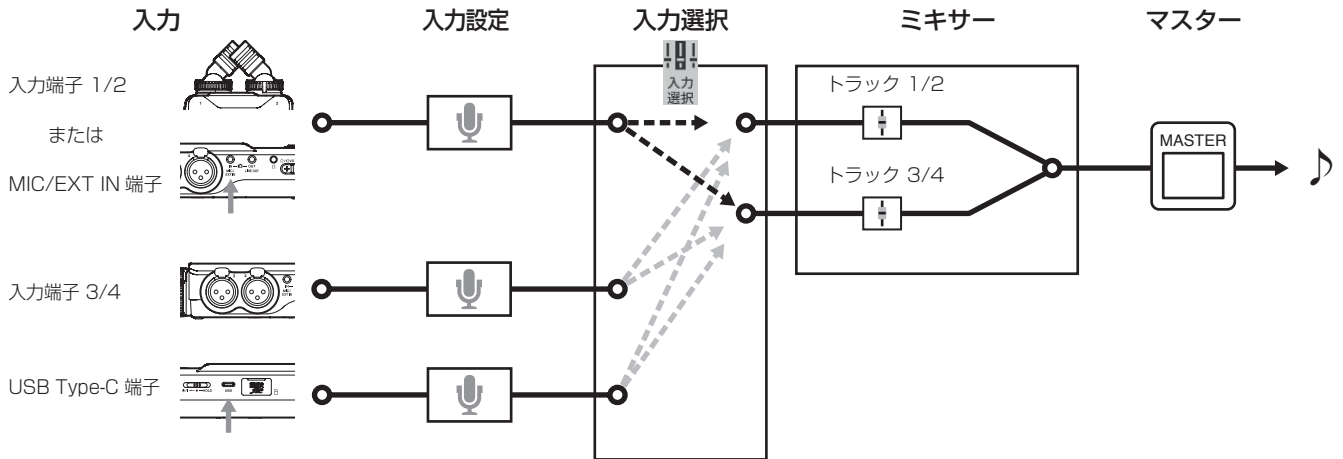
設定項目の一覧は、51 ページの「一般設定」を参照してください。

録音アプリの信号の流れ

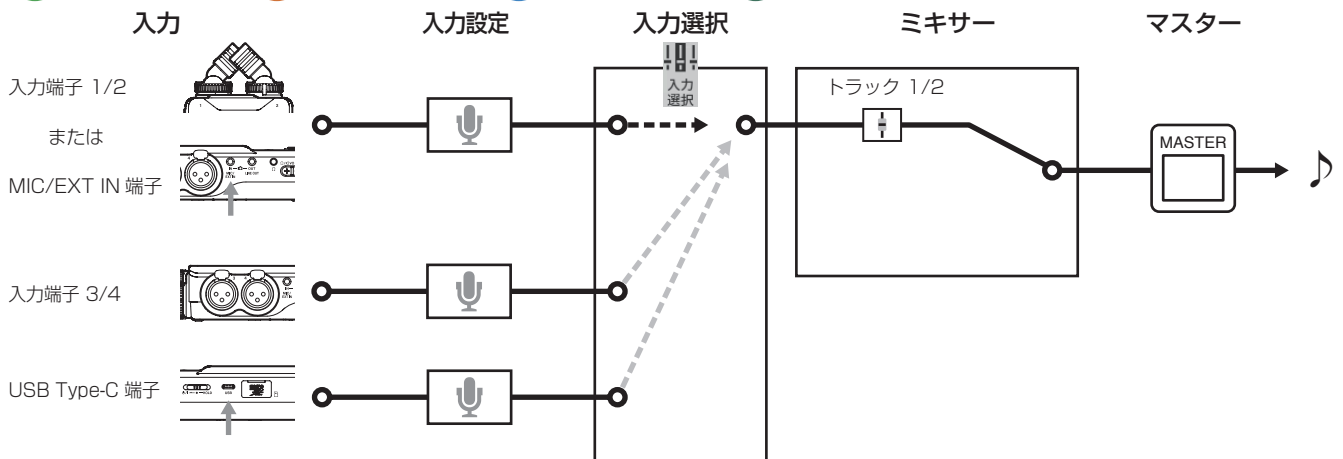
本機は、最大6トラック(4トラック+2ミックス)のマルチトラック録音ができ、アプリごとに最大6つの入力を最大4つのトラックに割り当てられます。MANUALアプリはトラック1から4、PODCASTアプリはトラック1から2、2ch録音アプリはトラック1/2が使えます。

- 内蔵マイクとMIC/EXT IN端子は同時に使用できません。

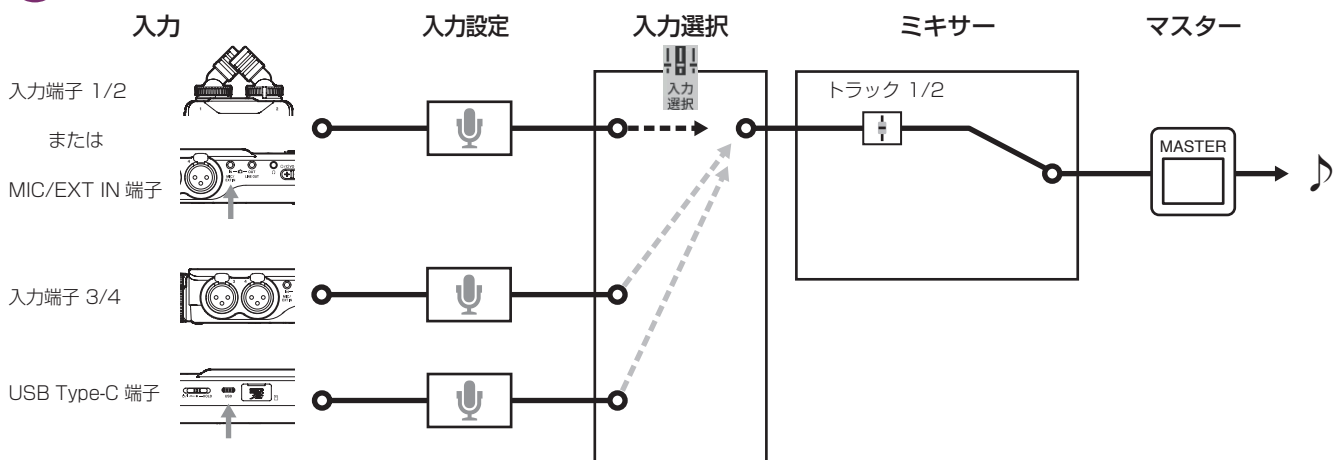
M MANUAL アプリ



ASMR アプリ MUSIC アプリ VOICE アプリ FIELD アプリ (2ch録音アプリ)



PODCAST アプリ

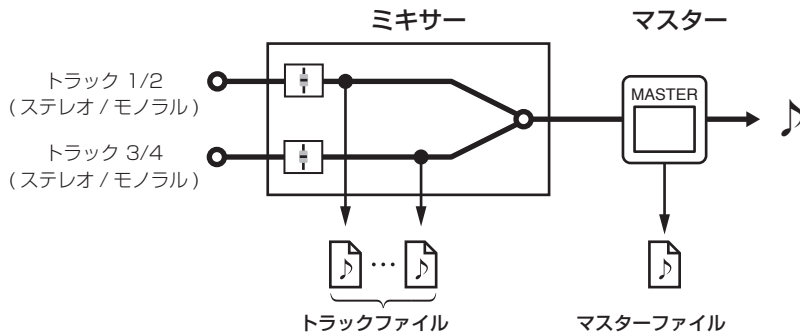


2.各部の名称と働き

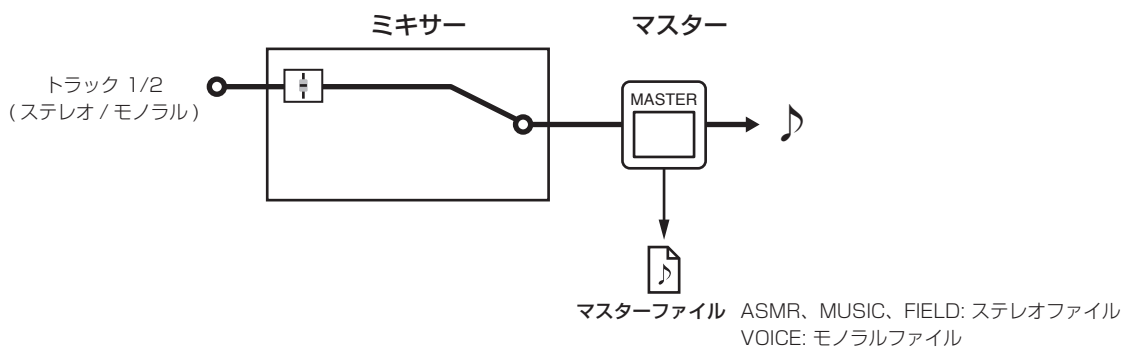
録音アプリの出力ファイル

録音によって出力されるファイルの種類はアプリによって異なります。
マルチトラック録音できるアプリは、マスターファイルと一緒にトラックファイルが出力されます。

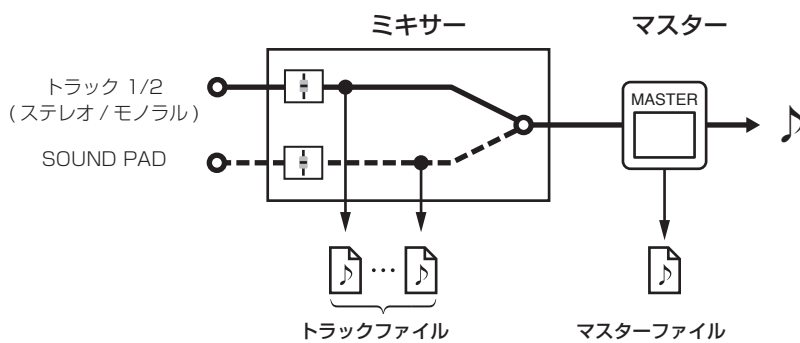
M MANUAL アプリ



ASMR アプリ MUSIC アプリ VOICE アプリ FIELD アプリ (2ch 録音アプリ)



PODCAST アプリ



- PODCAST アプリではトラック 3/4 は使用できません。

トラックファイル

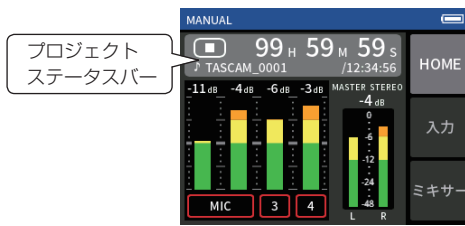
トラック毎の音声を記録したモノラルファイル。ステレオリンク設定されているトラックは、2トラックまとめて1つのステレオファイルになります。

マスターファイル

ミキサーの出力を記録したファイル。

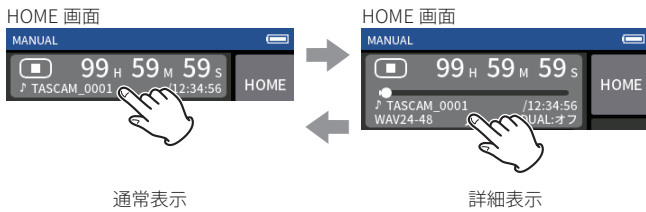
プロジェクトステータスバー

アプリを起動するとホーム画面に本機のステータスやカウンターなどが表示されます。画面が複数あるアプリの場合ホーム画面以外では省略表示になります。また、ホーム画面でプロジェクトステータスバーをタップすると詳細表示になります。



詳細表示にする

プロジェクトステータスバーをタップすると詳細表示画面になります。詳細表示画面のファイルフォーマット表示部分をタップすると通常表示に戻ります。



表示内容

状態	ステータス	カウンター	ファイルフォーマット
停止	■	ファイルの残り時間 / 記録可能な時間	録音設定に準ずる
録音	●	録音時間 / 記録可能な時間	録音設定に準ずる
録音待機	●	録音時間 / 記録可能な時間	録音設定に準ずる
再生	▶	再生位置 / 残りの再生時間	再生ファイルに準ずる
一時停止		再生位置 / 残りの再生時間	再生ファイルに準ずる

SHORTCUT MENU

本体左下のショートカットメニューボタンをタップすると、各種メニューのショートカットが表示されます。

ASMR	VOICE	MUSIC	MANUAL	FIELD	PODCAST
LAUNCHER	LAUNCHER	LAUNCHER	LAUNCHER	LAUNCHER	LAUNCHER
ブラウザ	ブラウザ	ブラウザ	ブラウザ	ブラウザ	ブラウザ
録音設定	録音設定	録音設定	録音設定	録音設定	録音設定
入力選択	入力選択	入力選択	入力選択	入力選択	入力選択
入力設定	入力設定				
			録音ガイド		
			ミックスダウン		
			オーバーダブ / パンチ I/O		
一般設定	一般設定	一般設定	一般設定	一般設定	一般設定

文字入力

任意の文字を入力する項目をタップすると、文字入力画面を表示します。以下の画面は、一般設定画面 > システムページ > ファイル名設定 > ワード項目の文字入力画面の例です。



英文字入力と数字記号入力を切り換えるには、入力文字切り換えキーを押します。

第3章 準備

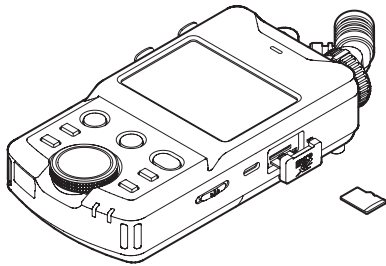
3-1 microSD カードを入れる／取り出す

microSD カードを入れる

本機で再生／録音を行うには、右サイドパネルの microSD カードスロットに microSD カードを挿入します。

メモ

電源がオン／オフどちらのときも microSD カードを挿入することができます。



1. microSD カードスロットのカバーを開く。
2. microSD カードのラベル面を上にして挿入する。
3. microSD カードスロットのカバーを閉める。

microSD カードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、microSD カードを取り出します。

注意

本機が動作中（録音中、再生中、microSD カードにデータを書き込み中など）は、絶対に microSD カードを取り出さないでください。録音が正しく行われなかったり、データが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になるなどの可能性があります。

1. microSD カードを軽く押し込んでから放すと手前に出きます。
2. microSD カードを引き出します。

3-2 電源の準備

電源について

本機は、単3形電池4本、別売の専用 AC アダプター（TASCAM PS-P520U）または市販の USB ケーブルを使って（USB バスパワー供給）、本機に電源を供給します。

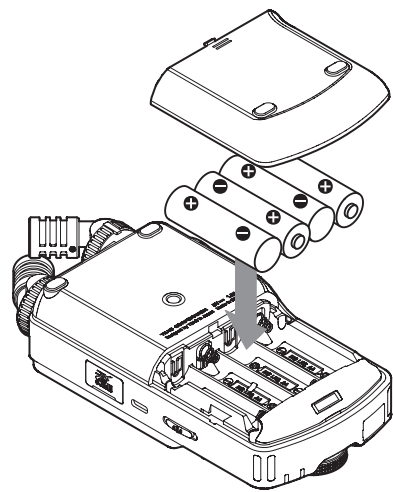
電池は、単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池またはリチウム乾電池を使用することができます。

メモ

本機には、AC アダプターを使用して充電電池を充電する機能はありません。

単3形電池で使用する

1. 電池ケースカバーを取り外し、電池ケース内の ⊕ と ⊖ の表示に合わせて、単3形電池を4本セットする。
2. 電池ケースカバーを取り付ける。



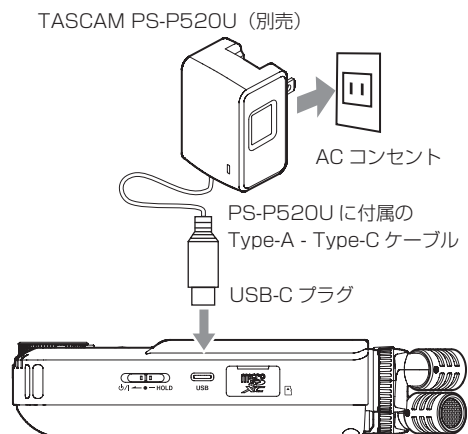
電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。（→ 49 ページ「単3形電池の種類を設定する（電池タイプ）」）

メモ

- 付属のアルカリ乾電池は、動作確認用です。そのため寿命が短い場合があります。
- 乾電池での動作は、ご使用の環境温度や使用条件により動作可能な時間が変動します。
連続で長時間ご使用される場合は、AC アダプター等外部電源を推奨します。

AC アダプターで使用する（別売）

別売りの専用 AC アダプター（PS-P520U）と本機の USB 端子を接続します。



注意

- 本機には別売りの専用 AC アダプター（PS-P520U）を使用することを強く推奨します。他の電源デバイスをご使用になる場合は、下記の仕様の電源デバイスを使用してください。

- 供給電圧：5V
- 供給電流：1.5A 以上

上記の仕様以外の電源デバイスを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

異常がある場合は、使用を中止して、販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

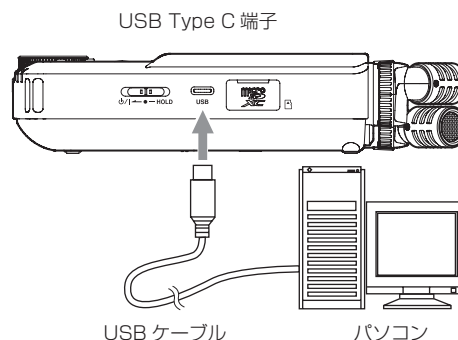
- 本体を AC アダプターに近づけて使うと、マイク収録時にノイズが発生する場合があります。このようなときには、AC アダプターを本体から離してお使いください。

メモ

- 外部電源の供給電流が自動判別できない場合には、供給電流確認ポップアップが表示されます。
供給電流が 1.5A に満たない場合、本機の省電力モードがオンとなり、一部の機能が制限されます。
(→50 ページ「パワーセーブ (省電力) モードについて」)
- 電源選択設定が自動判別の場合、電池と外部電源の両方をセットすると、外部電源から電源が供給されます。

USB バスパワーを使用する

図のように、パソコンと本機を市販の USB ケーブルを使って接続します。



メモ

- パソコンから電源の供給を受けるだけの場合、ドライバーのインストールは不要です。
- パソコンなどの USB Type-C 端子との接続を推奨します。
- USB の供給電流が自動判別できない場合には、供給電流確認ポップアップが表示されます。
供給電流が 1.5A に満たない場合、本機の省電力モードがオンとなり、一部の機能が制限されます。
(→50 ページ「パワーセーブ (省電力) モードについて」)

3.準備

3-3 電源をオンにする／オフにする

注意

本機の電源のオン／オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。

電源をオン／オフするときにヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、ヘッドホンのドライバーユニットや聴覚を損傷する恐れがあります。

電源をオンにする

⏻/HOLD スイッチを ⏻/I マーク方向にスライドさせ、画面が表示されたら離してください。



起動画面

本機が起動すると、タッチディスプレイに画面が表示されます。初回起動時は、言語選択画面が表示されます。2回目以降は、前回終了時に LAUNCHER 画面で選択したアプリの HOME 画面が表示されます。

電源をオフ（スタンバイ状態）にする

⏻/HOLD スイッチを ⏻/I マーク方向にスライドさせ、画面が消えたら離してください。

シャットダウン処理が実行され、電源がオフになります。

注意

電源をオフにするときは、必ず ⏻/HOLD スイッチで行ってください。

正しくシャットダウン処理が行われないと、録音データや設定などが全て失われる場合があります。なお、失われたデータや設定は、復元できません。

メモ

録音待機中／録音中は、電源をオフにはできません。

リジューム機能

本機は電源をオフにするとき、再生を停止した位置を記憶します。次に電源をオンにしたとき、その停止した位置から再生することができます。

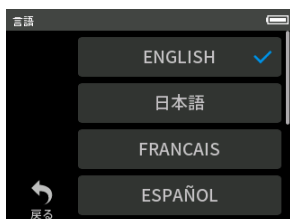
メモ

停止した位置は microSD カードに記録されるため、電源オンの状態で microSD カードを入れ換えた場合には、停止位置が記憶されません。

言語と日時を設定する

言語を選択する

お買い上げ後、はじめて電源をオンにしたとき、画面表示の言語選択画面が表示されます。



1. 画面を縦にスワイプして、設定したい言語を探す。
2. 設定したい言語をタップして確定する。

メモ

言語設定は、一般設定 画面 > システムページ > 言語項目でも、再設定できます。

日時を設定する

言語設定の後、または日時設定がリセットされているとき、日時を設定する日時設定画面が表示されます。



1. 数字をタップしてからスライドして日時を設定する。
2. 設定ボタンをタップして確定する。

メモ

日時設定は、一般設定画面 > システムページ > 日時設定項目からも変更できます。

microSD カードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないカードが挿入されていると以下のようなメッセージが表示されます。

OK をタップしてフォーマットを実行します。

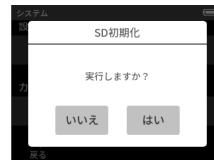


- 本機で初めて使用する microSD カードをフォーマットするときは、SD 完全初期化を推奨します。
- フォーマットが成功すると、アプリ選択画面 (LAUNCHER 画面) が表示されます。

フォーマットは、一般設定画面 > システムページ > カード初期化 項目からでも実行できます。



1. SD 初期化または SD 完全初期化をタップする。



2. はいをタップする。

注意

フォーマットすると microSD カードの全てのデータが消去されます。

データをパソコンにバックアップしてからフォーマットを実行してください。

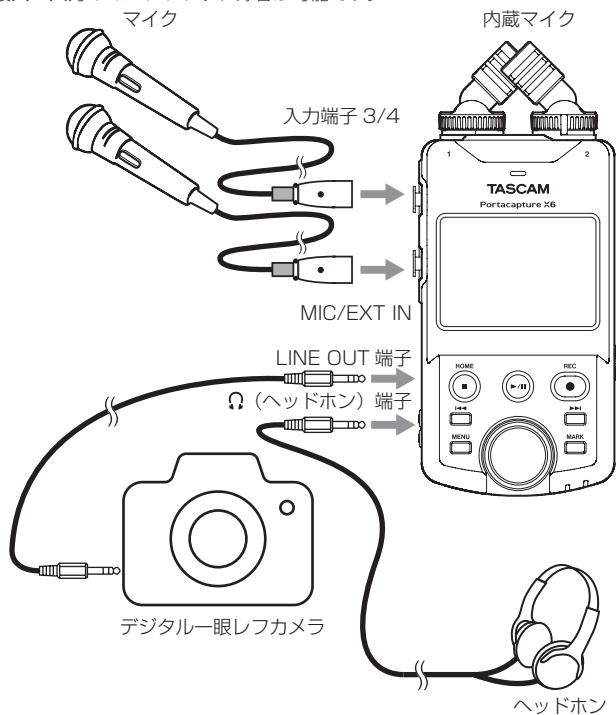
メモ

- SD 完全初期化を実行すると、繰り返し使用で低下した書き込み性能が改善する可能性があります。録音中に「書き込みエラー録音継続します」または「カード速度低下 BOF マーク要確認」というメッセージが表示された場合は、SD 完全初期化を実行してください。
- SD 完全初期化は、メモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを実行するため、SD 初期化と比べて多くの時間がかかります。

4-1 接続例

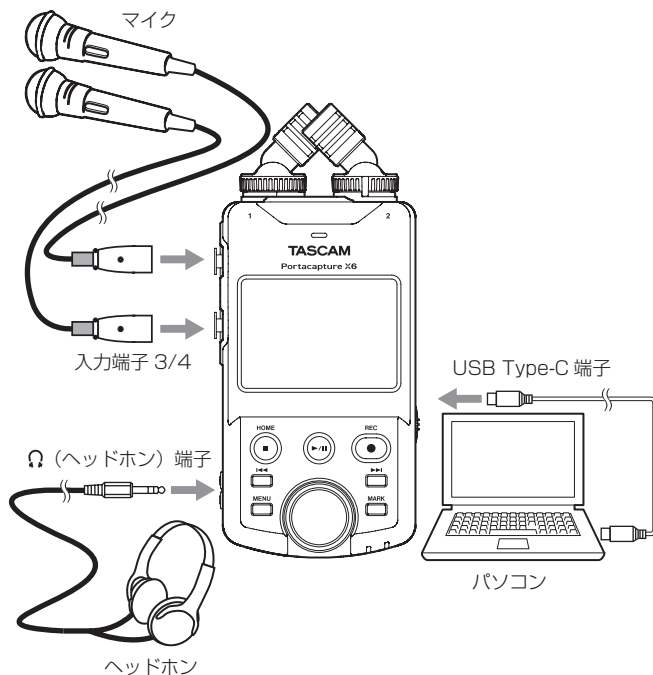
MANUAL アプリを使う場合

最大4入力のマルチトラック録音が可能です。
マイク



PODCAST アプリを使う場合

最大2入力のマルチトラック録音が可能です。
マイク



メモ

複数のヘッドホンをご使用の場合は、市販の多チャンネルヘッドホンアンプ等をご使用ください。

4-2 内蔵マイクを設定する

内蔵ステレオマイクについて

本機のステレオ内蔵マイクは可動式になっており、マイクの方式を角度設定で変えることができるようになっています。

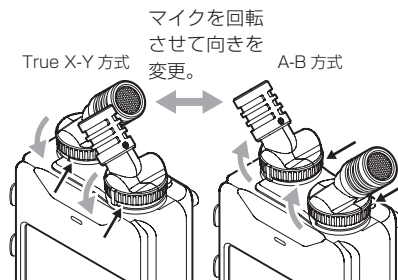
True X-Y 方式

位相差を抑えた、クリアなステレオ感のある録音が可能です。

A-B 方式

左右に大きく広がったステレオ感のある録音が可能です。

黒い矢印が指すリング部分をつまんで回し、内蔵マイクの角度を変更します。



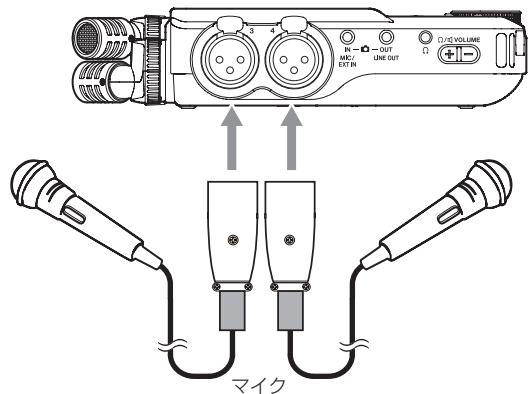
内蔵マイクは、止まるまで回して固定することで使用可能になります。止まるまで回していないと、内蔵マイクは正しく設定されません。

4-3 外部マイク / 外部機器を接続する

外部マイクを接続する

マイクを入力端子 3/4 の XLR ジャックに接続してください。マイクを音源の方向へ向け、振動の少ない、安定した場所に設置してください。XLR ジャックに差し込む場合、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。引き抜くときは、ロック機構を押さえながら引き抜いてください。

入力端子 3/4 接続例



接続後、入力選択設定が終わったら、入力設定でマイクレベルかラインレベルのどちらかを選択してください。(→ 18 ページ「各入力を入力設定する」)

メモ

- ファンタム電源を必要とするマイクを使用するときはファンタム電源の設定をしてください。(→ 20 ページ「ファンタム電源の電圧値の設定」)
- 接続する機器がアンバランス出力の場合は、MIC/EXT IN 端子に接続してください。

MS マイクを接続する

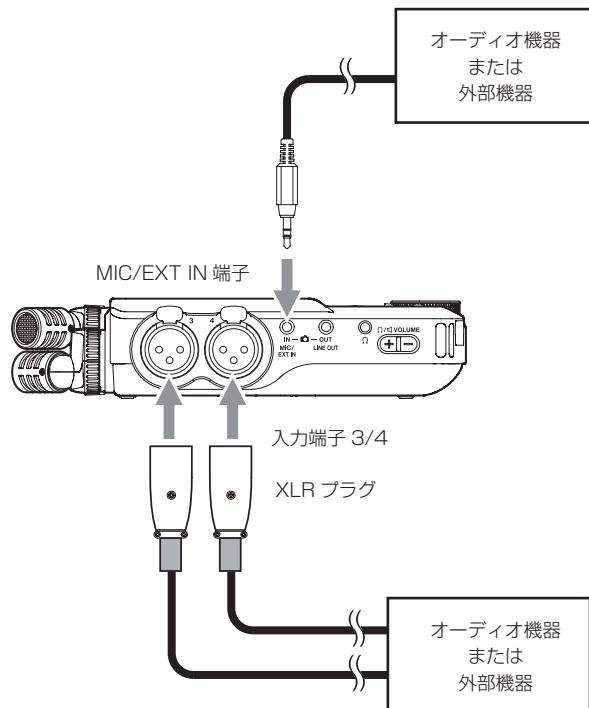
入力端子 3/4 に接続することができます。

MS マイクの Mid 側を入力端子 3 に、Side 側を入力端子 4 に接続してください。接続後、一般設定画面 > 入出力設定ページ > MS デコード > 入力対象項目で接続した端子が割り当てられたトラックを選択してください。

MS マイクを使った録音については、47 ページの「MS デコード機能を使う」を参照してください。

外部機器を接続する

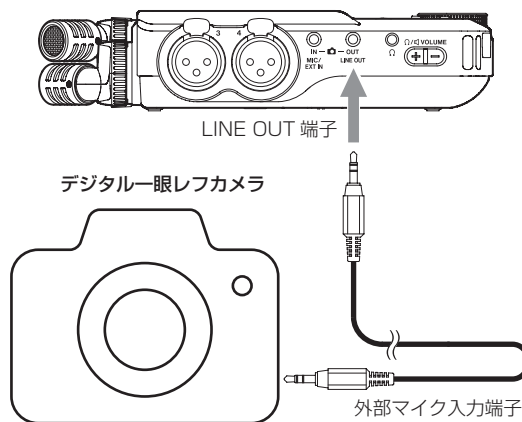
- ステレオミニケーブルで接続する場合は、MIC/EXT IN 端子に接続してください。接続後、入力選択設定 (→ 18 ページ「入力選択機能を使う」) が終わったら、入力設定を「MIC/EXT IN」に変更してください。(→ 18 ページ「各入力を入力設定する」)
- XLR プラグで接続する場合は、入力端子 3/4 に接続してください。接続後、入力選択設定 (→ 18 ページ「入力選択機能を使う」) が終わったら、入力設定を「ライン」に変更してください。(→ 18 ページ「各入力を入力設定する」)



XLR-3-31 相当 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

4-4 カメラと接続する

カメラでの動画撮影時に、カメラと同じ音声を同時に録音することができます。カメラに音声を入力するために、本機とカメラを接続する場合は、以下のように接続してください。



カメラ用に出力を設定する

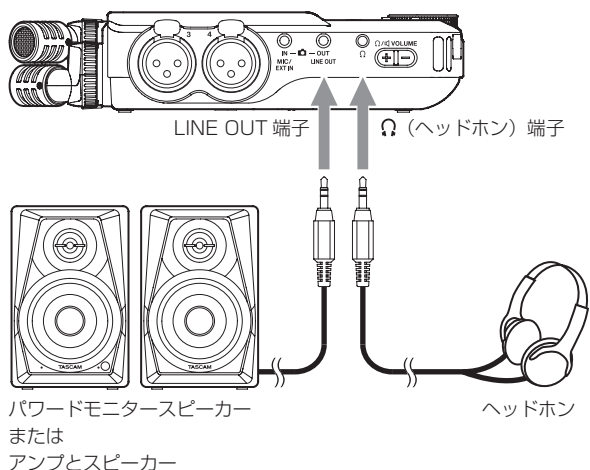
カメラ用のライン出力レベルを最大 30dB アッテネート (減衰) することができます。44 ページの「カメラ用に出力を設定する」を参照してください。

4-5 モニター用機器を接続する

外部モニターシステム（パワーモニタースピーカーまたはアンプとスピーカー）で聴く場合は、LINE OUT 端子に外部モニターシステムを接続してください。

ヘッドホンで聴く場合は、 Ω （ヘッドホン）端子にヘッドホンを接続してください。

設定によっては、REC[●] ボタンを押さないと、モニターできない場合があります。詳しくは、21 ページの「録音動作の流れ」を参照してください。



4-6 内蔵スピーカーを使用する

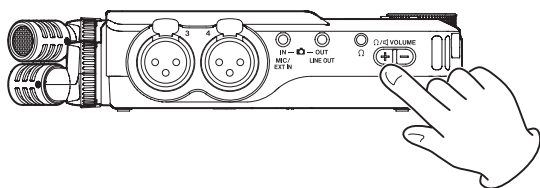
本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、一般設定 > 入出力設定ページ > スピーカー出力項目をオンにしてください。

メモ

Ω （ヘッドホン）端子に機器が接続されていると、スピーカー出力がオフに設定されていてもスピーカーから音は出力されません。

4-7 再生の音量を調節する

内蔵スピーカーおよび Ω （ヘッドホン）端子から出力される音量を、 Ω / Ω （ヘッドホン/スピーカー）ボリュームの+/-を押して音量を調節します。



注意

本機の内蔵スピーカーで再生音を聴く場合は、一般設定画面 > 入出力設定ページ > スピーカー出力項目をオンにしてください。出荷時の設定は、オフになっています。

メモ

録音ガイド中、録音待機中、録音中またはヘッドホンを接続するとスピーカーから音は出力されません。

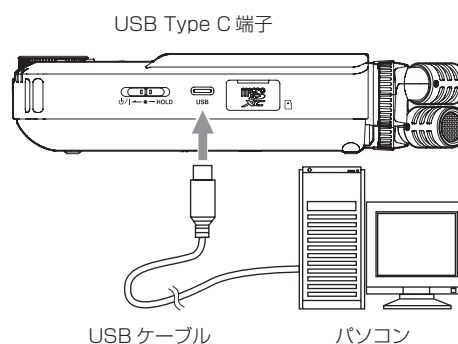
4-8 パソコンやスマートフォンと接続する

パソコン (Windows/Mac) やスマートフォンと USB 接続すると、以下のような使い方ができます。

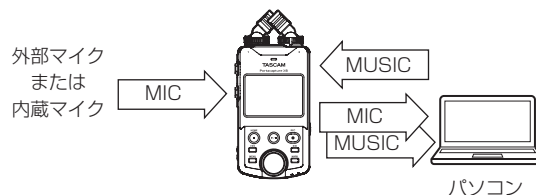
- USB マイクとして使う
- 本機の microSD カードで録音しながら、パソコンでも録音する (バックアップ録音)
- パソコンの再生音をモニターする
- microSD カードリーダー (パソコン接続時のみ)

メモ

本機とパソコン (Windows/Mac) やスマートフォンを接続する場合、別途 USB ケーブルを用意する必要があります。(→ 5 ページ「USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について」)



- パソコンの再生音と本機に接続したマイクの音声をミックスしてネット配信する (ループバック)



詳しい使い方は、45 ページの「USB 接続」を参照してください。

第5章 入出力設定

5-1 入力選択機能を使う

2トラック単位でトラック番号と入力端子の割り当てを設定します。入力選択の変更は録音アプリの画面から行います。

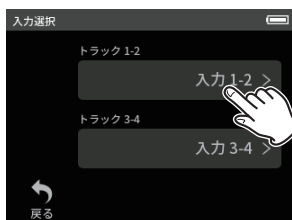
1. 本体左下のショートカットメニューボタンを押す。



2. 入力選択アイコンをタップする。



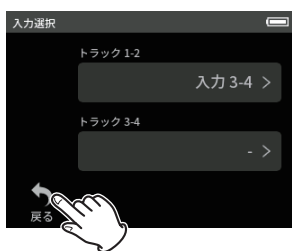
3. 入力端子の割り当てを変更するトラックをタップする。



4. 割り当てる入力端子をタップする。
必要に応じて、手順3、4の操作を行ってください。



5. BACKアイコンをタップして設定を終了する。



注意

内蔵マイクと MIC/EXT IN は同時に使用できないため、どちらか片方しかトラックに割り当てることができません。

メモ

- 入力設定は、新しく割り当てたトラックに引き継がれます。ただし、ステレオリンクを除きます。
- 内蔵マイクを割り当てたトラックは「MIC」と表示されます。
- MIC/EXT IN 端子を割り当てたトラックは「EXT」、プラグインパワーをオンにすれば「EXT MIC」と表示されます。(→ 20 ページ「プラグインパワーを設定する」)

5-2 各入力で入力設定する

設定するトラックの入力設定アイコンまたはショートカットメニューの入力設定をタップして設定画面を表示します。

[MANUAL 録音アプリの例]



入力設定アイコンをタップする。

メモ

- USB は入力設定の対象外です。
- 設定項目は 1 画面に全て表示されていません。画面を上下にスワイプして必要な設定項目を表示してください。
- 設定可能なトラックはアプリによって異なります。(→ 10 ページ「録音アプリの出力ファイル」)
- トラックを選択して設定を行いますが、設定は選択したトラックに割り当てられている入力端子の設定として保存されます。このため入力選択機能を使ってトラックと入力端子の割り当てを変更しても入力端子の設定が変わることはありません。ただし、ステレオリンクを除きます。

ステレオリンク (ステレオリンク)

トラック 1/2、3/4 の音声をステレオ音声としてミキサーに送ることができます。

ステレオリンクするトラックのどちらかを選択し、ステレオリンク設定をオンにしてください。

メモ

- 出荷時の設定は、内蔵マイクを接続するトラック 1/2 はステレオリンクがオンになっています。内蔵マイクがステレオリンクしているときのトラック表示は「MIC」になります。
- MIC/EXT IN 入力と USB 入力のステレオリンク設定はオン固定のため、ステレオリンクボタンは無効になっています。

録音する入力ソースの設定 (入力)

トラックの入力ソースの設定をします。

入力 1/2 の時は、「MIC」か「EXT」を選択してください。

入力 3/4 の時は、「MIC」か「ライン」を選択してください。

- 「EXT」を選択すると、MIC/EXT IN 端子がトラックにステレオリンク設定で割り当てられます。
- 「ライン」を選択すると、入力信号が -22dB アッテネートされます。

ファンタム電源を使う (ファンタム電圧)

ファンタム電源を必要とするマイクを使用するときに設定します。(→ 20 ページ「ファンタム電源の電圧値の設定」)

入力レベルを自動調節する (オートゲイン)

オンにすると、入力音声に合わせて入力レベルが自動で調整されます。入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節するため、会議録音などに適しています。オートゲインをオンにした状態では、手動で録音レベルを変更することはできません。

ローカットフィルターの設定 (低域カット)

選択した周波数以下の音声をカットします。

ローカットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切り音などのノイズを低減することができます。

ノイズに合わせて、ローカットフィルターのカットオフ周波数を設定してください。

低域カット

オフ / 40Hz/80Hz/120Hz/220Hz

ノイズゲートの設定 (ノイズゲート)

一定レベル以下の音声を無音にします。

弱いを選択すると小さな音だけ無音になり、強いを選択するとある程度大きな音も無音になります。

リミッターの設定 (リミッター / コンプ)

リミッターを使うと、突発的な過大入力音による歪みを抑えることができます。

オフ

リミッターをオフにします。

リミッター

突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。
音量変化が激しいライブ録音などに適しています。

注意

入力音が大きすぎるとリミッター機能をオンにしても歪んでしまう場合があります。そのときは、手動で入力レベルを下げるか、音源から本体を離してください。

コンプ

小さい入力は大きく、大きな入力はそれ以上大きくならないよう調整します。

歪みを防ぐ機能はありません。

過大入力が無く音量変化が大きな環境などに適しています。

イコライザーの設定 (EQ)

イコライザーは、特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。個々の楽器の色付けや、幅広い帯域のバランス調整や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。

VOICE

インタビューや会議、ポッドキャストなどでの音声録音に適した設定です。

GUITAR

アコースティックギターの録音に適した設定です。

LOUD

バンド演奏など、重低音を強調したい録音に適した設定です。

VOCAL

歌唱の録音に適した録音です。

マニュアル EQ

4つの帯域を手動で調整できます。うち2つは低域ブーストと高域ブースト、もう2つはピークカーブを設定できます。

マニュアル EQ

4バンドのEQを手動で調節できます。



調整するつまみをタップ



フェーダーを左右にスライドさせて調節する。

メモ

調整するつまみをタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。

ゲインつまみ (HIGH/H-MID(HIGH MID)/L-MID(LOW MID)/LOW)

各バンドの増幅、減衰量を設定します。

設定範囲

ゲイン: -12dB ~ +12dB (初期値: 0dB)

FREQつまみ (HIGH/HIGH MID/LOW MID/LOW)

HIGHとLOWはカットオフ周波数、HIGH MIDとLOW MIDは中心周波数を設定します。

設定範囲

HIGH: 1.7kHz ~ 18.0kHz (初期値: 5.5kHz)

HIGH MID: 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 1.7kHz)

LOW MID: 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 1.7kHz)

LOW: 32Hz ~ 1.6kHz (初期値: 400Hz)

Qつまみ (HIGH MID/LOW MID)

各バンドの尖鋭度 (尖り具合) を設定します。

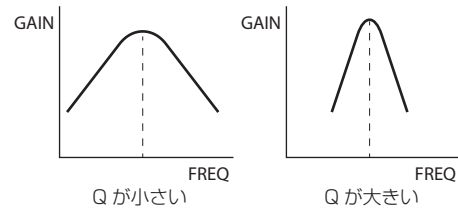
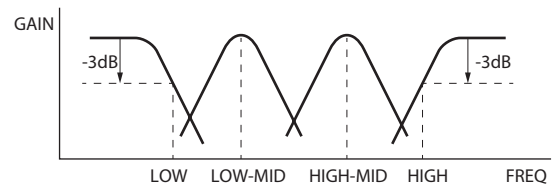
値が大きいほど尖った特性になり、設定周波数を中心にして、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さいほどなだらかな特性になり、設定周波数を中心にして、広い範囲の帯域に作用します。

設定範囲

HIGH MID: 0.25 ~ 16.00 (初期値 2.00)

LOW MID: 0.25 ~ 16.00 (初期値 2.00)

EQ 特性例



入力の位相を反転させる (位相反転)

オンにすると位相 (フェーズ) を反転します。

メモ

同じ音源を2本以上のマイクで録音しているときに、音がボヤけると感じた場合、いずれかひとつあるいは複数の入力を位相反転すると音質が改善する場合があります。

5.入出力設定

入力ゲインを調節する (GAIN)

GAIN をスライドして入力レベルを調節する。

- レベルメーターを見ながら-12dB を中心にレベルが変化し、PEAK インジケーターが点灯しないように GAIN を調節してください。
- PEAK インジケーターが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。

メモ

入力レベルが-2dB を超えると、本機の PEAK インジケーターが点灯します。



メモ

- アナログ回路でオーバーロードが発生した場合、レベルメーター全体が赤く点灯します。
録音音声が歪む可能性がありますので、以下の方法で調整してください。
 - 入力ゲインを LOW に切り換える。
 - 音源からマイクを遠ざける。
 - 音源の音量を下げる。
- GAIN をタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。

入力ゲインを切り換える (入力ゲイン)

入力ゲインは、GAIN LOW と GAIN HIGH の 2 種類を選択できます。GAIN LOW または GAIN HIGH のボタンをタップすると GAIN HIGH または GAIN LOW に切り換わります。

メモ

- GAIN LOW 設定で入力ゲインを調節して、ゲインが不足しているときは GAIN HIGH に切り換えて調節をしてください。
- ステレオリンクをしている入力、ゲイン切り換えが連動します。
- 入力 1-2 のみ、ステレオリンクを解除してもゲイン切り換えは連動します。

5-3 入力にリバーブをかける (リバーブ)

一般設定画面 > 入出力設定ページ > リバーブ項目で設定します。
設定をオンにすると選択したトラック (1/2,3/4,MIX) にリバーブをかけます。

メモ

録音設定が 96kHz のときはリバーブを使用できません。

種類

リバーブの種類を選択します。

タイプ	効果
LARGE HALL (初期値)	大きなホール空間をイメージしたリバーブです。
SMALL HALL	小さなホール空間をイメージしたリバーブです。
ROOM	小さな室内の空間をイメージしたリバーブです。
STUDIO	スタジオのような空間をイメージしたリバーブです。
PLATE1	大きなプレートに模したプレートリバーブです。
PLATE2	小さなプレートに模したプレートリバーブです。

入力対象

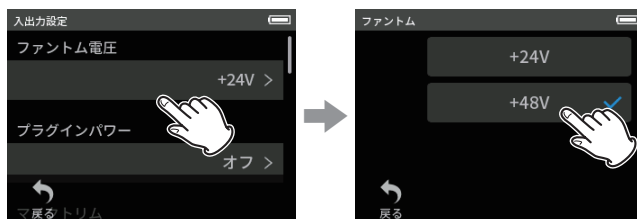
リバーブをかけるトラックを選択します。
ミックスを選択するとミキサーアウトにリバーブがかかります。

レベル

リバーブの量を設定します。

5-4 ファンタム電源の電圧値の設定

ファンタム電源の供給電圧は、一般設定画面 > 入出力設定ページ > ファンタム電圧項目で設定します。



ファンタム電圧項目をタップ

希望する電圧をタップ

メモ

- ファンタム電源の出力のオン/オフは入力設定画面で設定します。(→ 18 ページ「ファンタム電源を使う (ファンタム電圧)」)
- 初期値は +48V です。
- +48V に設定した場合、+24V よりも電池の消費が早くなります。

注意

- ファンタム電源をオンにした状態で、MIC/EXT IN 端子にマイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、ファンタム電源をオンにしてください。ファンタム電源を必要としないダイナミックマイクや外部機器などを接続しているときにファンタム電源をオンにすると、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナミックマイクをご使用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクを混用することはできません。
- リボンマイクの中には、ファンタム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファンタム電源を供給しないでください。
- コンデンサーマイクによっては、+24V に設定されたファンタム電源では動作しないものもあります。
- 電池の持続時間は、使用するマイクによって変わります。詳しくは、マイクの取扱説明書などを参照してください。
- 電池でファンタム電源を使用すると、マイクによっては極端に使用時間が短くなる場合があります。別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) の使用をお勧めします。
また、この推奨スペックを下回るアダプターを使用した場合、複数の入力でファンタム電源を使用した際に電源が自動的に切れる場合があります。
- ファンタム電源使用中は、USB 端子に接続されている電源ケーブルの抜き差しを行わないでください。本体に電池を挿入している状態でも電源が切れる可能性があり、録音中のデータが破損または消失してしまうことがあります。
- USB バスパワーで使用する場合、使用されるパソコンによってはファンタム電源が供給できない場合があります。その場合は電池駆動を設定します。

5-5 プラグインパワーを設定する

一般設定画面 > 入出力設定ページ > プラグインパワー項目で設定します。
選択肢: オフ (Default) / オン (ステレオ) / オン (モノラル)
プラグインパワーを必要とする外部マイクを接続したとき、オンに設定します。モノラルマイクを接続するときには「オン (モノラル)」を選択することで、L/R 両チャンネルに同じ信号が録音されます。

注意

プラグインパワーを必要とするマイクを接続するとき以外は、プラグインパワーをオンにしないでください。接続した機器の故障の原因になる恐れがあります。

詳細については、マイクの取扱説明書を参照してください。

6-1 録音アプリについて

録音待機機能

本機には、REC[●] ボタンを押してから入力信号のモニターを開始する「録音待機」機能があり、すべての録音アプリで使用できます。

録音を停止せずに録音と録音待機を繰り返すことで、一つのファイルとして保存することができます。

出荷時の設定は、「録音待機」機能はオフになっています。

「録音待機」機能がオフのとき、録音アプリ起動中は常に入力信号のモニターを行います。

「録音待機」機能がオンのとき、録音ガイド中、録音待機中と録音中のみ入力信号のモニターを行います。

「録音待機」機能の設定は、一般設定画面 > 録音設定ページ > 録音待機項目で行います。

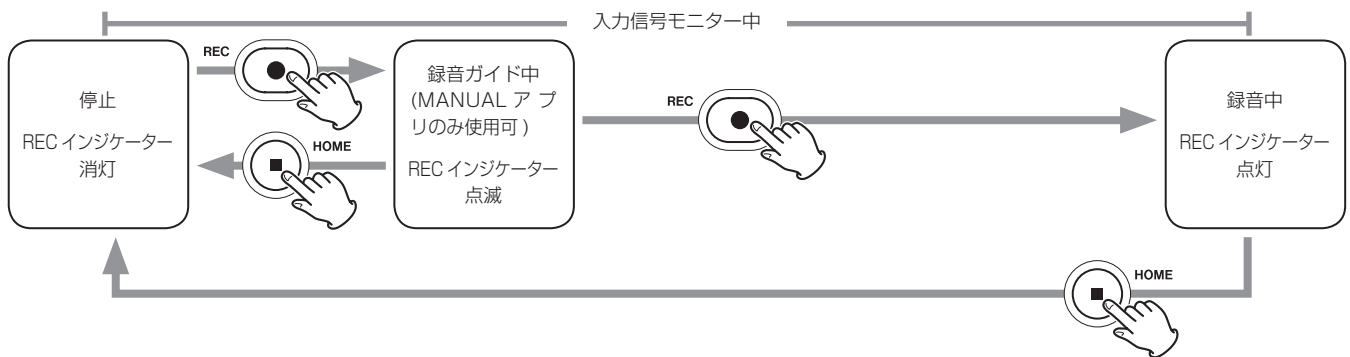
メモ

「録音待機」機能をオンにすると、停止状態で入力信号のモニターがオフになるため、停止状態での消費電力を抑えることができます。

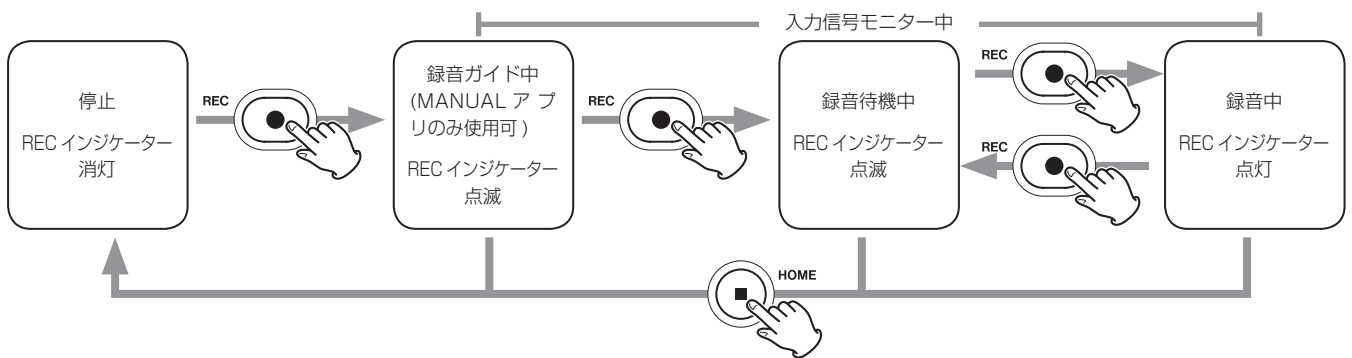
録音動作の流れ

本機は、「録音ガイド」機能(*1)と「録音待機」機能のオン/オフに応じて、ボタンを押すごとに以下のように状態が変わります。

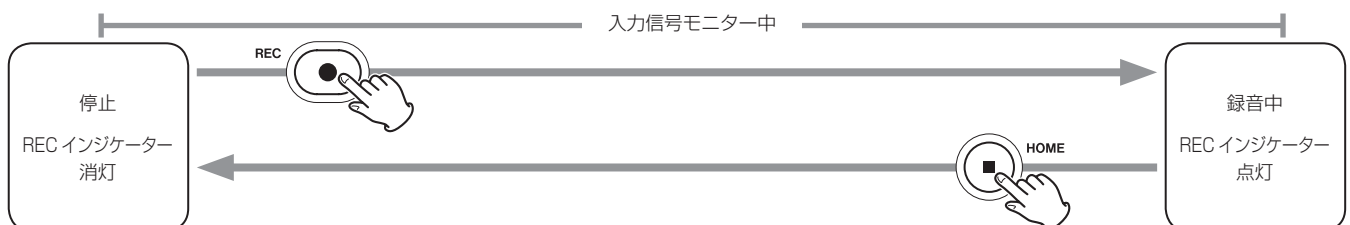
録音ガイド機能：オン 録音待機機能：オフ



録音ガイド機能：オン 録音待機機能：オン

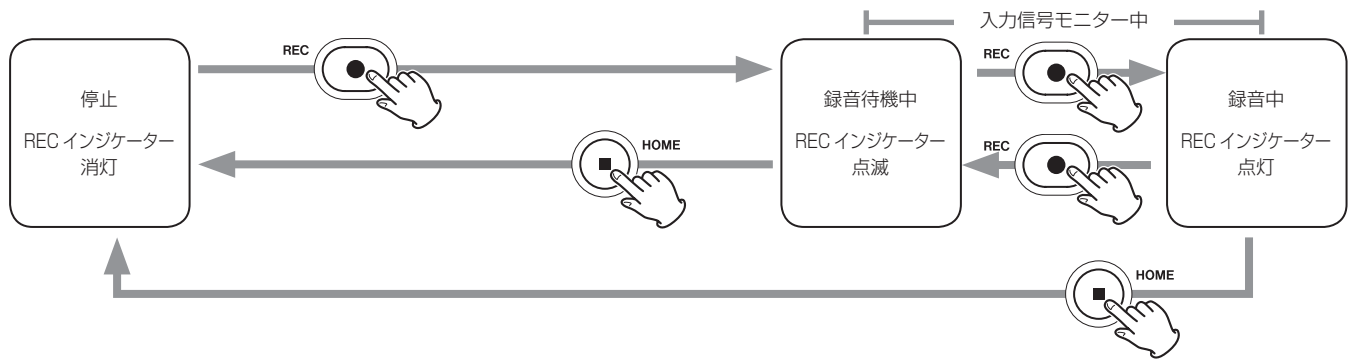


録音ガイド機能：オフ 録音待機機能：オフ



録音ガイド機能：オフ 録音待機機能：オン

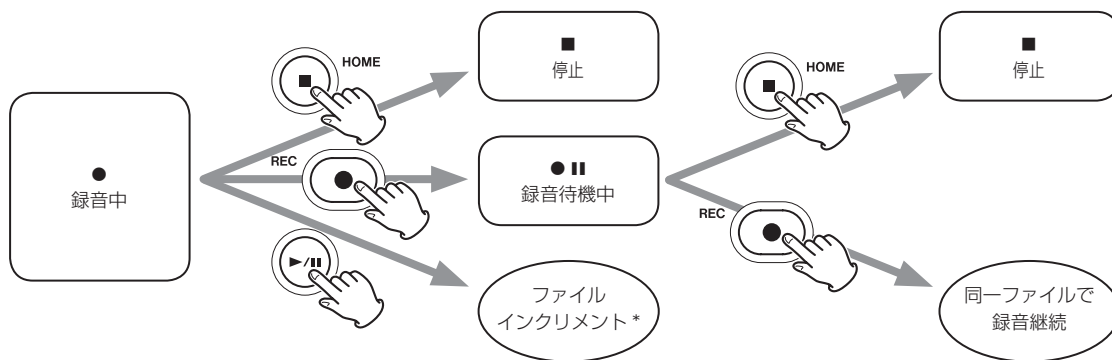
6.録音アプリ



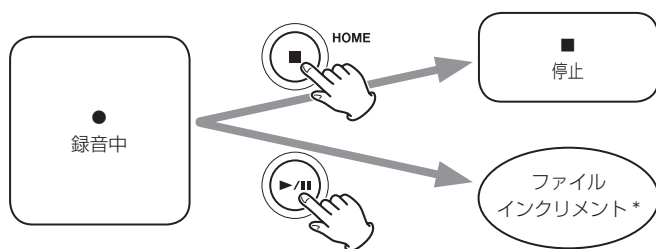
*1:「録音ガイド」機能は、MANUAL アプリのみ使用できます。MANUAL アプリ以外では、設定のオン/オフに関わらず「録音ガイド」機能はオフとして動作します。

6-2 録音中の各ボタンの動作

録音待機機能オン



録音待機機能オフ

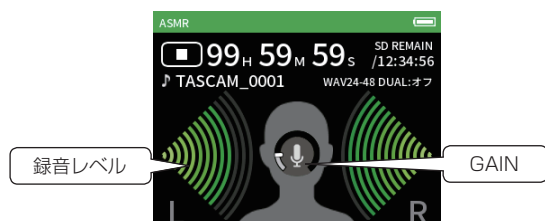


* ファイルインクリメントについては、32 ページの「録音を続けたままファイルを切り換える (ファイルインクリメント機能)」を参照してください。

6-3 ASMR アプリで録音する

入力音声に応じて画面エフェクトが変化する録音アプリです。ステレオ感を強調させるために、内蔵マイクをお使いの場合はA-B方式で録音することを推奨します。(→15ページ「内蔵マイクを設定する」)

画面の説明



SHORTCUT MENU



本体左下のショートカットメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。

LAUNCHER

アプリの切り換え、本体設定 (→8ページ)

ブラウズ

ファイル操作 (→39ページ)

一般設定

詳細設定 (→51ページ)

入力選択

トラック番号と入力端子の割り当て (→18ページ)

入力設定

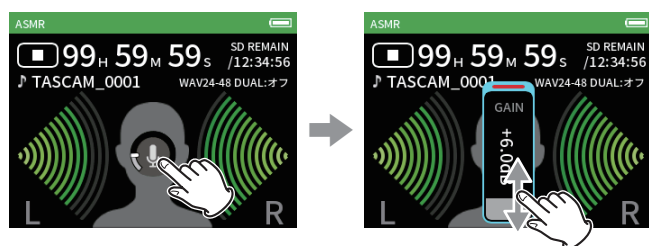
入力設定 (→18ページ)

録音設定

録音設定、操作 (→31ページ)

入力レベルの設定

1. 画面中央のリングの内側をタップする。
2. 録音対象物をマイクに近づけて、レベルメーターを見ながら PEAK インジケータが点灯する手前で GAIN を調節する。



メモ

- 入力レベルが-2dBを超えると、本機の PEAK インジケータが点灯します。
- PEAK インジケータが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。
- レベルメーター全体が赤く点灯した場合は、アナログ回路でオーバーロードが発生しています。
- GAIN をタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。

6-4 MANUAL アプリで録音する

本機の基本となるアプリです。最大4チャンネルのマルチトラック録音が可能です。

録音ガイド機能 (MANUAL アプリのみ)

録音は、LAUNCHER 画面で表示される各種録音アプリの中から目的にあった録音アプリを起動して行います。(→8ページ「アプリについて」)
録音を適切なレベルで行うために、録音アプリ起動後に、各トラックの入力レベル設定、各トラックのミックスバランスを設定する必要があります。
本機には、誤操作により必要な設定をスキップしたり、違う順番で設定をしたりしないようにする「録音ガイド」機能があり、MANUAL アプリでのみ使用できます。(出荷時には「録音ガイド」機能がオンになっています。)
MANUAL アプリ起動後、操作手順が表示されるので指示に従って調節を行ってください。
録音ガイド中は、以下の設定手順で設定画面が遷移し、正しい順番で設定を行うことができます。

注意

入出力設定に関するガイドは表示されません。

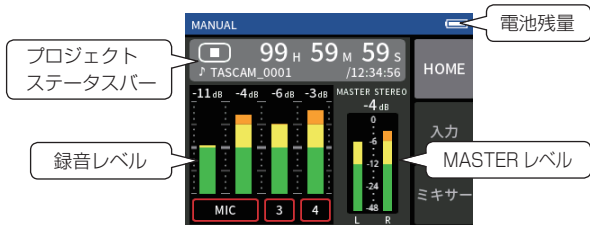
メモ

- 出荷時の設定（「録音ガイド」機能がオン）では、「録音ガイド」機能に沿ってミキサー画面まで設定を進めないと録音を開始できません。
- 「録音ガイド」機能が不要なときは、MANUAL アプリの HOME 画面に移動し、SHORTCUT MENU > 録音ガイドをオフにしてください。ミキサー画面以外でも録音を開始できるようになります。
- 「録音ガイド」機能のオン/オフによる録音動作の違いについては、21ページの「録音動作の流れ」を参照してください。
- 「録音ガイド」機能がオンでも録音待機中は、ミキサー画面以外の画面でも録音開始できます。

設定手順



画面の説明



SHORTCUT MENU

本体左下のショートカットメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。



LAUNCHER

アプリの切り換え、本体設定 (→8ページ)

ブラウザー

ファイル操作 (→39ページ)

一般設定

詳細設定 (→51ページ)

入力選択

トラック番号と入力端子の割り当て (→18ページ)

ミックスダウン

(→47ページ)

録音設定

録音設定、操作 (→31ページ)

録音ガイド

(→24ページ)

オーバーダブ/パンチI/O

(→32ページ)

ホイール操作

GAIN、フェーダー、PAN や MASTER LEVEL をタップ後、ホイールを左右に回すことで設定を微調整することができます。

スライド操作で大まかな値を決め、その後に微調整する際に便利です。

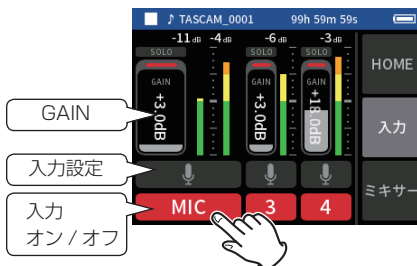
入力レベルの設定

1. HOME 画面を表示させ、本機の REC[●] ボタンを押す。REC インジケーターが点滅します。



録音ガイド機能がオフ、録音待機機能がオフのときは、REC[●] ボタンを押す必要はありません。(→ 21 ページ「録音動作の流れ」)

2. 画面右の入力ボタンを押し、入力設定画面を表示する。MIC、3 または 4 をタップして入力のオン/オフを変更する。録音形式が WAV の場合、オンにしたトラックが録音されます。

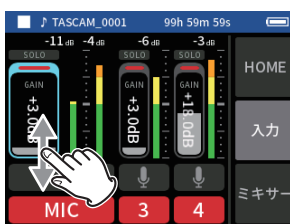


入力設定の詳細については、18 ページの「各入力で入力設定する」を参照してください。

3. レベルメーターを見ながら -12dB を中心にレベルが変化し、PEAK インジケーターが点灯しないように GAIN を調節する。

メモ

- 入力レベルが低すぎると録音した音が小さくなり、高すぎると音が歪みます (音割れ)。
- 入力レベルが -2dB を超えると、本機の PEAK インジケーターが点灯します。
- PEAK インジケーターが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。
- レベルメーター全体が赤く点灯した場合は、アナログ回路でオーバーロードが発生しています。
- GAIN をタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。



ミキサーの設定

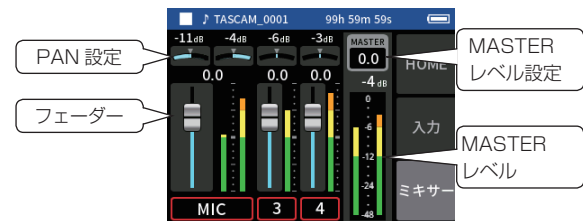
1. 画面右のミキサーをタップしてミキサー画面にする。



2. 各トラックのフェーダーをスライドして、MASTER へ送る音量のバランスを調節する。

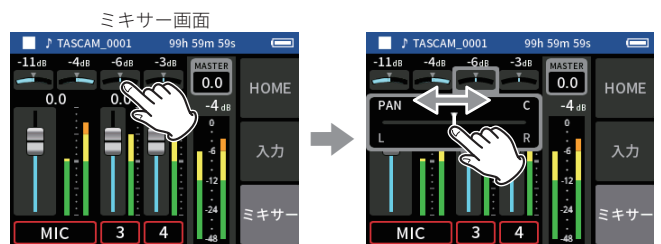
フェーダー

各トラックの出力レベルを調節します。



PAN

各トラックの左右の音量バランスを調節します。



PAN 設定をタップする

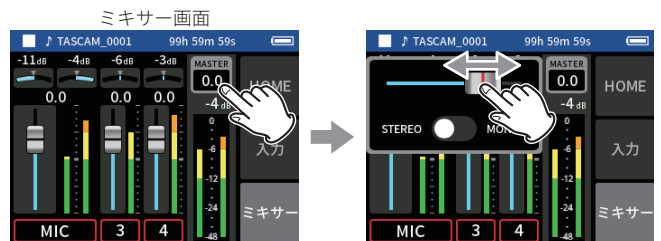
スライダーを左右にスライドさせてバランスを調節する。

MASTER LEVEL

各トラックをミックスした音声のレベルを調節します。

各トラックのレベルのバランスを調整後、全体のレベルを調節したいときに変更します。

各トラックをミックスした音声をモノラルにしたいときは、フェーダー下の設定を MONO に変更してください。



MASTER LEVEL 設定をタップする。

フェーダーを左右にスライドさせてレベルを調節する。

メモ

ミックスバランス設定は、カレントプロジェクトを切り換えた場合、または電源をオフした場合に保存されます。

また、マスターファイルのステレオ / モノラル設定を本機では記憶しません。

録音の際に必ず設定を行って下さい。

6-5 MUSIC アプリで録音する

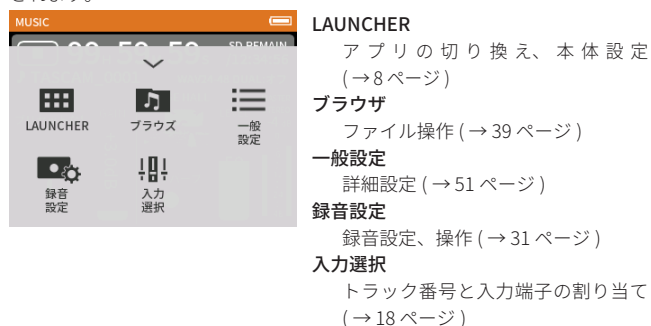
楽器演奏や歌唱の簡易収録に適した録音アプリです。

画面の説明

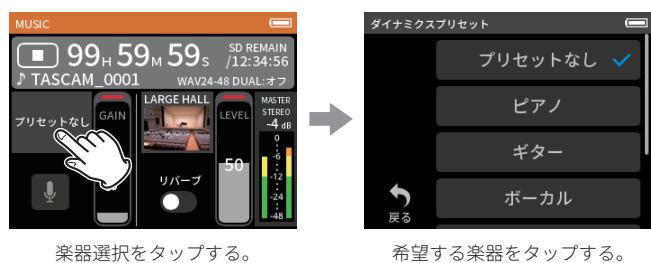


SHORTCUT MENU

本体左下のショートカットメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。



録りたい楽器を選ぶ



プリセットなし

ダイナミクスプリセットがかかっていない素の状態です。

ピアノ

ピアノ向け

ギター

アコースティックギター向け

VOCAL

歌唱向け

管楽器

管楽器向け

弦楽器

弦楽器向け

バンド演奏

バンド演奏向け

- 希望する楽器が選択肢にない場合は、プリセットなしを選択してください。

入力レベルの設定



楽器を演奏し、レベルメーターを見ながら-12dBを中心にレベルが変化し、PEAKインジケーターが点灯しないようにGAINを調節してください。

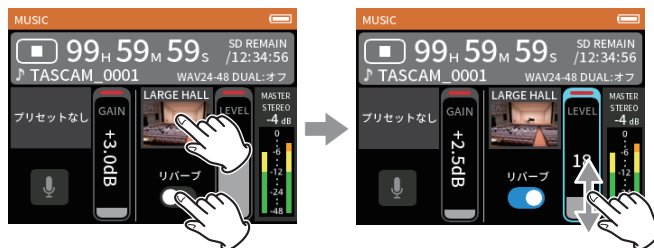
メモ

- 入力レベルが-2dBを超えると、本機のPEAKインジケーターが点灯します。
- PEAKインジケーターが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。
- レベルメーター全体が赤く点灯した場合は、アナログ回路でオーバーロードが発生しています。
- 入力レベル以外の入力設定を行うには、入力設定をタップしてください。
- GAINをタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。

入力設定の詳細については、18ページの「各入力で入力設定する」を参照してください。

入りにリバーブをかける (リバーブ)

- リバーブ設定をタップしてオンにする。
- タイプをタップしてタイプを選択する。
- リバーブをスライドしてリバーブの量を調節する。



メモ

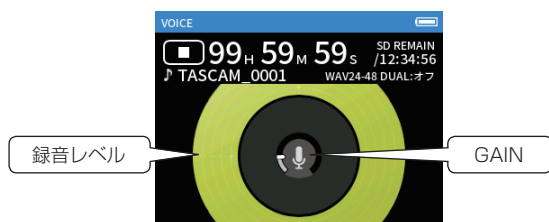
リバーブをタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。

詳細は、20ページの「入りにリバーブをかける (リバーブ)」を参照してください。

6-6 VOICE アプリで録音する

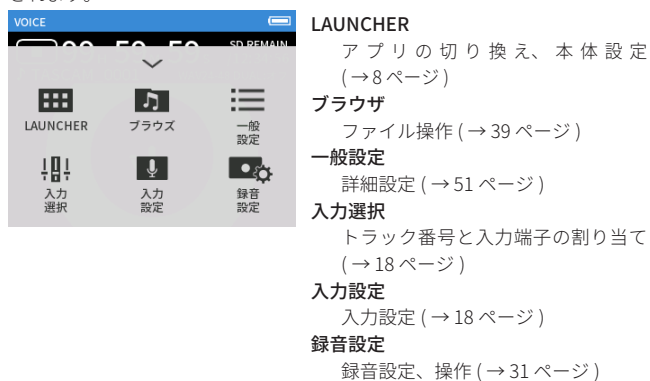
インタビューや VLOG 用の音声収録に適した録音アプリです。

画面の説明



SHORTCUT MENU

本体左下のショートカットメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。

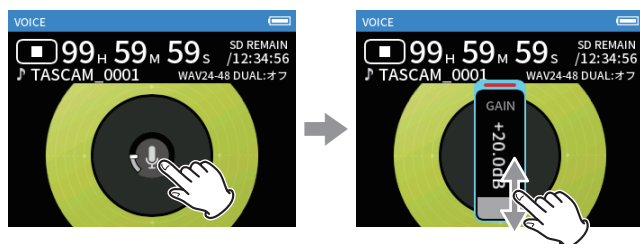


入力の設定をする

詳細は、18 ページの「各入力で入力設定する」を参照してください。

入力レベルの設定

1. 画面中央のリングの内側をタップする。
2. マイクに向かって喋り、録音レベルの表示が赤にならないように GAIN を調節してください。



メモ

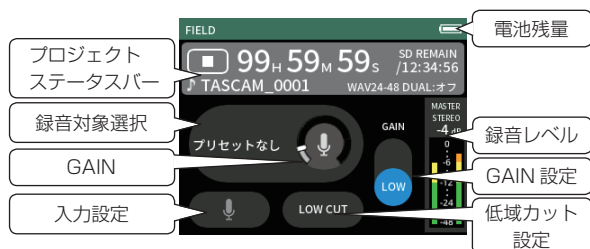
- 入力レベルが-2dBを超えると、本機の PEAK インジケーターが点灯します。
- PEAK インジケーターが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。
- レベルメーター全体が赤く点灯した場合は、アナログ回路でオーバーロードが発生しています。
- GAIN をタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。

6.録音アプリ

6-7 FIELD アプリで録音する

屋外での収録に適した録音アプリです。

画面の説明



SHORTCUT MENU

本体左下のショートカットメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。



LAUNCHER

アプリの切り換え、本体設定 (→8 ページ)

ブラウズ

ファイル操作 (→39 ページ)

一般設定

詳細設定 (→51 ページ)

録音設定

録音設定、操作 (→31 ページ)

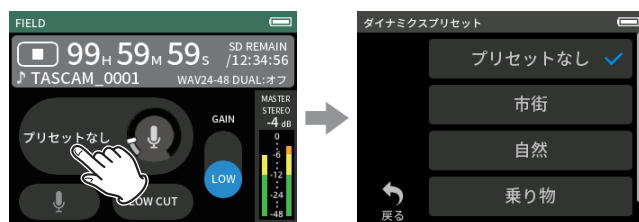
入力選択

トラック番号と入力端子の割り当て (→18 ページ)

入力の設定をする

詳細は、18 ページの「各入力で入力設定する」を参照してください。

録る対象を選ぶ



画面中央をタップする。

録る対象をタップする。

プリセットなし

マイクプリそのまま (無処理状態)

市街

雑踏などの環境音

自然

草木の揺れや川のせせらぎなど

乗り物

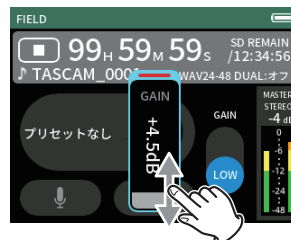
電車 / モータースポーツなど

野鳥

野鳥の鳴き声など

- 希望する対象が選択肢にない場合は、プリセットなしを選択してください。

入力レベルの設定



録音対象にマイクを向け、レベルメーターを見ながら -12dB を中心にレベルが変化し、PEAK インジケーターが点灯しないように GAIN を調節してください。

メモ

- 入力レベルが -2dB を超えると、本機の PEAK インジケーターが点灯します。
- PEAK インジケーターが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。
- レベルメーター全体が赤く点灯した場合は、アナログ回路でオーバーロードが発生しています。
- GAIN をタップ後、ホイールを回して、微調整することもできます。

入力レベル以外の入力設定を行うには、入力設定をタップしてください。設定の詳細は、18 ページの「各入力で入力設定する」を参照してください。

ゲインを切り換える (GAIN)

LOW 設定で入力ゲインを調節して、ゲインが不足しているときは HIGH に切り換えて調節をしてください。

フィルターを設定する (低域カット)

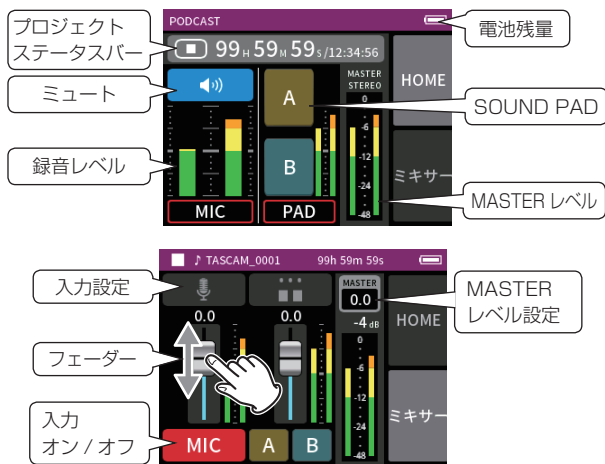
ローカットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切り音などのノイズを低減することができます。

ノイズに合わせて、ローカットフィルターのカットオフ周波数を設定してください。

6-8 PODCAST アプリで録音する

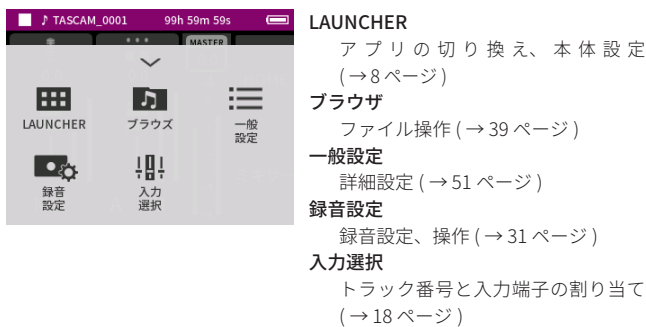
最大2人までのポッドキャスト収録に適したアプリです。

画面の説明



SHORTCUT MENU

本体左下のショートカットメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。



ホイール操作

GAIN、フェーダー、PANやMASTER LEVELをタップ後、ホイールを左右に回すことで設定を微調整することができます。

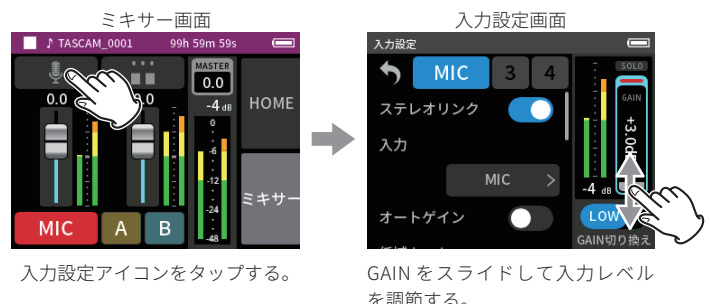
スライド操作でだまかな値を決め、その後に微調整する際に便利です。

入力レベルの設定

1. ミキサー画面を表示させる。
2. 入力設定アイコンをタップする。
3. 音声を入力し、レベルメーターを見ながら-12dBを中心にレベルが変化し、PEAKインジケータが点灯しないようにGAINを調節する。

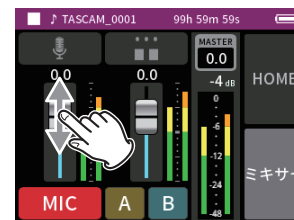
メモ

- 入力レベルが-2dBを超えると、本機のPEAKインジケータが点灯します。
- PEAKインジケータが点灯したときの録音音声は、歪むことがあります。
- レベルメーター全体が赤く点灯した場合は、アナログ回路でオーバーロードが発生しています。



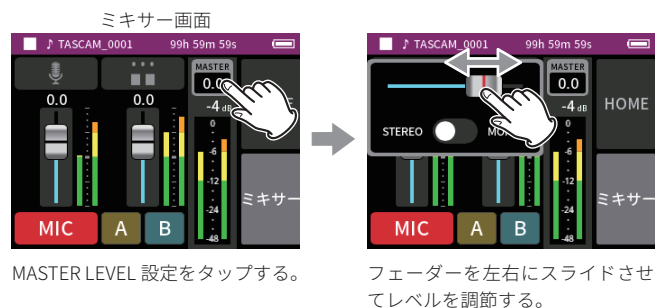
ミキサーの設定

フェーダーをスライドして、ミックスバランスを調節する。



MASTER LEVEL

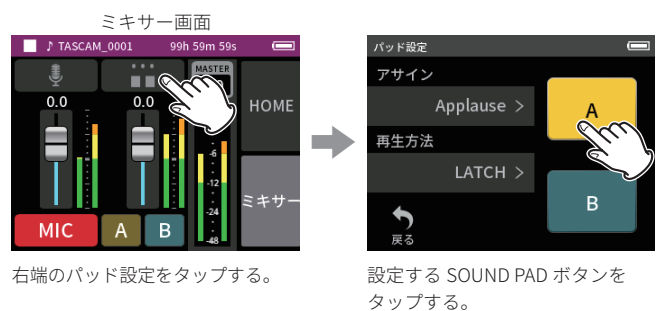
各トラックをミックスした音声のレベルを調節します。各トラックのレベルのバランスを調整後、全体のレベルを調節したいときに変更します。各トラックをミックスした音声をモノラルにしたいときは、スライダー下の設定をMONOに変更してください。



SOUND PAD の設定をする

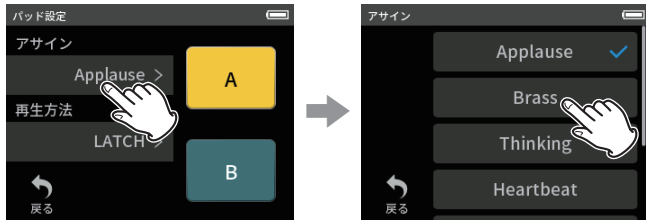
SOUND PAD ボタンを押したときに再生する音声と再生方法の設定をします。

設定するボタンを選択する



6.録音アプリ

再生する音声を設定する



ASSIGN をタップする。

希望する設定をタップする。

Applause

拍手・歓声が鳴ります。黄色の PAD にデフォルトで割り当てられています。

Brass

ラッパのグリッサンド音が鳴ります。青色の PAD にデフォルトで割り当てられています。

Thinking

ウッドベースの短いフレーズが鳴ります。

Heartbeat

心臓の鼓動音が鳴ります。

Ding dong

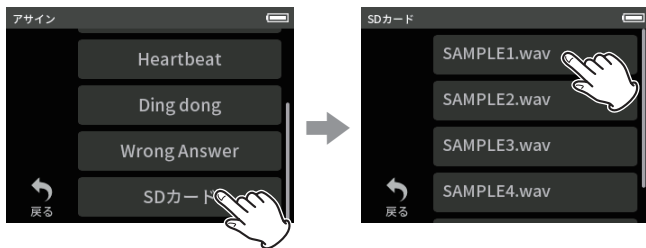
チャイム音が 2 度鳴ります。

Wrong Answer

ブザー音が 2 度鳴ります。

SD CARD

本機でフォーマットした microSD カードにはパッド音源用の「SOUNDPAD」フォルダーが存在します。(→ 38 ページ「ファイル・プロジェクト構造について」)
このフォルダーに格納した音源ファイルをパッドに割り当てることができます。



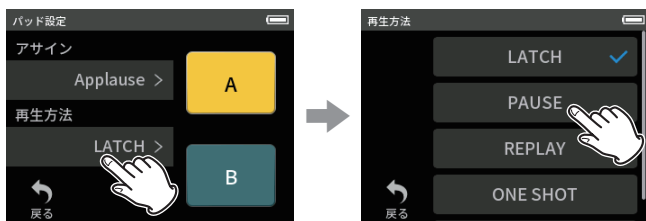
SD CARD をタップする。

希望するファイルをタップする。

メモ

- サウンドパッドに割り当てできる音源のフォーマットは WAV 48kHz/16bit のみです。
- microSD カード内の音源がサウンドパッドに割り当てられている場合、microSD カードの抜き差しや本体の電源をオフにすると、初期値の Applause、Brass にリセットされます。

再生方法を設定する



再生方法をタップする。

希望する設定をタップする。

LATCH(初期値)

押すと先頭から再生を開始します。もう一度押すと停止します。さらに押すと先頭から再生を開始します。

PAUSE

押すと先頭から再生を開始します。
もう一度押すと一時停止、さらに押すと続きから再生します。

REPLAY

押すたびに先頭から再生します。

ONE SHOT

押すと先頭から再生します。
再生中にもう一度押しても停止しません。
強制停止させるには長押しします。

REPEAT

押すと先頭から再生(リピート再生)を開始します。
もう一度押すと停止します。

録音中に効果音を鳴らす



サウンドパッドをタップすると設定した再生方法に従って、音源が再生されます。

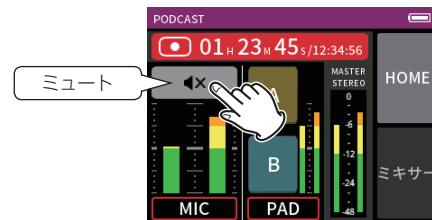
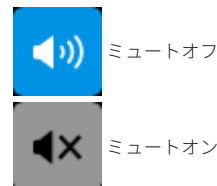
マスターおよび、PAD のトラックの録音ファイルには再生したタイミングで音声記録されます。

メモ

本体に SD カードを挿入しないと、サウンドパッドは再生できません。

マイクミュート

ミュートボタンを押してミュートのオン、オフを切り換えます。



再生する

メモ

- カレントプロジェクトが 2ch 録音アプリおよび MANUAL アプリで録音したファイルの場合、マスターファイルを再生します。
- PODCAST アプリで再生可能なファイルのサンプリング周波数は、48kHz のみです。

7-1 各入力のモニターをする (ソロモニター機能)

MANUAL アプリでは、入力画面でモニターしたいトラックの SOLO アイコンをタップすることでソロモニターができます。

MANUAL アプリの
入力画面



入力画面で、モニターしたいトラックの SOLO アイコンをタップする。

SOLO アイコンの背景が青くなり、選択したトラックの音声のみがモニター出力されます。

- 選択したトラックの SOLO アイコンをもう一度タップすると MASTER 出力がモニター出力されます。

MANUAL アプリ、PODCAST アプリの入力画面で SOLO ボタンをタップすると、表示されている入力チャンネルのソロモニター (PFL) 状態となります。



メモ

- 入力がステレオリンクされている場合はステレオソースのモニターとなります。
- 入力設定画面のソロモニターは AFL です。

7-2 録音ファイルのフォーマットを変更する

一般設定画面 > 録音設定ページ > 録音形式項目で設定します。

録音形式

ファイルフォーマットを選択してください。

注意

MP3 ファイルフォーマットの場合、以下の制限があります。

- サンプル周波数は 44.1 または 48kHz のみ選択可能
- 記録トラックはマスタートラックのみ (トラックファイルは記録されません)

サンプリング周波数

サンプリング周波数を選択してください。

量子化ビット数

量子化ビット数を選択してください。

32bit-float

本機は、32bit-float 録音に対応しています。32bit-float で録音したファイルは、収録後のデータ編集において下記の特長があります。

- 小さな音を、元の音質を保ったまま音量を上げることが可能です。
- 聴感上クリップしている音も、音量を下げることで、クリップのない音に復元可能です。

注意

アナログでクリップした際は、音量を下げた場合でもクリップしてしまいます。

注意

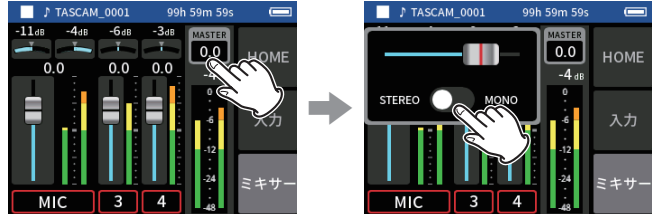
PODCAST は、「サンプリング周波数：48kHz、量子化ビット数：24bit」のみ選択可能です。

7-3 モノラル録音をする

ミキサー画面の MASTER レベル設定で設定を切り換えます。

- MANUAL アプリと PODCAST アプリでのみ設定可能です。

MANUAL アプリミキサー画面の例



MASTER LEVEL 設定をタップする。

STEREO/MONO スイッチをタップして設定する。

7-4 録音中に一時停止する (レックポーズ機能)

21 ページの「録音待機機能」を参照してください。

7-5 録音を自動的に始める (オートレック機能)

一般設定画面 > 録音設定ページ > 自動録音項目で設定します。

録音を自動で開始させる機能です。

録音レベルが設定したレベルを上回ると録音を開始します。また、録音レベルが設定したレベルを下回ったとき、一時停止するか、ファイルインクリメントするかを設定できます。

自動録音

オンにすると以下の設定で録音を行います。

スタートレベル

録音を開始する録音レベルを設定します。

オフを選択したときは REC[●] ボタンを押して録音を開始します。

終了レベル

録音を終了する録音レベルを設定します。

オフを選択したときは HOME[■] ボタンを押して録音を終了します。

終了ディレイ

録音レベルが終了レベルを下回ってから録音を終了するまでの時間を設定します。

時間が経過する前に録音レベルが終了レベルを上回った場合は録音を継続します。

終了モード

オートレックが始まった後、録音レベルが終了レベルを下回り、再び開始レベルを超えたとき次のように動作します。

同じファイル：同じファイルで録音を継続

新しいファイル：次のファイルで録音を開始

7-6 同時に 2 つの設定で録音する (デュアルレック機能)

一般設定画面 > 録音設定ページ > デュアルフォーマット項目で設定します。

録音時に異なるフォーマットで録音を行います。

MP3

FLOAT

通常の録音に加え、選択したフォーマットでも録音を行います。

メモ

- MP3 デュアルフォーマット録音は、サンプリング周波数 96kHz のときは使用できません。

7.録音設定

- FLOAT デュアルフォーマット録音は、マニュアルアプリの 96kHz では使用できません。
- ローカット、ノイズゲート、リミッター、イコライザー、位相反転をオンにした場合は、両方のファイルに機能します。

7-7 録音開始の少し前から録音する (プリレック機能)

一般設定画面 > 録音設定ページ > プリ録音項目で設定します。
オンにすると録音待機中に入力される信号を最大 2 秒間録音しておき、録音開始時に最大 2 秒前からの信号を録音します。

メモ

プリレックをオンに設定すると同時に録音待機もオンになります。

7-8 入力レベルを自動で調整する (オートレベル機能)

各アプリの入力設定画面 > オートゲイン項目で設定します。
入力音量にあわせて入力レベルを自動的に上下させます。音量が上下しても問題ない会議録音などに最適です。

7-9 録音ファイルの名前について

36 ページの「ファイル名について」を参照してください。

7-10 録音フォルダーを指定する

36 ページの「ファイル操作」を参照してください。

7-11 録音を続けたままファイルを切り換える (ファイルインクリメント機能)

ファイル番号を自動または手動で切り換えることができます。

メモ

- 新しいファイルが作成されると、ファイル名の末尾の数字が繰り上がります。
- 新たに作成するファイルのファイル名がすでに存在する場合は、さらに数字が繰り上がります。
- フォルダーとファイルの総数が 5000 個を超える場合は、新たなファイルは作成できません。

自動

一般設定画面 > 録音設定ページ > 自動ファイル分割項目で設定します。
録音中に設定した時間が経過したときに自動的に現在のファイルへの録音を終了し、新しいファイルに録音を継続することができます。

手動

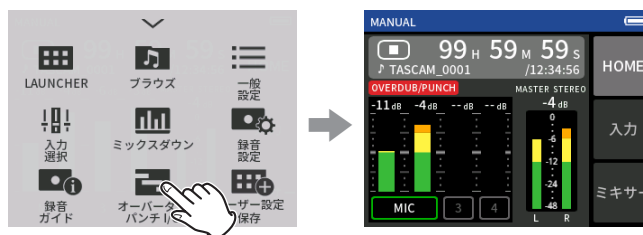
手動で切り換える場合は、録音中に本体の ▶/|| ボタンを押します。

7-12 オーバーダブ / パンチ I/O (MANUAL アプリのみ)

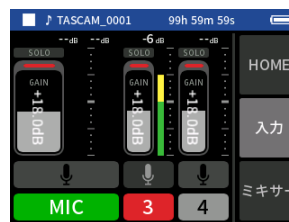
再生トラックの音声を聞きながら別のトラックに追加録音する (オーバーダブ) ことや、録音済みプロジェクトのトラックの一部を上書きする (パンチ I/O) ことが可能です。

オーバーダブを実行する

1. MANUAL アプリを起動して、オーバーダブを行うプロジェクトをカレントプロジェクトにする。
カレントプロジェクトの選択方法は、40 ページの「選択」を参照してください。
2. ショートカットメニューボタンをタップし、「オーバーダブ / パンチ I/O」を選択して、オーバーダブ / パンチ I/O モードに切り換える。



3. 入力画面を開き、録音したいトラックを録音対象 (赤) に切り換える。



4. REC ボタン [●] を押して現在位置から録音を開始する。
 - 録音中はオーバーダブ録音トラック (赤) の入力音声と、再生トラック (緑) の音声を同時にモニターできます。
5. オーバーダブ終了地点で HOME [■] ボタンを押して録音を終了する。
この時、本機は停止状態になります。
6. ショートカットメニューをタップし、「モード終了」を選択して、オーバーダブ / パンチ I/O モードを終了する。

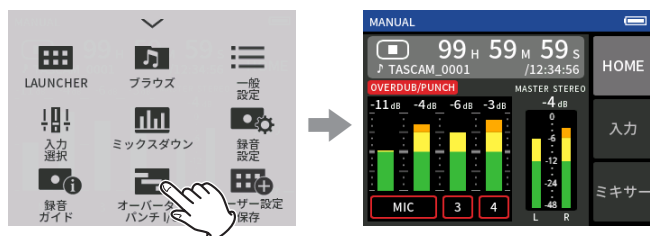


メモ

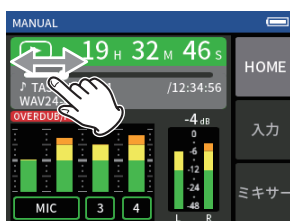
- トラックが追加されるため、マスターファイルの音声もその内容に応じて書き換わります。
- 「EXT IN」と「USB」は新たな入力として録音トラックに割り当てられません。

パンチ I/O を実行する

- MANUAL アプリを起動して、パンチ I/O を行うプロジェクトをカレントプロジェクトにする。
カレントファイルの選択方法は、40 ページの「選択」を参照してください。
- 本体左下のショートカットメニューボタンを押し、「オーバダブ / パンチ I/O」を選択して、オーバダブ / パンチ I/O モードに切り換える。



- プロジェクトを再生し、あらかじめ上書きするタイミングを決める。
上書きする音声が元のトラック音声とうまくつながるようなポイントを選びます。



- 入力画面を開き、上書きしたいトラックを録音対象 (赤) に切り換える。



- 上書きするタイミングで REC[●] ボタンを押す。
録音対象 (赤) にしたトラックの上書き録音が始まります (パンチイン)。録音中は上書き対象の録音トラック (赤) の入力音声と、再生トラック (緑) の音声を同時にモニターできます。
- 上書き部分の終わりに来たら HOME[■] ボタンを押して録音を終了する。(パンチアウト)。この時、本機は停止状態になります。
- 本体左下のショートカットメニューボタンを押し、「モード終了」を選択して、パンチ I/O モードを終了する。

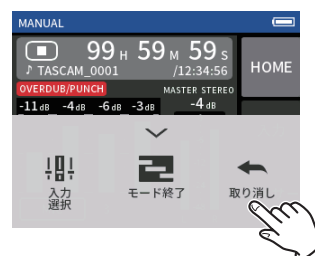
メモ

- パンチ I/O はトラックの一部を上書きするため、マスターファイルの音声もその内容に応じて書き換わります。
- パンチ I/O 時、「MIC/EXT IN」と「USB」は新たな入力として録音トラックに割り当てることができません。

オーバダブ / パンチ I/O 操作を取り消す (取り消し)

最後に行ったオーバダブ / パンチ I/O 操作を取り消すことが可能です。(取り消し)

- オーバダブ / パンチ I/O で、本体左下のショートカットメニューボタンを押し、「取り消し」を選択する。

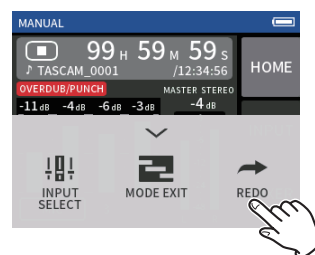


取り消しを実行するかを確認するメッセージがポップアップ表示されます。

- はいを選択する。
最後のオーバダブ / パンチ I/O 操作を行う前の状態に戻ります。

取り消し操作を取り消す (やり直し)

- 取り消し操作を行った後、本体左下のショートカットメニューボタンを押し、「やり直し」を選択する。



やり直しを実行するかを確認するメッセージがポップアップ表示されます。

- はいを選択する。
最後のオーバダブ / パンチ I/O 操作が再び有効になって本機が最新の状態に戻ります。

メモ

- 取り消しとやり直しの操作は 1 回のオーバダブ / パンチ I/O に対して 1 度のみ有効です。
- 取り消しまたはやり直しに関する情報はオーバダブ / パンチ I/O モードを終了する、または本機の電源をオフにすると失われてしまうため、その後は行うことができません。
- カレントファイルが Mp3 ファイルの場合、オーバダブ / パンチ I/O モードに切り換えることはできません。

7.録音設定

7-13 録音時間

ファイルフォーマット (録音時の設定)		カード容量	
		32GB (microSDHC)	128GB (microSDXC)
MP3 320kbps (ステレオ)	44.1kHz	222 時間 13 分	888 時間 53 分
WAV 16 ビット (ステレオ)		50 時間 23 分	201 時間 33 分
WAV 24 ビット (ステレオ)	96kHz	15 時間 25 分	61 時間 43 分
WAV 32 ビット float (ステレオ)	96kHz	11 時間 34 分	46 時間 16 分

- 上記録音時間は理論値であり、ご使用の microSD カードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD カードに可能な録音合計時間です。
- モノラル録音の場合は、上記録音時間の約 2 倍の時間となります。
- デュアル録音の場合は、上記録音時間より短くなります。

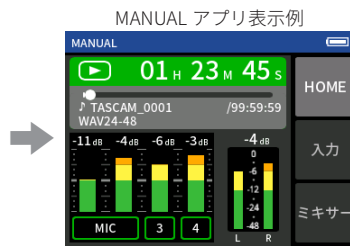
メモ

録音中に録音ファイル容量が 4GB を超えると、録音は継続されますが、自動で次のファイルに録音されます (ファイルインクリメント)。ファイル名については、36 ページの「ファイル名について」を参照してください。

8-1 再生画面を開く

録音アプリ画面表示中に ▶/|| ボタンを押すと最後に録音したファイルを再生します。

録音アプリ画面表示中



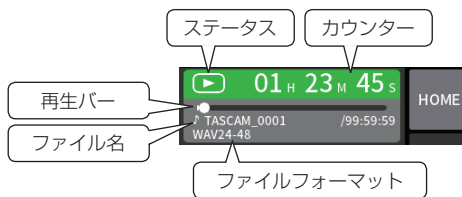
▶/|| ボタンを押す。

最後に録音したファイルを再生。

- MANUAL アプリと PODCAST アプリで再生を行うときは、トラックファイルを再生し、ミキサー出力が音声として出力されます。このため、ミキサーの設定を変えればトラックの出力レベルを変えて音声を出力することができます。(→ 35 ページ「各トラックのミックスバランスの調整」)
- ASMR、MUSIC、VOICE と FIELD アプリで再生を行うとマスターファイルの再生を行います。
- ブラウザ画面の再生メニューでは録音したアプリに関わらず、マスターファイルの再生を行います。

画面の説明

プロジェクトステータスバー



再生 / 一時停止

停止中 / 一時停止中に ▶/|| ボタンを押すと、再生を始めます。



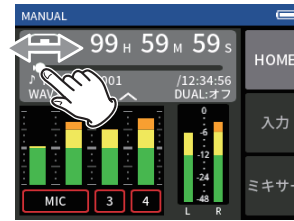
停止する

再生中に HOME[■] ボタンを押すと、再生を停止します。



再生位置を移動する

再生スライダーを希望する再生位置にスライドします。



再生するファイルの選択

本体の ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。

再生の途中で ◀◀ ボタンを押すとファイルの先頭へ戻り、ファイルの先頭で ◀◀ ボタンを押すと、1つ前のファイルの先頭にスキップします。

ファイルの先頭、または途中で ▶▶ ボタンを押すと、次のファイルへスキップします。

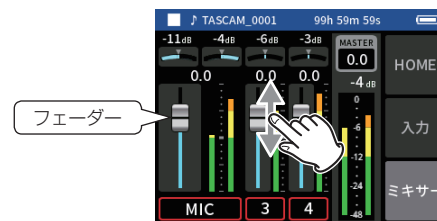
早戻し / 早送りする

本体の ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押している間早戻しまたは早送りします。

各トラックのミックスバランスの調整

MANUAL アプリと PODCAST アプリで操作できます。

ミキサー画面に移動し、任意のトラックのフェーダーをスライドさせて、ミックスバランスを調整してください。



各プロジェクトは、録音した際のミックスバランスで再生されます。

再生時に変更したミックスバランスは保存されません。

録音済みのプロジェクトのミックスバランスを変更したい際は、ミックスダウンを実行してください。(→ 47 ページ「ミックスダウン機能」)

注意

操作中に microSD カードを本体から引き抜くと、ミックスバランスが正しく保存されません。

第9章 ファイル操作

録音したデータは、microSD カードの SOUND フォルダに保存されます。
録音データにはトラックファイルとマスターファイルの2種類があり、録音アプリによって保存するファイルが異なります。詳細は、10 ページの「録音アプリの出力ファイル」を参照してください。
本機で録音、再生できるファイルは、wav (BWF 含む) と mp3 です。

9-1 ファイル名について

本機で録音したファイルは、以下の規則で名前付けされます。

プロジェクト名 トラック番号
TASCAM_0001_1.wav

ユーザー指定文字列 ファイル番号

ユーザー指定文字列

タイプ設定が日付のとき

YYMMDD (Y:年、M:月、D:日)

年は下2桁、月と日は2桁で挿入されます。

タイプ設定がワードのとき

任意の文字列 (6 から 9 文字) を指定可能です。

初期値は「TASCAM」です。

使用可能文字は以下の通りです。

アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字 0 ~ 9

記号 ! # \$ % & ' () + , - . : ; = @ [] ^ _ ` { } ~ (スペース)

ファイル番号

記録した順番を示します。

初期値は「0001」です。

デュアルファイルの場合

デュアルフォーマット

FLOAT: ファイル番号 + F

MP3: ファイル番号 + M

ミックスダウンされたファイルの場合

ファイル番号 + MIX + 回数

ファイル分割の場合

ファイル番号 + _A_ _B

マークによるファイル分割の場合

ファイル番号 + _回数 (_01、_02、_03...)

トラック番号

どのトラックを記録しているか示します。トラックファイルにのみ付加されます。

ステレオリンク: オフのとき

トラック番号 1、2、3、4、5、6

ステレオリンク: オンのとき

リンクしているトラック番号 1-2、3-4、5-6

マスターファイルのとき

2ch アプリ: なし

マニュアル / PODCAST アプリ: _MIX

プロジェクト名

ユーザー指定文字列とファイル番号をアンダースコア (「_」) で繋げたものです。

録音するたびにファイル番号が繰り上がるため、プロジェクトも録音するたびに変わります。プロジェクトについては、39 ページの「プロジェクトについて」を参照してください。

ファイル名の例

以下の状態のとき、各設定ごとにどのようなファイル名が付くかを示しています。

ユーザー指定文字列：TYPE WORD (TASCAM)

ファイル番号：0001

2ch 録音アプリ (ASMR、MUSIC、VOICE、FIELD) の場合

設定	ファイル名	ファイルの種類
録音 1 回目	TASCAM_0001.WAV	マスターファイル
録音 2 回目	TASCAM_0002.WAV	マスターファイル

MANUAL、PODCAST アプリの場合

設定	ファイル名	ファイルの種類	
1、2、3、4トラックモノラル設定	TASCAM_0001_1.WAV TASCAM_0001_2.WAV TASCAM_0001_3.WAV TASCAM_0001_4.WAV TASCAM_0001_MIX.WAV (マスターファイルが必ず作成される)	トラックファイル トラックファイル トラックファイル トラックファイル マスターファイル	
1と2、3と4トラックステレオリンク設定	TASCAM_0001_1-2.WAV TASCAM_0001_3-4.WAV TASCAM_0001_MIX.WAV (マスターファイルが必ず作成される)	トラックファイル トラックファイル マスターファイル	
1と2トラックモノラル設定 3、4トラックステレオリンク設定	TASCAM_0001_1.WAV TASCAM_0001_2.WAV TASCAM_0001_3-4.WAV TASCAM_0001_MIX.WAV (マスターファイルが必ず作成される)	トラックファイル トラックファイル トラックファイル マスターファイル	
デュアルファイル (別プロジェクト扱いとなる)	デュアルフォーマット (FLOAT)	TASCAM_0001_1.WAV TASCAM_0001F_1.WAV	
	デュアルフォーマット (MP3)	TASCAM_0001_1.WAV TASCAM_0001M_1.MP3	
ファイル分割	TASCAM_0003_1-2.WAV ↓ TASCAM_0003_A_1-2.WAV (別プロジェクト扱いとなる) TASCAM_0003_B_1-2.WAV (別プロジェクト扱いとなる)	手動分割ファイル 手動分割ファイル	
	マークによるファイル分割	TASCAM_0003_1-2.WAV ↓ TASCAM_0003_01_1-2.WAV (別プロジェクト扱いとなる) TASCAM_0003_02_1-2.WAV (別プロジェクト扱いとなる)	マーク分割ファイル マーク分割ファイル

MANUAL の場合

設定	ファイル名	ファイルの種類
録音設定ファイル	TASCAM_0002_1.WAV TASCAM_0002_2.WAV TASCAM_0002_3.WAV TASCAM_0002_4.WAV 上記4ファイルをミックスダウンしたとき ↓ TASCAM_0002MIX.WAV (別プロジェクトとして作成される) TASCAM_0002MIX2.WAV (1回目と違う別プロジェクトとして作成される)	トラックファイル トラックファイル トラックファイル トラックファイル ミックスダウンファイル ミックスダウンファイル

9. ファイル操作

ファイル名の付け方を変更する

一般設定画面 > システムページ > ファイル名設定項目で設定します。



表示例

現在の設定を確認できます。

タイプ

ファイル名の先頭文字列を設定します。

日付 (初期値)

日時をファイル名に付けます。

YYMMDD (Y:年、M:月、D:日)

年は下2桁、月と日は2桁で挿入されます。

ワード

ワードで設定した任意の文字列(6文字以上9文字以内)をファイル名に付けます。

初期値は TASCAM です。

ワード

ファイル名を入力します。

文字入力については、8ページの「アプリについて」を参照してください。

メモ

日付を選択した場合、本体内時計の日時を基にファイル名が付けられます。あらかじめ時計を合わせておくと、録音日時を正確に記録できます。

ファイル番号をリセットする

一般設定画面 > システムページ > ファイル名設定項目で設定します。

ファイル番号リセット設定

オフ (初期値)

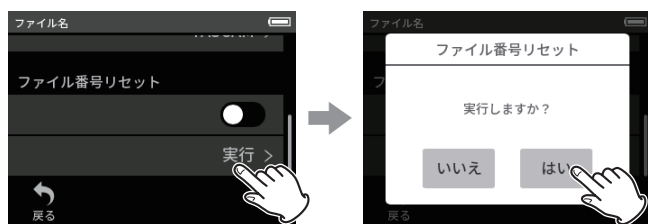
ファイル番号をリセットしない。

オン

フォーマット時/新規フォルダー作成/フォルダー内全ファイル消去時に自動的ファイル番号をリセットする。

実行

次回のファイル作成時よりファイル番号をリセットする。



実行をタップする。

はいをタップする。

9-2 ファイル・プロジェクト構造について

フォルダー

microSD カードを本機でフォーマットすると SOUND、UTILITY、SOUNDPAD フォルダーが作成されます。

録音したデータは、SOUND フォルダーに保存されます。

SOUND フォルダー内にフォルダーを作ることができます。

必要に応じて作成してください。(→ 39 ページ「フォルダーの作成 (新規作成)」)

録音データ

録音したデータは、カレントフォルダーに保存されます。

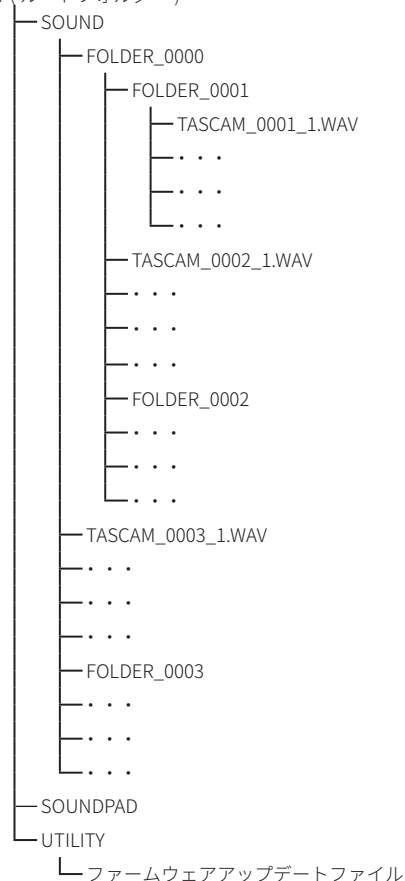
microSD カードフォーマット後は、SOUND フォルダーがカレントフォルダーになります。

カレントフォルダーを変更するには、ファイルブラウザ画面でフォルダーを選択し、OPEN をタップします。(→ 42 ページ「録音ファイルの保存先を指定する」)

9-3 フォルダーツリーの例

本機で使用する microSD カード内のフォルダーツリーの例を図示します。

¥ (ルートフォルダー)



- SOUND、UTILITY、SOUNDPAD フォルダーはフォーマット時に自動作成します。
- サブフォルダーは2階層まで作成できます。
- ファイル、フォルダー総数の上限は5000個です。
- SOUND フォルダー以下をブラウザ画面に表示します。

9-4 プロジェクトについて

1回の録音時に作成されるトラックファイルとマスターファイルをまとめてプロジェクトと呼びます。

ユーザ指定文字列からファイル番号までが同じファイルが同一プロジェクトのファイルになります。プロジェクト名については、36ページの「ファイル名について」を参照してください。プロジェクト名の付け方は、ファイル名の付け方を変えると同時に変わります。(→38ページ「ファイル名の付け方を変更する」)

例

プロジェクト名	同一プロジェクトのファイル	ファイルの種類
TASCAM_0001	TASCAM_0001_1.WAV	トラックファイル
	TASCAM_0001_2.WAV	トラックファイル
	TASCAM_0001_3.WAV	トラックファイル
	TASCAM_0001_4.WAV	トラックファイル
	TASCAM_0001_MIX.WAV	マスターファイル
TASCAM_0002	TASCAM_0002.WAV	マスターファイル

- 録音アプリによっては、トラックファイルが作成されないことがあります。詳しくは、10ページの「録音アプリの出力ファイル」を参照してください。
- パソコンや外部から取り込んだ本機で作成していないファイルもプロジェクトとして扱い、1ファイルで1プロジェクトになります。

9-5 ファイルブラウザ画面の使い方

アプリ画面から本体左下のショートカットメニューボタンを押してブラウザ画面を表示します。

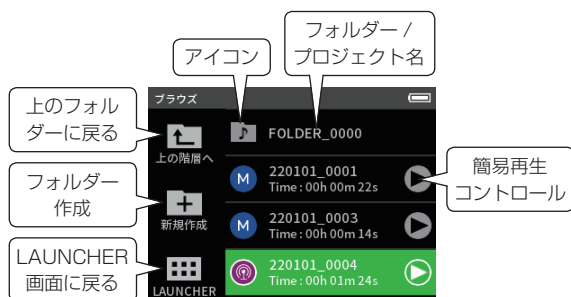
または、LAUNCHER画面からブラウザアイコンをタップします。



本体左下のショートカットメニューボタンを押し、ブラウザアイコンをタップする。


9-6 フォルダの操作

画面の説明



アイコン

本機で録音したファイルには録音したアプリのアイコンが表示されます。

フォルダーの場合は、を表示します。

フォルダー/ファイル名

タップするとフォルダーメニュー/ファイルメニューが表示されます。

簡易再生コントロール

▶をタップすると再生、再生中に■をタップすると停止します。

フォルダーメニュー

オープン

フォルダーの内部を表示します。

名前編集

名前編集画面でフォルダー名を編集します。

全ファイル消去

フォルダー内の全てのプロジェクト、ファイルを消去します。ただし、フォルダーは削除しません。

フォルダー消去

フォルダー内のファイルとフォルダーを消去します。

フォルダーの作成 (新規作成)



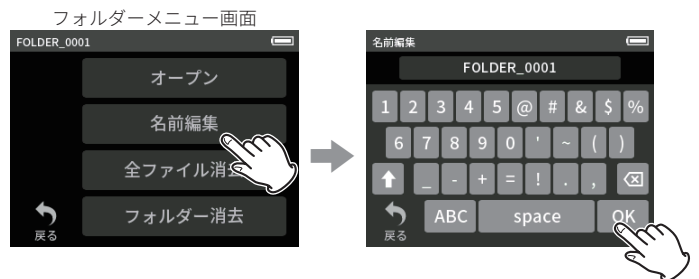
新規作成アイコンをタップする。

OKをタップすると、表示されている名前でフォルダーが作成されます。

- FOLDER+ 番号のフォルダーが存在する場合、新規作成アイコンをタップすると、FOLDER+(番号+1)が初期値として表示されます。この名前を変更したい場合は、一度削除して入力をやり直してください。
- 文字の入力方法は、11ページの「文字入力」を参照してください。

フォルダーの名前変更 (名前編集)

ブラウザ画面で目的のフォルダーをタップして、以下の操作をします。



名前編集をタップする。

フォルダー名を入力しOKをタップする。

- 文字の入力方法は、11ページの「文字入力」を参照してください。
- 変更できるフォルダー名の文字数は1文字以上11文字以内です。

9. ファイル操作

フォルダー内のファイル全削除 (全ファイル消去)

1. ブラウザ画面で目的のフォルダーをタップする。
2. 全ファイル消去をタップする。

メモ

選択したフォルダーは削除されません。

フォルダーの削除 (フォルダー消去)

1. ブラウザ画面で目的のフォルダーをタップする。
2. フォルダー消去をタップする。

メモ

フォルダー内にファイルが残っていると、フォルダー削除はできません。フォルダー内のファイル全削除をしてからフォルダーを削除してください。

9-7 ファイル・プロジェクトの操作

ファイルメニュー

選択

選択したファイルをカレントプロジェクトにします。

再生

選択したプロジェクトのマスターファイルを再生します。

ファイル情報

プロジェクト内のファイル情報を表示します。

ファイル消去

プロジェクトを削除します。

トラック消去

プロジェクト内のトラックファイルを選択して削除します。

- MANUAL または PODCAST アプリで録音したファイルを選択したとき表示されます。

プロテクト変更

プロジェクト内のファイル保護を設定、解除します。

名前編集

プロジェクト名を変更します。

- 本機で録音したプロジェクトのみ変更が可能です。変更できる文字数は6文字以上9文字以内です。

マーク

マーク一覧を表示します。

ファイル分割

ファイルを分割します。

ノーマライズ

ノーマライズをします。

選択

選択したファイルがカレントプロジェクトになり、録音したアプリの HOME 画面が表示されます。

本体の ▶/|| ボタンを押すとカレントプロジェクトのトラックファイルを再生します。

メモ

本機で作成していないファイルを選択すると、MANUAL アプリで再生されます。

カレントプロジェクト

プロジェクトステータスバーに表示されているファイル名がカレントプロジェクトです。録音や再生をするとカレントプロジェクトが切り換わります。

マスターファイルを再生する (再生)



1. ブラウザ画面で再生するファイル名をタップする。
2. 再生をタップする。
再生画面が表示されます。
3. 本体の ▶/|| ボタンを押す。

メモ

- ブラウザ画面の簡易再生コントロールの ▶ をタップしても再生できます。



- ブラウザ画面からの再生操作では、マスターファイルを再生します。MANUAL アプリと PODCAST アプリで録音した各トラックのミックスバランスを調整しながら再生するには、再生したいプロジェクトをカレントプロジェクトに設定した後 (前項参照)、MANUAL アプリか PODCAST アプリのミキサー画面で、本体の ▶/|| ボタンを押してください。(→35 ページ「各トラックのミックスバランスの調整」)

10 秒前 / 10 秒後にジャンプする

再生コントロールの JUMP をタップし、<> ボタンをタップするとジャンプします。

マークをつけた箇所にジャンプする

1. 再生モードタブの MARK をタップする。



2. < または > をタップしてジャンプする。

旗のアイコンをタップすると、マークスキップの際にどのマークへスキップするか選択できます。

全部

全てのマークに移動

手動

手動で付けたマークに移動

レベル

オートマーク機能の「レベル」で付けたマークに移動

時間

オートマーク機能の「時間」で付けたマークに移動

ピーク

PEAK インジケーター点灯時に付けたマークに移動

BOF

録音中に microSD カードへの書き込みエラーが発生した際に付加されたマークへ移動

メモ

マークの一覧表示、一括削除は、35 ページの「再生」を参照してください。

ループ再生する

1つのファイル内の2点間を繰り返し再生(ループ再生)することができます。

1. 再生モードタブの LOOP をタップする。
2. 再生中または一時停止中に IN ボタンをタップして再生開始位置を設定する。
再生バーに再生開始位置 (IN) が表示されます。
3. 再生中または一時停止中に OUT ボタンをタップして再生終了位置を設定する。
再生バーに再生終了位置 (OUT) が表示されます。
再生開始位置から再生が始まります。

メモ

HOME 画面に戻ると、再生開始位置 (IN) と再生終了位置 (OUT) が解除されます。

ループ再生を解除する

画面下部にあるループ解除ボタンをタップすると再生開始位置、再生終了位置設定が解除されます。

再生速度を変える (VSA 再生)

1. 再生モードタブの SPEED をタップする。
2. DOWN ボタンまたは UP ボタンをタップして希望する再生速度に調節する。

再生する音程を変える (キーチェンジ機能)

1. 再生モードタブのキーをタップする。
2. b または # をタップして音程を調節する。

メモ

96kHz の再生ファイルは VSA 再生とキーチェンジ機能の対象外です。

ファイル情報 (インフォメーション)

1. ブラウザ画面で表示するファイル名をタップする。
2. ファイル情報をタップする。
選択したファイルの情報が表示されます。



トラックをタップする。

ファイル

プロジェクト名、録音形式、録音日時、再生時間、ファイルサイズを表示します。

トラック

プロジェクト内の全てのトラックファイルを表示します。トラックファイルが無い場合や、本機で録音したプロジェクトではない場合、マスターファイルのみ表示されます。

ファイル、プロジェクトを削除する (ファイル消去)

1. ブラウザ画面で削除するプロジェクト名をタップする。
2. ファイル消去をタップする。

メモ

プロテクト (読み取り専用) がかかっているファイルは削除されません。

プロジェクト内のトラックを削除する (トラック消去)

1. ブラウザ画面で削除したいプロジェクト名をタップする。
2. トラック消去をタップする。



3. 削除したいトラックファイルをタップする。



メモ

- トラック削除できるのは、MANUAL アプリまたは PODCAST アプリで録音したプロジェクトです。
- 96kHz の再生ファイルは VSA 再生とキーチェンジ機能の対象外です。
- トラック削除の内容は、マスターファイルには反映されません。

プロテクト設定、解除 (プロテクト変更)

プロジェクトのプロテクトを設定、解除することができます。

1. ブラウザ画面でプロテクトを設定、解除するファイル名をタップする。
2. プロテクト変更をタップする。
プロテクトが設定、解除されます。

メモ

プロテクトされているファイルのアイコンの右下には鍵マーク (🔒) が表示されます。

名前変更 (名前編集)

プロジェクト名を変更します。

1. ブラウザ画面で名前を変更するプロジェクト名をタップする。
2. 名前編集をタップする。
3. 新しいプロジェクト名を入力して OK をタップする。
 - 文字の入力方法は、11 ページの「文字入力」を参照してください。

9. ファイル操作

マーカー一覧を見る (マーク)

1. ブラウザ画面で表示するファイル名をタップする。
2. マークをタップする。
マーカー一覧が表示されます。



マークの種類については、43 ページの「マーク機能」を参照してください。

マークの削除

ゴミ箱アイコンをタップするとマークがすべて削除されます。

メモ

任意のマークを消す場合は、43 ページの「マークを消去する」を参照してください。

ファイルを分割する (ファイル分割)

1. ブラウザ画面で分割するプロジェクト名をタップする。
2. ファイル分割をタップする。
3. 分割する位置まで再生バーのポインタを移動させ一時停止状態にする。
再生、早送り / 早戻しまたは再生バーをスライドさせるなどして再生ポインタを移動させます。



4. 分割をタップする。

メモ

- トラックファイルがあるプロジェクトの場合、トラックファイルも分割されます。
- すべてのマーク位置でファイルを分割する場合は、マーク分割をタップします。
- オートマーク機能の「時間」で付けたマークで分割するには時間分割をタップします。
- 本機で録音したプロジェクトのみファイルを分割できます。
- MP3 ファイルは分割することができません。
- ピークマークは、マーク分割の対象外です。

ノーマライズする (ノーマライズ)

録音されたファイルの最大音量を調べ、それが最大レベルになるように記録データの音量を上げます。

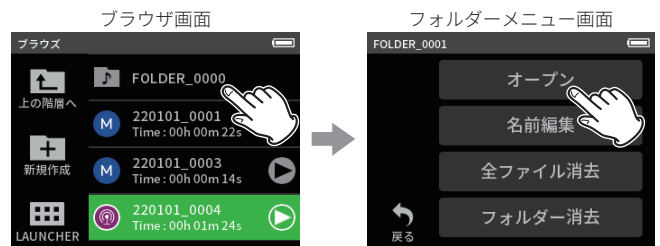
1. ブラウザ画面でノーマライズするファイル名をタップする。
2. ノーマライズをタップする。

メモ

- 選択したプロジェクトのデータを書き換えるので、元に戻せません。
- 本機で録音したファイル以外はノーマライズすることができません。
- 本機能はマスターファイルに対して適用されます。トラックファイルには適用されません。

9-8 録音ファイルの保存先を指定する

録音データは、カレントフォルダーに保存されます。
以下の手順で選択したフォルダーがカレントフォルダーになります。



カレントにするフォルダーをタップする。

オープンをタップする。

メモ

カレントファイルを選択すると、カレントファイルのフォルダーがカレントフォルダーになります。

10-1 マークの種類

マークの種類とそのマークが付けられる条件は、次の通りです。

手動

手動で付けたマーク

レベル

入力信号が指定したレベルを超えたとき

時間

設定した録音時間を経過したとき

ピーク

入力信号がピークレベルを超えたとき

BOF

録音中に microSD カードへの書き込みエラーが発生したとき

10-2 マークをつける

手動でマークをつける

録音待機中または録音中、再生中に本体の MARK ボタンを押すと、任意の位置にマークを付けることができます。



マークを付けるとディスプレイの下部にマークの情報がポップアップ表示されます。

自動でマークをつける (自動マーク)

一般設定画面 > その他設定ページ > 自動マーク項目で設定します。

オフ

自動でマークを付けません。

レベル

入力信号のレベルが設定したレベルを超えると、自動でマークを付けます。

時間

録音中に設定した時間が経過すると、自動でマークを付けます。

ピークレベル時にマークをつける (ピークマーク)

一般設定画面 > その他設定ページ > ピークマーク項目で設定します。

オンにすると録音時に入力信号がピークレベルを超えたときに自動でマークを付けます。録音終了後にピークレベルを超えた部分を探すために利用できます。

10-3 マークを消去する

マークは、マーク位置に停止中／一時停止中に MARK ボタンを押すと消去することができます。マークを削除するとディスプレイの下部に削除したマークの情報がポップアップ表示されます。

マークの一括削除

42 ページの「マークの削除」を参照してください。

10-4 設定したマークへジャンプする (マークスキップ)

40 ページの「マークをつけた箇所にジャンプする」を参照してください。

メモ

異なるファイルのマークへの移動はできません。

10-5 全てのマークでファイルを分割する

42 ページの「ファイルを分割する (ファイル分割)」を参照してください。

10-6 マークのリスト表示

42 ページの「マーク一覧を見る (マーク)」を参照してください。

第 11 章 カメラ機能

11-1 カメラ用に出力を設定する

一般設定画面 > カメラ設定ページ > 出力項目で設定します。
LINE OUT 端子をカメラと接続する場合、LINE OUT 端子の出力を -20 ~ -30dB の範囲でアッテネートすることができます。これにより、カメラに対して適切なレベルで音声を入力することができます。
OUTPUT 項目をカメラに設定すると LINE OUT 端子の出力が -20dB アッテネートされます。
-20 ~ -30dB の範囲で調節するには、レベルスライダーを左右にスライドさせて調節します。



11-2 オートスレートトーン機能を使う (オートトーン)

一般設定画面 > カメラ設定ページ > オートトーン項目で設定します。

オートトーン機能は、録音開始時や録音終了時に自動的にトーン信号を挿入する機能です。

左サイドパネルの LINE OUT 端子をカメラの音声入力端子に接続すると、同じトーン信号がお互いのファイルに記録されるので、動画編集ソフトで位置合わせの際に目安にすることができます。

オートトーン機能を設定する

トーン信号を挿入する位置を設定します。

オフ

トーン信号を挿入しません。

録音開始時

録音開始時のみ挿入します。

開始 + 終了

録音開始時と終了時の両方に挿入します。

トーンの音量調節機能

トーン音量を設定します。

初期値は -18dB です。

12-1 パソコンと接続する

17 ページの「パソコンやスマートフォンと接続する」を参照してください。

12-2 iOS デバイスと接続する

iOS デバイスとの接続には、Lightning-USB カメラアダプタと USB ケーブル (Type-A - Type-C) が必要です。

メモ

- 本機と接続時、本機から iOS デバイスへの電源供給は行われません。
- 電源設定を電池駆動に設定してください。

12-3 パソコンから microSD カードにアクセスする

一般設定画面 > その他設定ページ > SD カードリーダー項目を選択します。本機の画面が切り換わり、パソコンで本機が認識されると、本機に挿入している microSD カードにアクセスできます。



パソコンとファイルをやり取りする

パソコン上の「X6」ドライブをクリックすると、「SOUND」フォルダー、「SOUND PAD」フォルダーと「UTILITY」フォルダーが表示されます。パソコンからファイルを取り込むには、パソコンの任意の音声ファイルを「SOUND」フォルダーにドラッグ & ドロップします。逆に、microSD カードからパソコンにファイルを取り込むには、「SOUND」フォルダー内の音声ファイルをパソコンの任意のフォルダーにドラッグ & ドロップします。

ヒント

- パソコン上の操作で、「SOUND」フォルダー内を管理することができます。
- 「SOUND」フォルダー内にサブフォルダーを作成することができます。サブフォルダーは、2 階層まで作成できます。本機では、3 階層以下のサブフォルダーおよびファイルは認識できません。

メモ

本機の microSD カードを抜いたり「接続解除」ボタンをタップする前に、パソコン側で指定された手順に従ってメディアを取り外してください。

12-4 ASIO ドライバを使用する

Windows の場合は、Portacapture X6 用 ASIO ドライバを使用することができます。詳細は、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) の本機の製品ページを参照してください。

メモ

Mac の場合は、OS 標準ドライバーを使用するため、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。

12-5 オーディオインターフェースとして使用する

本機にパソコンを USB ケーブルで接続することで、USB オーディオインターフェースとして使用することができます。

- 本機で再生する音声は USB へ送られません。

本機に microSD カードを挿入している場合

1. 本機とパソコンのサンプリング周波数設定は手動で同じ設定にしてください。
本機のサンプリング周波数を変更する方法は、31 ページの「録音ファイルのフォーマットを変更する」を参照してください。
2. サンプリング周波数を変更した後に録音または録音待機状態にすることで、音声を通ようになります。

本機に microSD カードを挿入していない場合

パソコンのサンプリング周波数に従って、本機は動作します。

Portacapture X6 USB オーディオのチャンネルアサイン

USB チャンネル	信号
USB IN 1-2	STEREO MIX
USB IN 3-4	入力 1-2 または MIC/EXT IN から選択した方の入力信号
USB IN 5-6	入力 3-4

- USB へ送られる信号は使用する録音アプリの種類や入力オン/オフの設定により変わります。

MANUAL、PODCAST

入力オンのトラックに割り当てられている信号と STEREO MIX が USB へ送られます。

ASMR、MUSIC、VOICE、FIELD

トラック 1-2 に割り当てられた信号と STEREO MIX が USB へ送られます。

- USB オーディオ信号に反映される設定は以下の通りです。

項目	機能	USB IN 3-6 (入力 1-4)	USB IN 1-2 (MIX)
入力設定	GAIN (オートゲイン含む)	○	○
	低域カット	-	○
	ノイズゲート	-	○
	リミッターコンプ	-	○
	EQ	-	○
ミキサー	位相反転	○	○
	フェーダー (トラック 1-4)	-	○
	フェーダー (マスター)	-	○
	PAN	-	○
入出力設定	STEREO/MONO	-	○
	マイクトリム	○	○
	MS デコード	-	○
	リバーブ (トラック 1-4)	-	○
カメラ設定	リバーブ (マスター)	-	○
	オートトーン (本体録音動作時)	-	○

○：反映される
-：反映されない

12-6 USB マイクとして使う

本機をパソコンと USB ケーブルを接続し、Web 通話や配信などに便利な USB マイクとして使用することができます。

MANUAL アプリを使用した場合は最大で 4 入力を使用することが可能です。

メモ

USB オーディオインターフェースモードのとき、オートパワーセーブ機能は無効となります。

本機の入力をパソコンへの入力音声として使う場合

1. パソコンと本機を USB ケーブルで接続する。
2. パソコン側の音声入力デバイスを「PortacaptureX6」に設定する。
本機とパソコンのサンプリング周波数を同じ設定にしてください。
3. 使用したい録音アプリを立ち上げる。
MANUAL もしくは PODCAST アプリの場合は、パソコンの入力として使用したい入力端子が割り当てられたトラックの入力を有効にしてください。



ASMR、MUSIC、VOICE、FIELD アプリの場合は、入力選択設定でトラック 1-2 に割り当てられた入力端子の信号が、自動的にパソコンへの入力として扱われ、それ以外の入力端子の信号はパソコンへ入力されません。

パソコンの出力を本機への入力音声として使う場合

1. パソコンと本機を USB ケーブルで接続する。
2. パソコン側の音声出力デバイスを「PortacaptureX6」に設定する。
本機とパソコンのサンプリング周波数の設定を同じ設定にしてください。
3. MANUAL アプリまたは PODCAST アプリを起動する。
4. ショートカットメニューから「入力選択」を選択し、パソコンからの音声を割り当てるトラックに「USB」を割り当てる。(→ 18 ページ「入力選択機能を使う」)
5. USB が割り当てられたトラックの入力を有効にする。



注意

前項の「本機の入力をパソコンへの入力音声として使う場合」の手順に加えて本手順を実行したとき、DAW ソフトウェアや通話 / 配信アプリ等の入力モニターがオンになっていると、ハウリングを起こすことがあるため、突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になります。

本機の入力音をパソコンを経由して本機に入力する場合、パソコン上のソフトウェアやアプリの入力モニターはオフにご使用ください。

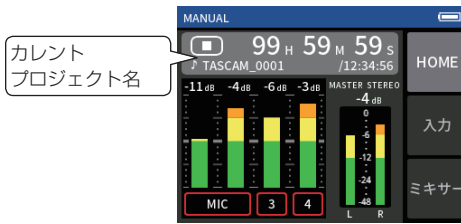
メモ

USB の音量はパソコン側で調整してください。

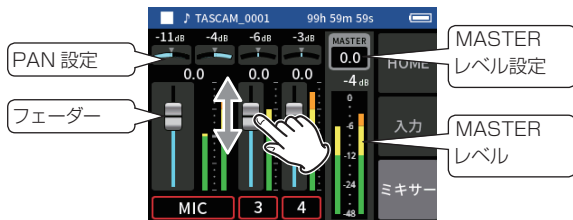
13-1 ミックスダウン機能

MANUAL アプリでは、既存のプロジェクトの各トラックファイルの音量バランスや左右の定位を再度調整し、新たなミックスを作成することが可能です。

1. MANUAL アプリを起動する。



2. ミックスダウンを行うプロジェクトをカレントプロジェクトにする。カレントファイルの選択方法は、40 ページの「選択」を参照してください。
3. カレントプロジェクトを再生しながら、ミキサー画面でフェーダーや PAN など、各トラックファイルの音量バランスや左右の定位を調整します。調整方法は、25 ページの「ミキサーの設定」を参照してください。



4. 本体左下のショートカットメニューボタン(MENU)をタップし、ミックスダウンをタップしてミックスダウンを実行します。



5. 新規プロジェクトにミックスダウンしたマスターファイルが作成されます。

メモ

- ミックスダウンしたファイル名については、36 ページの「ファイル名について」を参照してください。
- 本機で録音したファイル以外はミックスダウンすることはできません。

13-2 MS デコード機能を使う

MANUAL アプリでは、MS マイクを使った録音と再生ができます。本機と MS マイクの接続は、16 ページの「MS マイクを接続する」を参照してください。

接続設定

MS マイクを接続した端子を一般設定画面 > 入出力設定ページ > MS デコード項目で設定します。

メモ

- MS デコード機能が使えるのは、入力端子 3/4 に MS マイクを入力したとき、または MS マイクで録音された外部ファイルを本機で再生するときです。MS デコード機能を使用しない場合はオフの設定にしてください。
- MS デコード対象の入力は、必ずステレオリンクしてください。操作方法は、18 ページの「ステレオリンク (ステレオリンク)」を参照してください。

MID と SIDE のレベル調節

1. MANUAL アプリを立ち上げ、ミキサー画面を表示する。MS デコードの対象として選択したトラックの PAN 設定部分が MS デコード設定になっています。
2. MS デコード設定をタップし、スライダーを左右にスライドさせて音の広がり具合を調節します。0 で M(MID) が 100% となり、数字が大きいほど S(SIDE) の割合が大きくなります。



入力設定をタップする。

スライダーを左右にスライドさせて音の広がり具合を調節する。

第 14 章 専用コントロールアプリ

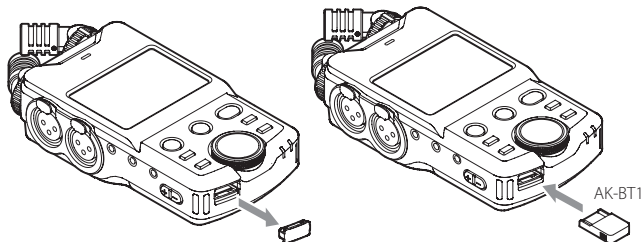
本機の Bluetooth 機器接続端子に別売りの Bluetooth アダプター (AK-BT1) を接続すると、コントロールアプリを使って、iOS/Android デバイスから本機を操作できます。

14-1 専用コントロールアプリをインストールする

1. 端末をインターネットに接続してください。
 2. Android 端末の場合は Google Play から、iOS 端末の場合は App Store から、「Portacapture Control」を検索し、ダウンロードおよびインストールを実施してください。
- インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

14-2 本機と Bluetooth 接続する

1. 本機の Bluetooth 接続機器端子のカバーを外し、AK-BT1 を本体に差し込む。



- 端子が本体画面側になるよう差し込む。

2. スマートフォン/タブレット端末の Bluetooth 接続を有効にする。

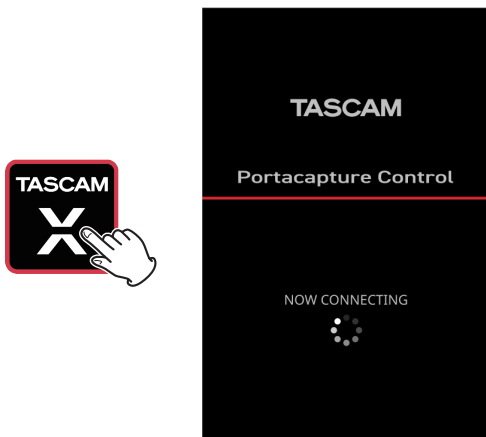
注意

- iOS/iPad 端末および Android 端末の Bluetooth デバイス一覧画面からはペアリングを実行しないでください。必ず Portacapture Control を起動してペアリングを行ってください。
- Android 端末の場合、端末の位置情報の設定を「オン」にして、Portacapture Control の「位置情報の権限」を「許可」または「使用時のみ許可」に設定してください。

メモ

操作方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください。

3. スマートフォン/タブレット端末を操作して、Portacapture Control を起動する。



Bluetooth 端末の画面

4. 本機の電源を入れていない場合、本体の電源を入れる。
5. 本機の一般設定画面 > その他設定ページ > BLUETOOTH をオンにする。

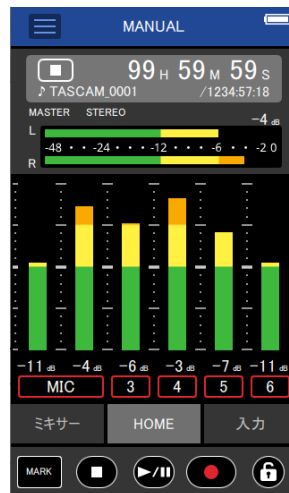


接続状況は AK-BT1 のアクセスインジケーター (青色) の点灯状況で確認できます。

点灯状況	内容
消灯	ペアリング未
点滅	ペアリング待機状態
点灯	ペアリング中

接続が完了すると、スマートフォン/タブレット端末の表示が自動で操作画面に切り換わります。

14-3 専用スマートフォンアプリで操作する



画面下部の 4 つのボタンはそれぞれ本機の物理ボタンに対応しており、タップすると同じ動作をします。

- MARK : MARK ボタンに対応
- : HOME [■] ボタンに対応
- ▶/|| : ▶/|| ボタンに対応
- : REC [●] ボタンに対応

メモ

- ペアリングした端末で録音モニターすることはできません。本機のヘッドホン端子をご使用ください。
- 鍵アイコンを長押しするとホールド状態となり、Portacapture Control からの操作を無効にできます。この状態でも本体のボタン、タッチパネルの操作は可能です。ホールド中に鍵アイコンを長押しすると解除されます。
- 本機のタッチディスプレイ画面及びスマートフォンのアプリ画面は下記の場合、同じ画面表示にならず操作した機器の画面のみ表示が更新されます。
 1. 一般設定画面の 2 階層以降
 2. ブラウズの 2 階層以降
 3. MANUAL/PODCAST アプリの右タブ遷移
 4. PLAY 画面の下部タブ遷移
 5. カウンター部分タップの詳細表示また、下記の画面でタッチ操作を行った場合、操作しなかった機器の画面はプログレス表示状態となりタッチ操作を受け付けられない状態になります。
 1. 入力設定
 2. 入力選択
 3. パッド設定
- 表示更新がされない場合でも、タッチ操作した設定は本機に反映されます。

15-1 内蔵マイクのゲイン差を調節する (マイクトリム機能)

一般設定画面 > 入出力設定ページ > マイクトリム項目で設定します。
内蔵マイクの感度を補正します。
音源の正面で録音できなかつたり左右の音量差が気になる場合にこの機能を使い調整してください。

入力 1

選択肢 :-3dB、-2dB、-1dB、0dB(初期値)、1dB、2dB、3dB

入力 2

選択肢 :-3dB、-2dB、-1dB、0dB(初期値)、1dB、2dB、3dB

15-2 XRI 機能について

一般設定画面 > システムページ > XRI 項目で設定します。
オンにするとファイル形式が「WAV」で録音する際に、録音したときの録音設定情報を XRI データ (eXtended Recording Information、入力ボリューム等の録音設定情報) として記録します。

- 記録された XRI データは、ファイルインフォメーション画面で確認することができます。(→ 41 ページ「ファイル情報 (インフォメーション)」)

メモ

MP3 ファイルとして録音するときには、XRI データは記録されません。

15-3 各種情報を表示する

一般設定画面 > システムページ > 情報項目を選択します。

カード

microSD カードの情報を表示します。

システム

ファームウェア、ハードウェアのバージョンを表示します。

15-4 日時の再設定

一般設定画面 > システムページ > 日付 / 時間項目を選択して行います。操作方法は、14 ページの「言語と日時を設定する」を参照してください。

15-5 言語の再設定

一般設定画面 > システムページ > 言語項目を選択して行います。

メモ

本体の HOME ボタンを押しながら起動すると言語選択メニューが表示されます。

15-6 出荷時の設定に初期化する

一般設定画面 > システムページ > 設定初期化項目を選択して行います。

15-7 microSD カードをフォーマットする

一般設定画面 > システムページ > カード初期化項目を選択して行います。操作方は、14 ページの「microSD カードをフォーマット (初期化) する」を参照してください。

15-8 オートパワーセーブ機能を使う

一般設定画面 > 電源 / 画面設定ページ > 自動電源制御で設定します。
オンにすると最後に動作あるいは操作してから 30 分経つと自動的に電源がオフになります。

メモ

本機能は停止状態でのみ、機能します。録音 / 再生中には本機能で電源がオフになることはありません。

15-9 電源の選択

一般設定画面 > 電源 / 画面設定ページ > 電源選択項目で設定します。

電池駆動

電池駆動。USB 給電はしない。

自動判別 (DEFAULT)

可能ならば USB 給電する。

注意

電池駆動を選択する場合は、必ず本体に電池を挿入してください。

メモ

本機と iOS 端末を接続する場合は、電池駆動に設定してください。

15-10 単 3 形電池の種類を設定する (電池タイプ)

一般設定画面 > 電源 / 設定画面ページ > 電池タイプ項目で設定します。
使用する電池の種類を設定します。
この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

アルカリ

アルカリ乾電池 (初期値)

Ni-MH

ニッケル水素電池

LITHIUM

リチウム乾電池

15.各種設定

15-11 パワーセーブ (省電力) モードについて

一般設定画面 > 電源 / 設定画面ページ > 省電力モード項目で設定します。

省電力モード

省電力モードがオンの状態では消費電力を下げるために以下6つの機能が制限されます。

- 録音設定のサンプリング周波数は 44.1kHz または 48kHz のみ選択できます。96kHz 以上は選択できません。
- ファンタム電源はオフになります。XLR 端子にバランス接続したコンデンサーマイクは使用できません。
- ディスプレイのバックライト点灯時間は 30 秒に固定されます。
- ディスプレイの明るさは標準に固定されます。
- 本体下部のインジケータの PEAK LED は点灯しません。
- ディスプレイのコントラストは 10 に固定されます。

バックライト

ディスプレイのバックライト設定。

オフ：常時消灯

5 秒～30 秒：設定時間操作しないと自動で消灯

常時点灯：常時点灯

メモ

バックライト設定は、電池駆動の場合のみ有効です。USB バスパワー駆動時は常時点灯になります。

明るさ

ディスプレイのバックライト輝度設定。

インジケータ

本機の REC インジケータと PEAK インジケータの点灯動作設定。

全点灯：REC LED と PEAK LED を点灯させます。

PEAK LED 消灯：PEAK LED を消灯させます。

REC LED 消灯：REC LED を消灯させます。

全消灯：REC LED と PEAK LED を消灯させます。

注意

省電力モードは自動でオフになりません。供給電流が 1.5A 以上の外部電源に変更したときは、必要に応じて省電力モード設定をオフにしてください。

メモ

省電力モードの設定がオフのときにバックライト、明るさ、インジケータの設定ができます。

15-12 ディスプレイのコントラスト調節 (コントラスト)

一般設定画面 > 電源 / 画面設定ページ > コントラスト項目で設定します。

スライダーを左右にスライドさせて、ディスプレイのコントラストを 0 から 20 の範囲で調節します。

15-13 MENU

一般設定

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ	
録音設定	録音形式	WAV(Default)/MP3	→ 31 ページ	
	録音形式 = WAV	サンプリング周波数		44.1kHz/48kHz(Default)/96kHz
		量子化ビット数		16bit/24bit(Default)/32bit-float
	録音形式 = MP3	サンプリング周波数		44.1kHz/48kHz(Default)
		量子化ビット数	128kbps/192kbps/256kbps/320kbps(Default)	
	録音待機	オフ (Default)/ オン	→ 21 ページ	
	自動録音	オフ (Default)/ オン	→ 31 ページ	
	- 開始レベル	オフ /-6dB/-12dB(Default)/-24dB/-48dB		
	- 終了レベル	オフ /-6dB/-12dB/-24dB/-48dB(Default)		
	- 終了ディレイ	1 秒 /2 秒 /3 秒 /4 秒 /5 秒 (Default)		
	- 終了モード	同じファイル (Default)/ 新しいファイル		
	デュアルフォーマット	オフ (Default)/MP3/FLOAT	→ 31 ページ	
プリ録音	オフ (Default)/ オン	→ 32 ページ		
自動ファイル分割	オフ (Default)/5/10/15/30/60 分	→ 32 ページ		
入出力設定	ファンタム電圧	+24V/+48V(Default)	→ 20 ページ	
	プラグインパワー	オフ (Default) / オン (ステレオ) / オン (モノラル)		
	マイクトリム		→ 49 ページ	
	- 左マイク	-3dB/-2dB/-1dB/0dB(Default)/1dB/2dB/3dB		
	- 右マイク	-3dB/-2dB/-1dB/0dB(Default)/1dB/2dB/3dB		
	スピーカー出力	オフ (Default)/ オン	→ 17 ページ	
	MS デコード	オフ / TRACK 1-2/ トラック 3-4	→ 47 ページ	
	リバーブ	オフ (Default)/ オン	→ 20 ページ	
	- 種類	LARGE HALL(Default)/SMALL HALL/ROOM/STUDIO/PLATE 1/ PLATE 2		
- 入力対象	トラック 1-2/ トラック 3-4/ ミックス (Default)			
- レベル	0/.../50(Default)/.../100			
カメラ設定	出力	ライン (Default)/ カメラ	→ 44 ページ	
	- レベル	-10/-9/.../0dB(Default)		
	オートトーン	オフ (Default)/ 録音開始時 / 開始 + 終了	→ 44 ページ	
- レベル	-12dB/-18dB(Default)/-24dB/-30dB/-36dB			
その他設定	BLUETOOTH	オフ (Default)/ オン	→ 48 ページ	
	ピークマーク	オフ (Default)/ オン	→ 43 ページ	
	自動マーク	オフ (Default)/ レベル / 時間	→ 43 ページ	
	- レベル	-6dB、-12dB(Default)、-24dB、-48dB		
	- 時間	5 分 /10 分 /15 分 /30 分 /60 分 (Default)		
	SD カードリーダー	実行	→ 45 ページ	

15.各種設定

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ
システム	情報	カード	
		-全ファイル数	
		-全フォルダー数	
		-全容量	
		-使用容量	
		-空き容量	
		システム	
		- F/W	
	- H/W		
	XRI	オフ / オン (Default)	→ 49 ページ
	日時設定	日時を設定する (Default : 2021/01/01)	→ 49 ページ
ファイル名設定	-タイプ : 日付 (Default)/ ワード	→ 38 ページ	
	-ワード : TASCAM(Default)	→ 38 ページ	
	-ファイル番号リセット : オフ / オン (Default)		
	-リセット実行		
言語	ENGLISH(Default) / 日本語 / FRANCAIS/ESPAÑOL/DEUTSCH/ ITALIANO/ 中文 / 한글 / ロシア語	→ 49 ページ	
設定初期化	実行	→ 49 ページ	
カード初期化	SD 初期化 /SD 完全初期化	→ 49 ページ	
電源 / 画面設定	電源自動オフ	オフ / オン (Default)	→ 49 ページ
	電源選択	電池駆動 / 自動判別 (Default)	→ 49 ページ
	電池タイプ	アルカリ (Default)/Ni-MH/LITHIUM	→ 49 ページ
	省電力モード	オフ (Default)/ オン	→ 50 ページ
	-バックライト	オフ /5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒 / 常時点灯 (Default)	
	-明るさ	暗い / 標準 (Default)/ 明るい	
	-インジケータ	全点灯 (Default)/PEAK LED 消灯 /REC LED 消灯 / 全消灯	
	コントラスト	0/…/10(Default)/…/20	→ 50 ページ

入力設定

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ
入力ゲイン	GAIN		→ 20 ページ
	- 入力 1/2	LOW(0dB/…/+36.0dB)/HIGH(+14.0dB/…/+50.0dB)	
	- 入力 3/4	LOW(0dB/…/+35.0dB)/HIGH(+22.0dB/…/+57.0dB) step:0.5dB	
	- MIC/EXT IN	0dB/…/+38.0dB step:0.5dB	
	- USB	-	
入力設定 入力 1/2/3/4 毎	ステレオリンク (MIC/EXT IN 時は除く)	オフ (Default)/ オン	→ 18 ページ
	入力		→ 18 ページ
	- 入力 1/2	MIC (Default) / EXT	
	- 入力 3/4	MIC (Default) / ライン	
	ファンタム電圧 (3/4 かつ MIC 時のみ)	オフ (Default)/ オン	→ 20 ページ
	オートゲイン	オフ (Default)/ オン	→ 18 ページ
	低域カット	オフ (Default)/40Hz/80Hz/120Hz/220Hz	→ 19 ページ
	ノイズゲート	オフ (Default)/ 弱い / 標準 / 強い	→ 19 ページ
	リミッター / コンプ	オフ (Default)/ リミッター / コンプ	→ 19 ページ
	EQ	オフ (Default)/VOICE/GUITAR/LOUD/VOCAL/ マニュアル EQ	→ 19 ページ
位相反転	オフ (Default)/ オン	→ 19 ページ	

ミキサー

カテゴリ	メニュー項目		設定項目
ミキサー	MS デコード = オフ	レベル	-inf/…/0dB(Default), step:0.5dB
		PAN	L20/…/C/…/R20
	MS デコード = オン	レベル	0/…/50(Default)/…/100
		WIDE	0/…/50(Default)/…/100
MIX FILE TYPE (アイコン)	STEREO(Default)/MONO		

ブラウザ

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ	
ブラウザ	新規フォルダー	名前編集	→ 39 ページ	
フォルダー	オープン	実行	→ 39 ページ	
	名前編集	実行	→ 39 ページ	
	全ファイル消去	実行	→ 40 ページ	
	フォルダー消去	実行	→ 40 ページ	
ファイル	選択	選択したファイルがカレントプロジェクトになり、録音したアプリの HOME 画面が表示される	→ 40 ページ	
	再生	実行	→ 40 ページ	
	ファイル情報	ファイル,トラック情報を表示	→ 41 ページ	
	ファイル消去	実行	→ 41 ページ	
	トラック消去	トラック 1/トラック 2/トラック 3/トラック 4	→ 41 ページ	
	プロテクト変更	実行	→ 41 ページ	
	名前編集	実行	→ 41 ページ	
	マーク	クリア	→ 42 ページ	
	ファイル分割	ファイル分割		→ 42 ページ
		自動分割 - マーク分割		
自動分割 - 時間分割				
ノーマライズ	実行	→ 42 ページ		

入力選択

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ
入力選択	トラック 1-2	1-2(Default), 3-4, USB, MIC/EXT IN	→ 18 ページ
	トラック 3-4	1-2, 3-4(Default), USB, MIC/EXT IN	

LAUNCHER

カテゴリ	メニュー項目	設定項目	参照ページ
ASMR	実行		→ 23 ページ
MANUAL	実行		→ 24 ページ
MUSIC	実行		→ 26 ページ
VOICE	実行		→ 27 ページ
FIELD	実行		→ 28 ページ
PODCAST	実行		→ 29 ページ

第 16 章 FW バージョンアップによる変更内容

ファームウェア V1.10 の新機能

ファームウェア V1.10 から以下の機能が追加、変更されました。

- Atomos 社の AtomX SYNC、UltraSync BLUE および ATOMOS CONNECT や SHOGUN CONNECT など互換性のある製品とのワイヤレスタイムコード同期に対応しました。
- オーディオインターフェースが 32bit float 形式に対応しました。
- PODCAST アプリで USB MIXMINUS 機能が使用できるようになりました。
- PODCAST アプリ使用時、本体マイク入力以外には PAD または USB の入力が選べるようになりました。
- 入力設定を保存し、各録音アプリで呼び出しできるようになりました。
- 本体設定および録音アプリ設定を保存し、LAUNCHER 画面から 1 タップで呼び出しできるようになりました。

Atomos 社の AtomX SYNC、UltraSync BLUE および ATOMOS CONNECT や SHOGUN CONNECT など互換性のある製品とのワイヤレスタイムコード同期に対応しました。

本機の Bluetooth 機器接続端子に別売りの Bluetooth アダプター (AK-BT1) を接続すると、Atomos 社の AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などと接続して、タイムコードを受信することができます。

受信されたタイムコードは本機の録音ファイルに記録されます。このタイムコード情報により、複数の機器で作成された映像 / 音声ファイルの位置合わせが容易になります。

メモ

- 本機のリモートコントロールアプリ (Portacapture Control) と AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などと同時に使用する事はできません。
- 録音形式を MP3 に設定している場合は、録音ファイルにタイムコードを記録する事はできません。

AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などと接続する

1. 本機の Bluetooth 接続機器端子のカバーを外し、AK-BT1 を本機に差し込む。
2. 本機の一般設定画面 > その他設定ページ > BLUETOOTH の TIMECODE を選択する。
3. TIMECODE 画面の CONNECT をタップすると周辺の AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などを探してペアリングする。ペアリングが完了すると CONNECTED の表示となり、接続されている AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などの情報が表示されます。



例

タイムコード	タイムコード (時:分:秒:フレーム) を表示します。
ユーザービット	AtomX SYNC/ UltraSync BLUE など設定したユーザービット (日付/時間/シーン番号などの任意の情報) を表示します。
FPS	フレームレートを表示します。
デバイス	AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などのデバイス名を表示します。

AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などとの接続を解除する

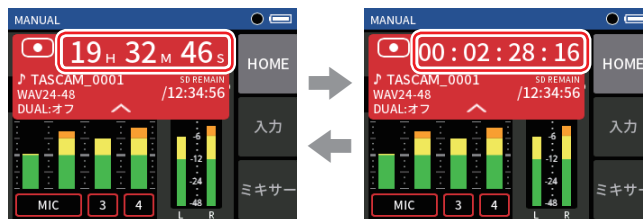
本機の一般設定画面 > その他設定ページ > BLUETOOTH の OFF を選択する。

別の AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などと接続する

ペアリング済の AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などから別の AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などと接続する場合は、一度ペアリングを解除する必要があります。

1. 本機の一般設定画面 > その他設定ページ > BLUETOOTH の TIMECODE を選択する。
2. TIMECODE 画面の FORGET をタップして、ペアリング情報をクリアする。
3. TIMECODE 画面の CONNECT をタップし、新しい AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などを探してペアリングする。

AtomX SYNC/ UltraSync BLUE など接続中の表示



時分秒表示

受信タイムコード表示

プロジェクトのステータスバーをタップすると時分秒表示と受信タイムコード表示が切り換わります。

接続状態



緑点滅	AtomX SYNC/ UltraSync BLUE などからタイムコードを受信中
赤点滅	最後に受信したタイムコードをもとに自走中
消灯	ペアリング済みだが、受信 / 自走していない

メモ

- タイムコード情報は全ての録音アプリで同様に表示可能です。
- Manual アプリのオーバーダブ / パンチ I/O では、タイムコードの表示、録音ファイルへのタイムコードの記録は行われません。
- AK-BT1 の LED はタイムコード受信中に 1 秒周期の点滅となります。

オーディオインターフェースが 32bit float 形式に対応しました。

Windows で使用する場合

1. Portacapture 用 ASIO ドライバ (Ver 1.30 以降) をインストールする。詳細は、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) の本機の製品ページを参照してください。
2. Portacapture 用 ASIO ドライバを起動し、32bit float のタブで 32bit float 機能を ON にする。



Mac OS で使用する場合

1. アプリケーションから「Audio MIDI 設定」アプリを開く。
2. Portacapture X6 をサウンド入出力装置に設定します。
3. 入力 / 出力のフォーマットを 32 ビット浮動小数点に変更する。

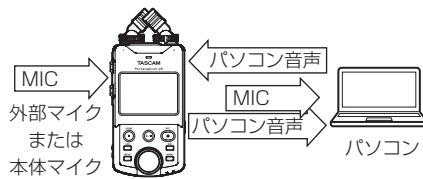
メモ

OS 標準ドライバを使用するため、専用ソフトウェアをインストールする必要はありません。

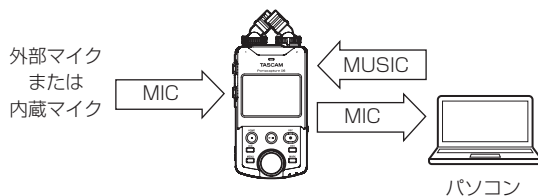
PODCAST アプリで USB MIXMINUS 機能が使用できるようになりました。

この機能を使用すると、パソコンやスマートフォンと USB 接続して、電話インタビューやリモート収録の際に、相手先でエコーが発生しない様にすることができます。

MIXMINUS オフ状態 (通常状態)



MIXMINUS オン状態

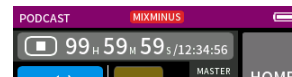


MIXMINUS 機能をオンにする

1. PODCAST アプリの停止状態でショートカットメニューボタンをタップする。
2. USB MIXMINUS オンのアイコンをタップする。



HOME 画面上に MIXMINUS アイコンが表示され MIXMINUS 状態になります。



MIXMINUS 機能をオフにする

1. PODCAST アプリの停止状態でショートカットメニューボタンをタップする。
2. USB MIXMINUS オフのアイコンをタップする。



HOME 画面上に MIXMINUS アイコンが消えて MIXMINUS オフ状態となります。

メモ

MIXMINUS オン状態では、リバーブの入力対象にミックスが選択できません。

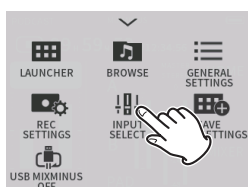
16.FW バージョンアップによる変更内容

PODCAST アプリ使用時、本体マイク入力以外には PAD または USB の入力を選べるようになりました。

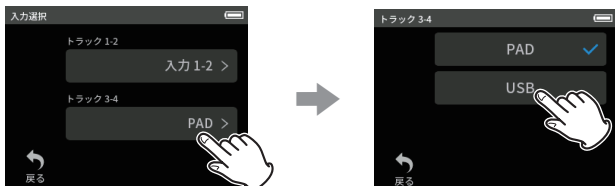
この機能を使用すると、USB 接続した端末から通話でつながったゲストとのトークを収録・配信することができます。

SOUND PAD と USB を切り換える

1. PODCAST アプリの停止状態でショートカットメニューボタンをタップする。
2. 「入力選択」のアイコンをタップする。



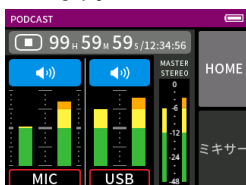
3. 「トラック 3-4」をタップする。
「PAD」または「USB」を選択することができます。



メモ

「トラック 1-2」に「USB」を選択した場合、「トラック 3-4」は自動的に「PAD」が選択されます。

- 「USB」を選択した場合、ホーム画面が変更され、「トラック 1-2」に割り当てられた任意の入力端子と USB の 4 トラック収録ができます。



メモ

「トラック 3-4」に「USB」を選択している場合、SOUND PAD の設定や使用はできなくなります。
SOUND PAD では使用できないミュート機能および入力オン / オフの切り換えが可能となります。

入力設定を保存し、各録音アプリで呼び出しできるようになりました。

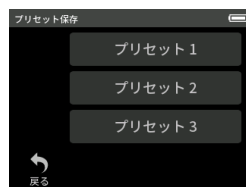
すべての録音アプリで共通して使用できる、ダイナミクスプリセットを最大 3 個保存することができます。

プリセットを保存する

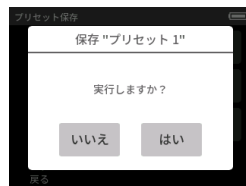
1. 保存したい入力チャンネルの入力設定画面を開く。
2. プリセット - 保存をタップする。



3. 保存先の選択画面が表示されるので、保存したいプリセットをタップする。

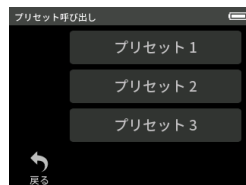


4. 確認のポップアップが表示されたら、はいをタップする。



プリセットを呼び出す

1. 呼び出したい入力チャンネルの入力設定画面を開く。
2. プリセット - 呼び出しをタップする。
呼び出すプリセットの選択画面が表示されます。



3. 呼び出したいプリセットをタップする。

MUSIC、FILED アプリでダイナミクスプリセットの保存 / 呼び出しを行う

1. MUSIC/FIELD アプリの HOME 画面から、ダイナミクスプリセットを選択する。
2. ダイナミクスプリセット画面の下部へスクロールし、プリセットをタップして、プリセットを呼び出す。



ダイナミクスプリセット画面右下の保存アイコンをタップすると、入力設定画面のプリセット保存画面へ遷移し、プリセットを保存することもできます。

メモ

- 保存可能なプリセットは3個です。
- 保存されるパラメータと初期値は以下の通りです。

GAIN LOW/HIGH	: LOW
GAIN	: -18.0dB
オートゲイン	: OFF
低域カット	: OFF
ノイズゲート	: OFF
リミッター / コンプ	: OFF
EQ	: OFF
- 保存したプリセットは他の録音アプリでも使用可能です。

本体設定および録音アプリ設定を保存し、LAUNCHER 画面から1タップで呼び出しできるようになりました。

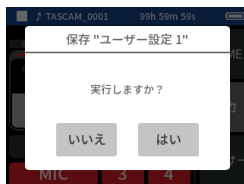
すべての本体設定を保存し、LAUNCHER から1タップでアプリ起動まで行えるようになりました。

ユーザー設定を保存する

1. 保存したい録音アプリでショートカットメニューボタンをタップする。
2. ユーザー設定保存アイコンをタップする。



3. 確認 POPUP が表示されたら、はいをタップする。



LAUNCHER 上にユーザー設定の反映された録音アプリが表示されます。

ユーザー設定を呼び出す

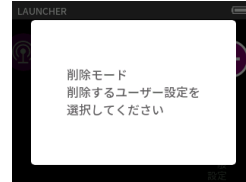
LAUNCHER 上でユーザー設定アイコンをタップします。保存された設定でアプリが起動します。

ユーザー設定を削除する

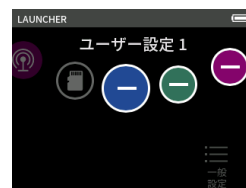
1. LAUNCHER 上でパネルを長押しする。ユーザー設定削除モードに入ります。

メモ

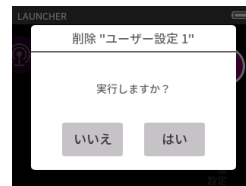
長押し中にスライドした場合は、一度指を離してから再度長押しを行ってください。



2. 削除したいユーザー設定アイコンをタップする。



3. 確認 POPUP が表示されたら、はいをタップする。



4. ユーザー設定アイコン以外をタップすることで、ユーザー設定削除モードから抜けます。

メモ

保存可能なユーザー設定は最大3個です。

16.FW バージョンアップによる変更内容

ファームウェア V2.00 の新機能

ファームウェア V2.00 から以下の機能が追加、変更されました。

- POCKET STUDIO アプリが追加されました。
- リアルタイムのミックスダウン機能が追加されました。
- METRONOME アプリが追加されました。
- TUNER アプリが追加されました。
- マスターファイルの録音オン / オフ機能が追加されました。
- FIELD アプリにキャッチ機能が追加されました。

POCKET STUDIO アプリが追加されました。



POCKET STUDIO アプリは、MANUAL アプリのオーバーダブ / パンチ I/O の動作に加え、オートパンチ機能、メトロノーム機能、チューナー機能が追加された録音アプリです。

最大 15 分間のカレントプロジェクトに対し、MTR 操作を簡単にできるようになりました。

POCKET STUDIO アプリを開始するには、ブラウザ画面から編集したいプロジェクトを選択するか、新規プロジェクトボタンから新規プロジェクトを作成します。

メモ

下記の条件に当てはまるプロジェクトは、POCKET STUDIO アプリで読み込むことができません。

- サンプリング周波数が 96kHz 以上のプロジェクト
- 録音形式が MP3 のプロジェクト
- 録音時間が 15 分を超えるプロジェクト

画面の説明



SHORTCUT MENU

本体左下のショートカットメニューボタンを押すと、以下のメニューが表示されます。



LAUNCHER

アプリの切り換え、本体設定 (→ 8 ページ)

ブラウズ

ファイル操作 (→ 39 ページ)

新規プロジェクト

新規プロジェクトの作成 (→ 60 ページ)

一般設定

詳細設定 (→ 51 ページ)

入力選択

トラック番号と入力端子の割り当て (→ 18 ページ)

入力設定

(→ 18 ページ)

ミックスダウン

(→ 61 ページ)

ユーザー設定保存

(→ 57 ページ)

METRONOME

POCKET STUDIO アプリで使用するメトロノームの設定 (→ 62 ページ)

TUNER

(→ 63 ページ)

メモ

POCKET STUDIO アプリでは、一般設定内の次の設定が制限されます。

録音設定

すべてが設定不可能となります。

入出力設定

スピーカ出力および MS デコードが設定不可能となります。

カメラ設定

オートトーンが設定不可能となります。

プロジェクトステータスバー

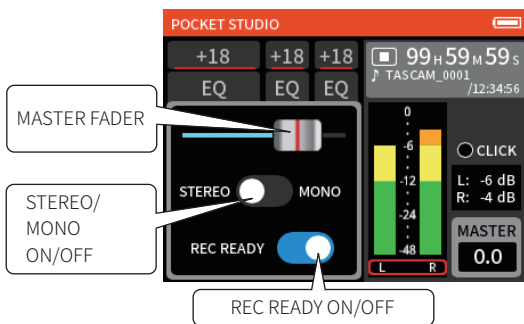
プロジェクトステータスバーをタップすると詳細画面を表示します。



オートパンチ機能はこの画面で設定します。(→ 60 ページ「オートパンチ機能」)

MASTER ボタン

MASTER ボタンをタップすると MASTER FADER、STEREO/MONO、REC READY の設定を表示します。



MASTER FADER

左右にスライドさせてレベルを調節します。

STEREO/MONO

ステレオ / モノラルを切り換えます。

REC READY

REC READY のオン / オフを切り換えます。

オフにすると、マスターファイルは録音されません。(→ 63 ページ「マスターファイルの録音オン / オフ機能が追加されました。」)

CLICK 表示

クリック音の出力設定がされているときに緑色に点灯します。

メトロノーム動作中は設定されたビートの 1 拍目で赤色、設定されたテンポで緑色に点滅します。

AUTO PUNCH 表示

オートパンチ機能がオンのときに表示されます。

トラック EQ

POCKET STUDIO アプリでは、他アプリと扱いが異なり、入力ではなくトラックに EQ が挿入されます。

- 録音時、トラックファイルには EQ がかかる前の音が録音されます。
- トラックに挿入されるため、他アプリでは EQ 補正できなかった SD 再生音や USB 入力にも EQ が掛けられます。

REC READY

トラックの状態が表示されます。

また、トラックをタップして録音対象を切り換えます。

トラックの状態、およびモニターの可否は下記の表のとおりです。

色	状態	モニターの可否					
		停止時		録音時		再生時	
		INPUT	SD	INPUT	SD	INPUT	SD
赤	録音待機	✓	-	✓	-	✓	✓
緑	ファイル有り	-	-	-	✓	-	✓
グレー	未使用	-	-	-	-	-	-

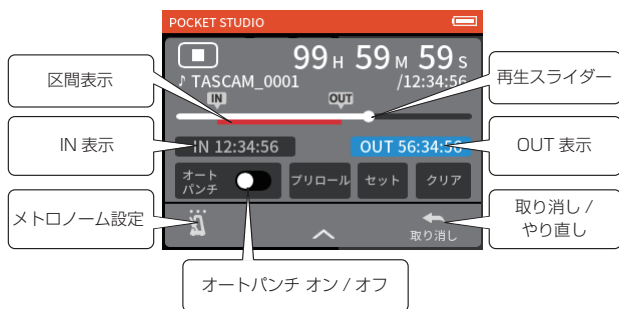
16.FW バージョンアップによる変更内容

オートパンチ機能

あらかじめ設定したパンチインポイント（録音開始位置）とパンチアウトポイント（録音終了位置）間を自動録音することができます。オートパンチ機能をオンにして録音ボタンを押すと、パンチインポイントより手前から再生（プリロール）を開始し、パンチインポイントまで来ると録音に切り換わります。その後、パンチアウトポイントまで来ると再生に切り換わり、パンチアウトポイントの2秒後に停止します。

画面の説明

オートパンチの設定は、POCKET STUDIO アプリのプロジェクトステータスバーの詳細画面で行います。（→59ページ「プロジェクトステータスバー」）



IN 表示

録音開始位置が表示されます。
タップすると背景が青くなり、選択された状態になります。

OUT 表示

録音終了位置が表示されます。
タップすると背景が青くなり、選択された状態になります。

再生スライダー

左右に動かして位置を調整します。

区間表示

録音開始位置と録音終了位置の両方が設定されたときに、その区間が赤色で表示されます。

オートパンチ

オートパンチ機能のオン/オフを切り換えます。
オンにするとホーム画面に AUTO PUNCH アイコンが表示されます。
（→59ページ「AUTO PUNCH 表示」）

プリロール

オートパンチインを行うとき、パンチインポイントのどれくらい手前から再生（プリロール）を始めるかを設定します。

オフ：パンチインポイントの手前に移動しません。あらかじめ、パンチインポイント手前にロケット位置を移動しておく必要があります。

1秒～10秒：設定した時間だけパンチインポイントの手前に移動し再生を始めます。（初期値：2秒）

セット

IN 表示または OUT 表示が選択された状態でタップすると、再生スライダーの現在位置を開始または終了位置として設定します。

クリア

IN 表示または OUT 表示が選択された状態でタップすると、選択中の設定位置を消去します。

メトロノーム設定

POCKET STUDIO アプリで使用するメトロノームの設定（→62ページ「METRONOME アプリが追加されました。」）

取り消し

レコーディングをやり直したいときなど、最後に行った録音操作を取り消すことができます。

やり直し

取り消し操作を行った後、最後の操作が再び有効になって本機が最新の状態に戻ります。

メモ

取り消しまたはやり直しに関する情報はプロジェクトをロードする、または本機の電源をオフにすると失われてしまうため、その後は行うことができません。

パンチイン/アウトをリハーサルする

オートパンチ機能をオンにして再生ボタンを押すと、パンチイン/アウトを実行する前に、リハーサルをすることができます。リハーサルでは、モニターが実際のレコーディングと同じように切り換わりますが、録音はされません。

新規プロジェクト

新規プロジェクトを作成します。
録音フォーマットは下記より選択します。

44.1kHz / 16bit

44.1kHz / 24bit

44.1kHz / 32bit float

48kHz / 16bit

48kHz / 24bit

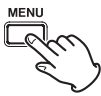
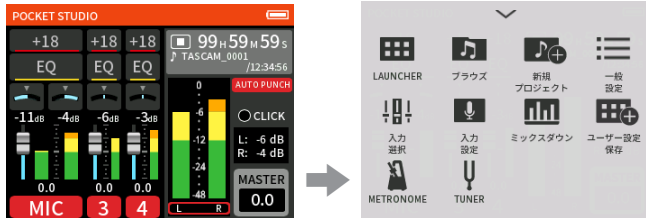
48kHz / 32bit float

リアルタイムのミックスダウン機能が追加されました。

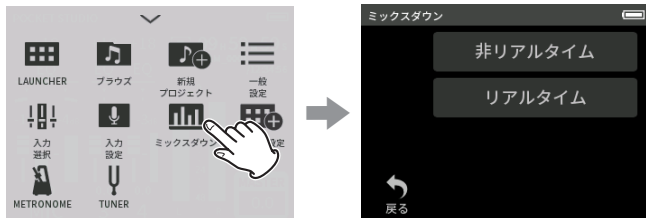
リアルタイムのミックスダウンでは、既存プロジェクトの各トラックファイルの音量バランスや左右の定位を、リアルタイムで調整しながら、新たなミックスファイルを作成することが可能です。

リアルタイムのミックスダウン機能は、POCKET STUDIO アプリで使用できます。

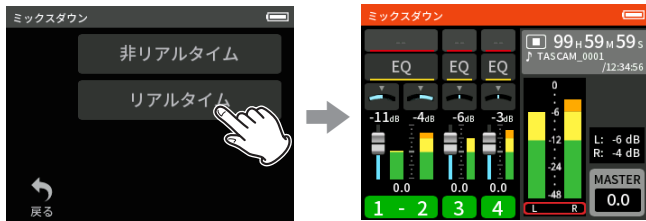
1. POCKET STUDIO アプリの停止状態で、本体左下のショートカットメニューボタンを押す。



2. ミックスダウンのアイコンをタップする。

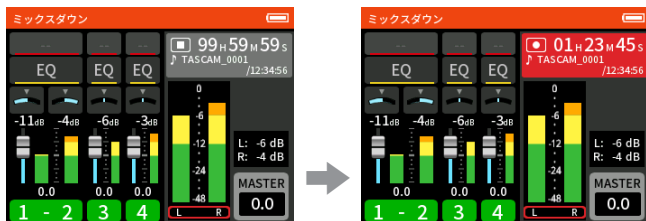


3. リアルタイムをタップする。



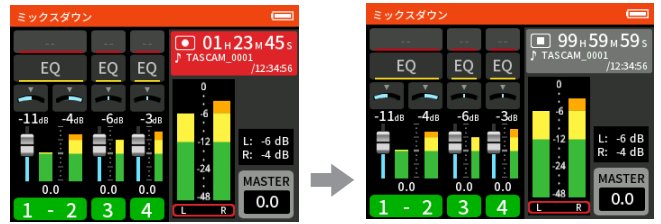
リアルタイムのMIXDOWN画面が表示されます。

4. 本機のREC[●]ボタンを押す。



ミックスダウンを開始します。各トラックのイコライザーやフェーダーなどを操作しながら、ミックスダウンを行います。

5. ミックスダウンが終了したら HOME[■] ボタンを押す。

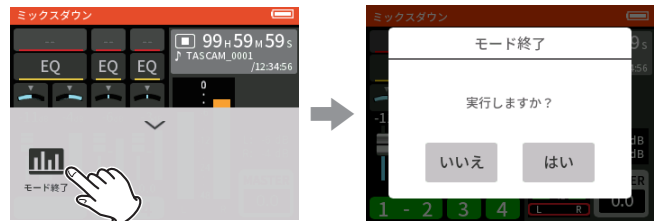


新規プロジェクトにミックスダウンしたマスターファイルが作成されます。

6. 本体左下のショートカットメニューボタンを押す。

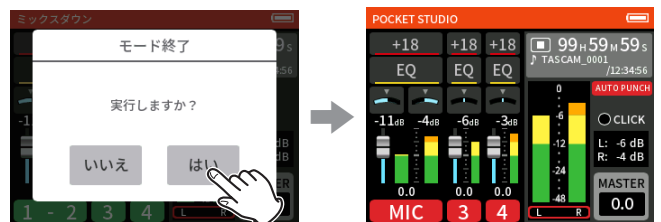


7. 「モード終了」のアイコンをタップする。



確認のポップアップが表示されます。

8. はいをタップする。



POCKET STUDIO アプリのホーム画面が表示されます。

メモ

- 非リアルタイムは、MANUAL アプリでのミックスダウン機能と同様です。(→47 ページ「ミックスダウン機能」)
- POCKET STUDIO アプリのホーム画面においても、REC READY をマスターファイル以外“OFF”にすることで同様のミックスダウンが可能です。ただし、新規プロジェクトとはならず、マスターファイルの上書きとなります。

16.FW バージョンアップによる変更内容

METRONOME アプリが追加されました。



クリック音の設定やメトロノームの設定を行うことができます。



開始ボタンを押すとメトロノームが動作します。もう一度押すと動作を停止します。

TAP ボタン

このボタンをタップして、TAP テンポを入力します。TAP ボタンを数回押すことで、タイミングに合わせて自動的にテンポを設定します。

テンポ

テンポを 20 ~ 250 (BPM) の範囲で設定します。(初期値: 120)

音量

クリックの音量を調節します。

設定

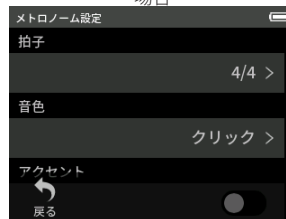
タップすると設定画面を表示します。

設定画面

POCKET STUDIO アプリを介して設定をする場合



METRONOME アプリで設定する場合



バー表示*

オンにするとプロジェクトステータスバーのカウンター表示が、00h00m00s 形式から 0000-01 (小節 - 拍) 形式になります。

オフ



00h00m00s 形式

オン



0000-01 (小節 - 拍) 形式

クリック*

クリック音の発音を設定します。(初期値: オフ)

オフ: クリック音を発音しない

録音時: 録音時に発音する

録再時: 録音と再生時に発音する

拍子

拍子を設定します。(初期値: 4/4)

1/1 ~ 12/8

音色

クリックの音色を設定します。(初期値: クリック)

クリック

スティック

ベル

アクセント

アクセントの有無を設定します。

* バー表示とクリックは、POCKET STUDIO アプリを介して設定をする場合のみ表示されます。

TUNER アプリが追加されました。



本機のチューナーには、チューニングメーターを見ながら楽器のチューニングができるクロマチックチューナーモードと、基準音を出力するオシレーターモードがあります。

音階でチューニングする



1. 動作モードをクロマチックにする。
2. チューニング周波数を設定する。
3. チューニングに使用するトラックを選択する。
4. チューニングする楽器の音を入力する。
もっとも近い音名がメーター上部に表示されます。
合わせたい音名が表示されて、メーター中央部が点灯するように楽器をチューニングします。
チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合は右側にバーが表示されます。ズレが大きいほど、メーターの振幅が大きくなります。

テストトーンを鳴らしてチューニングする

3オクターブ (C3音～B5音) の範囲のチューニングトーンを LINE OUT 端子から出力することができます。



1. 動作モードをオシレーターにする。
2. トーンを設定する。
3. 出力レベルを設定する。
4. TAP マークをタップしてトーン出力をオンにする。

マスターファイルの録音オン / オフ機能が追加されました。

マスターファイルを録音しない設定ができるようになりました。
マスターファイルの録音オン / オフ機能は、MANUAL アプリ、POCKET STUDIO アプリで使用できます。

MANUAL アプリの HOME 画面の例



マスターファイルの録音がオンの状態

マスターファイルの録音がオフの状態

MANUAL アプリの MIXER 画面の例



マスターファイルの録音がオンの状態

マスターファイルの録音がオフの状態

設定方法

1. 各アプリの MASTER ボタンをタップする。



2. REC READY をオフに設定する。



マスターファイルが録音されなくなります。

メモ

- REC READY がオフのときは、マスターファイルがないトラックファイルのみの録音プロジェクトになります。
マスターファイルがないプロジェクトは、2ch アプリやブラウザでは再生できません。
- MP3 フォーマットが選択された場合は、マスターファイルの録音が ON となります。

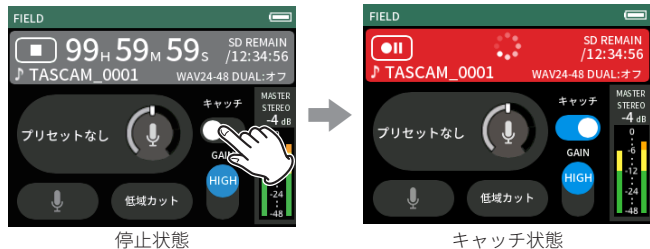
16.FW バージョンアップによる変更内容

FIELD アプリにキャッチ機能が追加されました。

鳥のさえずりが聞こえた直後など、録音したい音の後に録音ボタンを押しても、対象の音をとり逃さず録音することができる機能です。

キャッチボタンをタップしてから、REC [●] ボタンが押されるまでの最大約 8 秒間を録音することができます。

1. 停止状態でキャッチボタンをタップする。



キャッチ状態となり、最大約 8 秒間の繰り返し録音を開始します。

2. 任意のタイミングで REC [●] ボタンを押す。



押す直前の 8 秒間だけをファイルとして保存します。

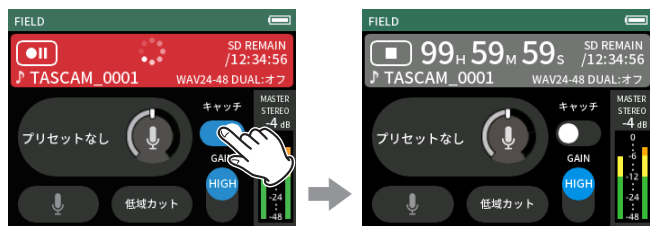
また、同時に新たに繰り返し録音を開始します。

必要に応じて、次のタイミングで REC [●] ボタンを押してください。

メモ

録音開始後、8 秒未満で REC [●] ボタンを押した場合は、押すまでの時間のファイルが保存されます。

3. 録音を終了する場合はキャッチボタンをタップする、または HOME [■] ボタンを押す。



または



キャッチ状態での録音を終了して停止状態に戻ります。

注意

停止状態に戻ると、キャッチ状態で保存しなかった録音内容は失われます。

第17章 メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。
Portacapture X6 では、状況に応じてポップアップメッセージが表示されますが、それぞれのメッセージの内容を知りたいとき、および対処方法を知りたいときにこの表を参照してください。

メッセージ	内容と対処方法
ホールドされています	HOLD スイッチによりボタンの操作が無効化されています。
カードがありません	microSD カードをセットしてください。
カードエラー	microSD カードを認識できません。 microSD カードを交換してください。
カードがいっぱいです	microSD カードの残容量がありません。
フォーマットエラー SD カードを初期化します	microSD カードが正常にフォーマットされていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。 画面をタップすると、フォーマットを実行します。 フォーマットを実行すると、microSD カード内のデータは全て消去されます。
SD カードエラー 交換してください	microSD カードが正常でない可能性があります。 microSD カードを交換してください。
MBR エラー SD カードを初期化します	microSD カードが正常にフォーマットされていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。 画面をタップすると、フォーマットを実行します。 フォーマットを実行すると、microSD カード内のデータは全て消去されます。フォーマットが実行できない場合は、microSD カードを交換してください。
書き込みエラー 録音続きます	microSD カードへの書き込みが間に合いませんでした。これにより音声の不連続になり、ノイズが発生します。 この不連続点には、BOF マークが付けられます。 microSD カードへの書き込み性能が低下しています。
カード速度低下 BOF マーク要確認	microSD カードへの書き込みが間に合わず、発生した不連続点には BOF マークが付いています。 BOF マーク付近の音声を確認してください。 イレーズフォーマットを実行するか、microSD カードを交換してください。
システムファイルエラー システムを再構築します	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。 画面をタップして、システムファイルを作成してください。
動作対象外ファイル	取り扱い可能なファイル形式については、リファレンスマニュアルを参照してください。 (→67 ページ「録音再生フォーマット」)
ファイル総数限界に到達	フォルダーとファイルの総数が制限値 (5000 個) を超えるため、録音できません。
ファイルが見つかりません	ファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。 対象のファイルを確認してください。
プロテクト状態の為 消去できません	消去する場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。
分割できません ファイルが短すぎます	ファイルが短すぎて分割できません。
MP3 ファイルは 分割できません	MP3 ファイルの分割はできません。
マークが無い為 分割できません	マーク分割は、マークが存在しないファイルでは実行できません。
マーク間隔が短すぎて 分割できません	マーク分割は、マークの間隔が 2 秒以内の場合があると実行できません。
ファイルが無いので 分割できません	オーディオファイルがありません。
ファイル名が不正な為 分割できません	分割するとファイル名の文字数の制限値 (200 文字) を超えるため実行できません。 パソコンでファイル名を変更してください。

メッセージ	内容と対処方法
ファイルが残っています 消去できません	ファイルを含むフォルダーを消去することはできません。 フォルダーに含まれるファイルを全て消去してから再度実行してください。
XRI データがありません	XRI データが記録されていません。録音を開始する前に XRI データ記録機能をオンにしてください。 MP3 ファイルとして録音するときには、XRI データは記録されません。
保護されているため マークはできません	ファイルが書き込み禁止であるためマークを付けることができません。 マークを設定したい場合は、ファイルのプロテクトを解除してください。
ファイルが短すぎて マーク編集できません	ファイルが短すぎてマークを付けることができません。
間隔が短すぎます	IN 点 (始点) と OUT 点 (終点) の間隔が短すぎます。1 秒以上空けて設定してください。
デュアルフォーマットは できません	MP3 デュアルフォーマット録音は、サンプリング周波数が 96kHz のときは使用できません。
ファイルエラー発生 エラーが発生しました	これらのエラーが出た場合は、本体の電源を入れ直してください。
再生エラー	電源を切ることができない場合は、電池や別売の専用 AC アダプター (TASCAM PS-P520U) を取り外してください。
書き込みに失敗しました	これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
システムエラー XX (XX は数字が入ります)	これらのエラーが頻繁に発生する場合は、ティアック修理センターにご相談ください。
USB FS が一致していません	本機のサンプリング周波数と、パソコン USB オーディオインターフェースのサンプリング周波数が一致していません。どちらかの設定を変更し、サンプリング周波数を一致させてください。
他の PAD で使用中です	1 つの PAD データを 2 つの SOUND PAD で同時に使用することはできません。
電池の温度が上昇しています。 USB 給電してください	単 3 形電池を使用している状態で内部温度が上昇しています。USB 接続で電源を供給すると継続使用できます。
内部温度上昇につきシャット ダウンします	内部温度が上昇しています。自動的にシステムをシャットダウンします。
USB 給電が 1500mA 未満です	1.5A 未満で使用できない機能を使おうとしました。1.5A 以上供給可能な外部電源を接続するか、電池駆動設定にして省電力モード設定をオフにしてください。
トラックが選択されていません	録音トラックが選択されていません。 入力画面で録音するトラックの入力をオンしてください (→ 25 ページ「入力レベルの設定」)

第 18 章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の確認を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

電源がオンにならない

- 電池が正しくセットされているか確認してください。
- 別売の専用 AC アダプター（TASCAM PS-P520U）の電源プラグ、および USB コネクタがしっかりと差し込まれているか確認してください。USB ハブを経由すると正しく動作しない場合があります。

電源が自動的に切れてしまう

- オートパワーセーブ機能が設定されていないか確認してください。
 - オートパワーセーブ機能のオン / オフは、一般設定画面 > 電源 / 画面設定ページ > 自動電源制御項目から操作できます。
 - 本機は欧州待機時電力規制 (ErP) に対応しているため、AC アダプター・電池使用時にかかわらずオートパワーセーブ機能が動作します。オートパワーセーブ機能を使用したくないときはオフに設定してください（工場出荷時にはオン（無操作状態で 30 分間続くと電源オフ）に設定されています）。

本機で操作できない

- 電源/HOLD スイッチが HOLD 側に入っていないことを確認してください。
- 画面表示が SD カードリーダーのときは操作できません。

microSD カードを認識しない

- microSD カードがしっかりと挿入されているか確認してください。
- お手持ちのパソコンでフォーマットしてから再度挿入してみてください。

音が出ない

- 本機のヘッドホン/スピーカー出力レベルを確認してください。
- モニターシステムの接続、およびモニターシステム側の音量を確認してください。
- 以下のとき、スピーカーから音は出ません。
 - 音量 (ヘッドホン/スピーカー) ボリュームの目盛りが「0」
 - 一般設定画面 > 入出力設定ページ > スピーカー出力項目がオフ（→ 17 ページ「内蔵スピーカーを使用する」）
 - 録音待機中または録音中
 - ヘッドホン使用時

録音できない

- microSD カードに十分な空き容量があることを確認してください。
- ファイル総数が 5000 ファイルに達すると録音できなくなります。

入力音が非常に小さい、もしくは非常に大きい

- 入力レベルの設定を確認してください。（→ 20 ページ「入力ゲインを調節する (GAIN)」）
- 接続した外部機器の出力レベルを確認してください。

ファイルが消去できない

- プロテクト（読み取り専用）されているファイルは、消去できません。

パソコン上に本機のファイルが表示されない

- 本機が USB 端子経由でパソコンに正しく接続されているか確認してください。USB ハブ経由で接続すると、正しく動作しない場合があります。
- パソコンから本機のファイルを表示するには、本機とパソコンを USB ケーブルで接続した上で、一般設定画面から操作する必要があります。（→ 45 ページ「パソコンから microSD カードにアクセスする」）

言語を間違えて設定してしまった

- 電源/HOLD スイッチを 電源 方向にスライドさせて、電源をオフにした後、HOME [■] ボタンを押しながら 電源/HOLD スイッチを 電源 方向にスライドさせてください。言語選択メニューが表示され、言語の選択が可能となります。

ノイズが入る

- 本機の近くに携帯電話・テレビ・ラジオやパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器があると、本機あるいは周辺機器で雑音が発生することがあります。

内蔵スピーカーの音が小さい

- 音量 (ヘッドホン/スピーカー) ボリュームを数字が増える方向に回してください。
- 録音時の入力レベルが小さいと、スピーカーが最大音量でも聞こえにくい場合があります。録音時の最大入力レベルが 0dB 付近であれば、内蔵スピーカーはほぼ最大音量で出力します。
- 更に音量が必要な場合は、アンプ付き外部スピーカーや外部アンプ + スピーカーを別途接続してください。

日付 / 時刻が正しくない

- 一般設定画面 > システムページ > 日時設定項目から再設定できます。（→ 14 ページ「日時を設定する」）

ショートカットメニューボタンが押せない

- 録音中、録音待機中、再生中、一時停止中にショートカットメニューボタンは押せません。HOME [■] ボタンを押して、停止してください。

ファイルを認識しない

- ファイル総数が 5000 を越えると正しくファイルを正しく認識できなくなります。
- 3 階層以上のフォルダーは表示できません。
- 本機では、SOUND フォルダー以外のファイルは表示しません。（→ 38 ページ「ファイル・プロジェクト構造について」）
- BWF フォーマットを含む wav ファイルと mp3 ファイルのみ表示します。
- ファイルが壊れていると、本機で正しく表示できません。

ファイル分割できない

- 分割後に同名になるファイルがある場合はファイル分割できません。
- ファイル名が 200 文字以上である場合はファイル分割できません。
- マーク分割後のファイルが 4 秒以下になる場合、マーク分割できません。
- 手動で分割するファイルが 2 秒以下の場合、手動で分割できません。

電池の減りが早い

下記を試してみてください。

- バックライトの時間を短くする（→ 50 ページ「パワーセーブ (省電力) モードについて」）
- インジケーターを全てオフにする（→ 50 ページ「パワーセーブ (省電力) モードについて」）
- 明るさを下げる（→ 50 ページ「パワーセーブ (省電力) モードについて」）
- コントラストを下げる（→ 50 ページ「パワーセーブ (省電力) モードについて」）
- 録音待機機能をオンにする（→ 21 ページ「録音アプリについて」）
- (ヘッドホン/スピーカー) ボリュームを下げる
- 使用していない入出力機器を抜く

画面が暗い。

- バックライトを常時点灯にする（→ 50 ページ「パワーセーブ (省電力) モードについて」）

メモ

バックライトをオフにしていると常に暗くなります。

19-1 仕様／定格

レコーダー部仕様

記録メディア

microSD カード (64MB ~ 2GB)
 microSDHC カード (4GB ~ 32GB)
 microSDXC カード (48GB ~ 512GB)

録音再生フォーマット

WAV (BWF) : 44.1k/48k/96kHz、16/24 ビット /32 ビット float
 MP3 : 44.1k/48kHz、128k/192k/256k/
 320kbps

チャンネル数

入力チャンネル数
 最大 4 チャンネル
 録音トラック数
 最大 6 トラック

アナログオーディオ入力定格

マイク入力 (バランス)

入力端子 3/4 (入力選択を「マイク」設定時)

コネクタ :
 XLR-3-31 相当 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
 (MIC 入力選択時のみファンタム電源対応)
 入力インピーダンス : 2.2k Ω 以上
 最大入力レベル : +2dBu
 最小入力レベル : -75dBu

入力端子 3/4 (入力選択を「ライン」設定時)

コネクタ :
 XLR-3-31 相当 (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
 入力インピーダンス : 9k Ω 以上
 規定入力レベル : +4dBu (GAIN 設定最小)
 最大入力レベル : +24dBu
 最小入力レベル : -53dBu

ライン入力 (アンバランス) : MIC/EXT IN 端子 (プラグインパワー対応)

コネクタ : φ 3.5mm (1/8") ステレオミニジャック
 入力インピーダンス : 10k Ω 以上 (プラグインパワー OFF 時)
 1.8k Ω 以上 (プラグインパワー ON 時)
 規定入力レベル : -20dBV (GAIN 設定最小)
 最大入力レベル : 0dBV
 最小入力レベル : -67dBV

アナログオーディオ出力定格

ライン出力 (アンバランス) : LINE OUT 端子

コネクタ : φ 3.5mm (1/8") ステレオミニジャック
 出力インピーダンス : 210 Ω
 規定出力レベル : -14dBV
 最大出力レベル : +6dBV

- 0dBu=0.775Vrms
- 0dBV=1Vrms

ヘッドホン出力 : ヘッドホン端子

コネクタ : φ 3.5mm (1/8") ステレオミニジャック
 最大出力 : 45mW + 45mW (THD+N 0.1% 以下、32 Ω 負荷時)

内蔵スピーカー

0.4W (モノラル)

USB

端子 : USB タイプ C
 転送方式 : USB2.0 High-Speed
 デバイスクラス : マスストレージクラス /USB オーディオクラス 2.0 (USB クラスコンプライアント)

USB オーディオ

サンプリング周波数
 44.1k / 48k / 96k
 量子化ビット深度 : 24 bit
 入力数 : 6 チャンネル (本機からの出力)
 出力数 : 2 チャンネル (本機への入力)

Bluetooth 機器接続端子

Bluetooth アダプター (AK-BT1) 専用

オーディオ性能

マイクアンプ EIN (入力換算雑音)

-125dBu 以下

周波数特性

入力端子 3/4 端子 → PCM データ
 48kHz 時 20-20kHz : +0dB / -0.3dB
 96kHz 時 20-40kHz : +0dB / -0.7dB

ダイナミックレンジ

入力端子 3/4 → PCM データ (20kHz SPCL LPF + A-Weight)
 112dB 以上 (48k/96kHz 時)

全高調波歪率 (THD+N)

入力端子 3/4 (LINE IN) → PCM データ、1kHz サイン波、
 -5dBFS 入力、GAIN 設定最小、20kHz SPCL LPF
 0.008% 以下
 入力端子 3/4 (MIC IN) → PCM データ、1kHz サイン波、
 -5dBFS 入力、GAIN 設定最小、20kHz SPCL LPF
 0.006% 以下

注) JEITA : JEITA CP-2150 準拠

録音時間

ファイルフォーマット (録音時の設定)	カード容量		
	32GB (microSDHC)	128GB (microSDXC)	
MP3 320kbps (ステレオ)	44.1kHz	222 時間 13 分	888 時間 53 分
WAV 16 ビット (ステレオ)		50 時間 23 分	201 時間 33 分
WAV 24 ビット (ステレオ)	96kHz	15 時間 25 分	61 時間 43 分
WAV 32 ビット float (ステレオ)	96kHz	11 時間 34 分	46 時間 16 分

- 上記録音時間は理論値であり、ご使用の microSD カードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD カードに可能な録音合計時間です。
- モノラル録音の場合は、上記録音時間の約 2 倍の時間となります。
- デュアル録音の場合は、上記録音時間より短くなります。

OS/ 動作条件

最新の対応 OS 状況については、TASCAM のウェブサイトにてご確認ください。
<https://tascam.jp/jp/>

注意

各 OS での動作確認は、下記のシステム条件を満たす標準的な環境での結果になります。
 下記の条件を満たす環境であっても動作を保証するものではありません。

Portacapture X6

Windows

対応 OS

Windows 11
 Windows 10 64 ビット

対応パソコン

USB 2.0 以上を装備した Windows 対応パソコン

- 当社製ドライバー使用時。
- ARM64 CPU は動作保証外。

Mac

対応 OS

macOS Sonoma(14)
 macOS Ventura(13)
 macOS Monterey(12)

対応パソコン

USB 2.0 以上を装備した Mac

iOS/iPadOS デバイス

iOS 17 / iPadOS 17
 iOS 16 / iPadOS 16
 iOS 15 / iPadOS 15

Portacapture Control

iOS/iPadOS デバイス

iOS 17 / iPadOS 17
 iOS 16 / iPadOS 16
 iOS 15 / iPadOS 15

Android デバイス

Android 10
 Android 11

- 互換性があることを確認していますが、全ての端末での動作を保証するものではありません。

一般

電源

単 3 形電池 4 本（アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池）
 パソコンからの USB バスパワー
 専用 AC アダプター（TASCAM PS-P520U、別売）

消費電力

7.5W（最大時）

電池持続時間（連続使用時）

- アルカリ乾電池（EVOLTA）使用時

使用条件	持続時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源未使用 STEREO WAV（BWF）／44.1kHz 24bit で録音	約 13 時間 30 分
入力端子 1/2 入力+入力端子 3/4 入力 ファンタム電源使用時（+48V、負荷：3mA x2） STEREO WAV（BWF）／44.1kHz 24bit で録音	約 5 時間 30 分

- ニッケル水素電池（eneloop）使用時

使用条件	持続時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源未使用 STEREO WAV（BWF）／44.1kHz 24bit で録音	約 11 時間
入力端子 1/2 入力+入力端子 3/4 入力 ファンタム電源使用時（+48V、負荷：3mA x2） STEREO WAV（BWF）／44.1kHz 24bit で録音	約 5 時間 30 分

- リチウム乾電池（Energizer ULTIMATE LITHIUM）使用時

使用条件	持続時間
入力端子 1/2 入力 ファンタム電源未使用 STEREO WAV（BWF）／44.1kHz 24bit で録音	約 22 時間
入力端子 1/2 入力+入力端子 3/4 入力 ファンタム電源使用時（+48V、負荷：3mA x2） STEREO WAV（BWF）／44.1kHz 24bit で録音	約 11 時間 30 分

メモ

ファンタム電源を使用時には、ご使用になるマイクにより持続時間が短くなる場合があります。

外形寸法

75 x 174.3 x 37.2mm（幅 x 高さ x 奥行き、突起を含まず）

質量

365g/265g（電池を含む／電池を含まず）

動作温度

0 ~ 40°C

動作湿度

25 ~ 85%RH（32°C時、結露なきこと）

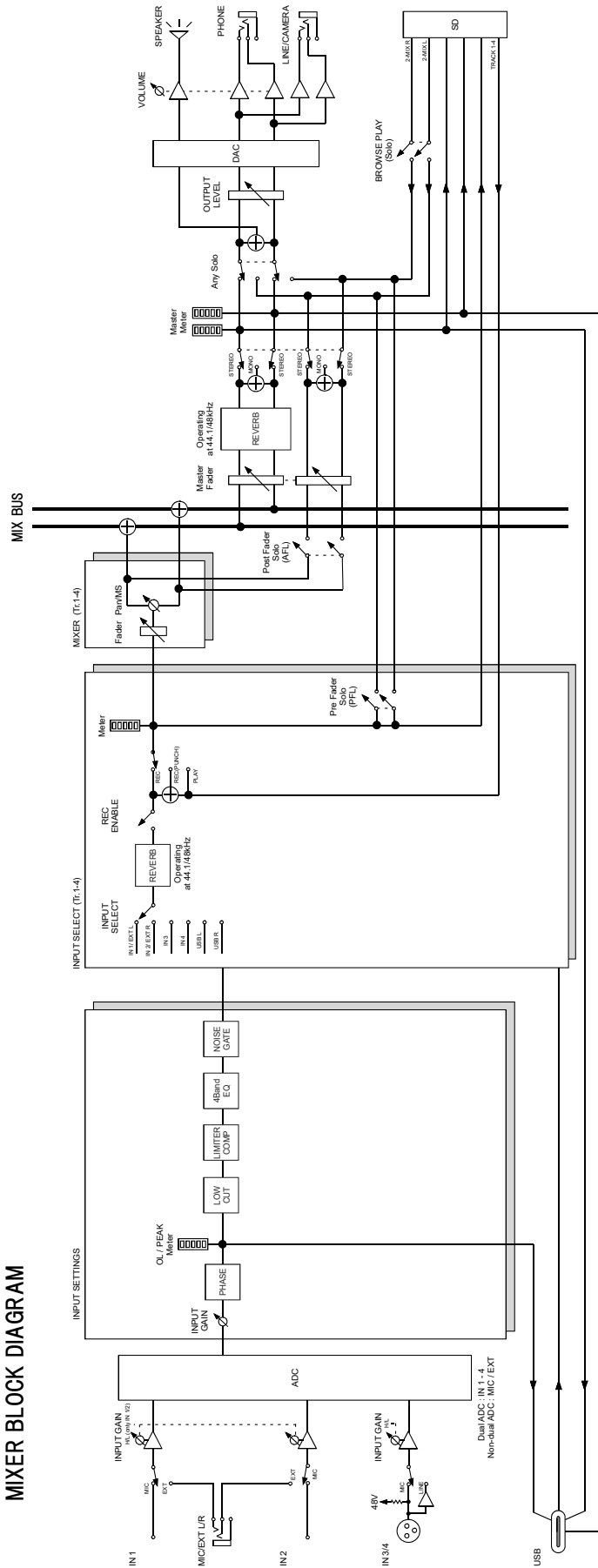
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

19-2 寸法図



19-3 ブロックダイアグラム

Portacapture X6
MIXER BLOCK DIAGRAM



ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。